
広島県看護協会 生涯教育研修事業報告

令和5年度



公益社団法人 広島県看護協会

目 次

| | | |
|------------|---|----|
| I | 広島県看護協会生涯教育体系 | 1 |
| II | 令和5年度教育計画の実施概要 | 5 |
| III | 令和5年度研修分類・領域別実施報告 | 9 |
| | [研修開催状況] | |
| | 分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ 質の高い看護の普及に向けた継続教育 | |
| 1 | 新人研修 | 9 |
| 1) | 新人看護職員の看護実践に関する 基本的な知識、技術、態度に関する研修 | 9 |
| 2) | 卒後2～3年目を対象とした集合研修 | 12 |
| 2 | ジェネラリスト研修 | 13 |
| 1) | 臨床の課題解決を目的とした研修 | 13 |
| 1) | 健やかに生まれ育つことへの支援 | 13 |
| 2) | 健康に暮らすことへの支援 | 13 |
| 3) | 緊急・重症な状態から回復することへの支援 | 14 |
| 4) | 住み慣れた地域に戻ることへの支援 | 15 |
| 5) | 疾病・障がいとともに暮らすことへの支援 | 16 |
| 6) | 穏やかな死を迎えることへの支援 | 18 |
| 2) | 看護専門職としての 専門能力の開発に関する研修 | 19 |
| 3) | 本会の重点事項等関連研修 | 23 |
| 3 | スペシャリスト研修 | 24 |
| | 分類2 ラダーと連動した継続教育 | |
| | 分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進 するための力量形成に向けた継続教育 | |
| 1 | 看護管理者研修 | 25 |
| 1) | 看護管理能力の向上を意図した研修 | 25 |
| | 分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に 向けた継続教育 | |
| 1 | 看護教育者研修 | 27 |
| 1) | 施設内教育担当者に関する研修 | 27 |
| 2) | 新人教育担当者に関する研修 | 31 |
| | 分類5 資格認定教育 | |
| 1 | 認定看護管理者教育課程他 | 33 |
| 1) | 認定看護管理者教育課程 | 33 |
| | 分類6 看護職能団体としての研修等 | |
| 1 | 職能研究会 | 45 |
| | 地域保健・産業保健フォーラム | 45 |
| | 保健師職能研究会 | 45 |
| | 助産師職能研究会 | 45 |
| | 看護師職能研究会 | 46 |
| | 三職能合同研究会 | 46 |
| | リスクマネジャー意見交換会 | 47 |
| 2 | 組織強化研修 | 48 |
| | 看護管理者研究会 | 48 |
| | 施設代表者等研修会 | 49 |
| 3 | 准看護師研修会 | 49 |
| 4 | 看護職員復職支援研修他 | 50 |
| IV | 支部教育事業 | 55 |
| V | 資料 | 63 |
| 1 | 令和5年度教育研修の 企画、運営に関わった委員会・事業部署 | 63 |
| 2 | 令和5年度生涯教育研修実施状況 | 64 |
| 3 | 修了証を交付した研修会、講習会一覧 | 69 |
| 4 | 研修内容 (受託研修、研修修了証を交付した研修会) | 70 |
| 5 | 年度別受講者数 | 90 |
| 6 | 令和5年度 看護研究サポート事業 ―協力大学― | 91 |
| 7 | 令和5年度図書室サービス実施状況 | 91 |

令和5年度広島県看護協会生涯教育研修事業報告書における講師名、所属機関等の記載について

1. 講師名の表記について

敬称略：講師名のみを記載し、職位は記載しない。

2. 所属機関の表記について

施設名のための記載、設置主体、部署は記載しない。

敬称略：株式会社→(株)〇〇 または〇〇(株) 公益社団法人→(公社)等

※国立大学法人、医療法人〇〇会、独立行政法人国立病院機構、NPO法人

地方独立行政法人〇〇市立病院機構、〇〇市立総合医療センター等は表記しない。

3. 会員、非会員について

1) 会 員：広島県看護協会に入会している保健師・助産師・看護師・准看護師

2) 非会員：広島県看護協会に入会していない保健師・助産師・看護師・准看護師

3) 日本看護協会主催の研修については次のとおり。

会 員：日本看護協会に入会している保健師・助産師・看護師・准看護師

非会員：日本看護協会に入会していない保健師・助産師・看護師・准看護師

I 広島県看護協会生涯教育体系

1. 教育理念

広島県看護協会は、看護職が専門職業人として能力の維持・向上を主体的に行う責務を果たし、人々の健康な生活の実現に寄与するため、キャリア段階に応じた継続教育を行う。

2. 教育目的

- 1 地域のニーズに応じた看護職の役割発揮を支援する。
- 2 教育に携わる人々の能力育成を支援する。
- 3 看護管理者とこれから看護管理を担う人々の看護管理能力の向上を支援する。

3. 成果

- 1 地域のニーズに応じた「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ看護職の役割を發揮できる看護職の育成
- 2 質の高い看護実践を支える看護教育者の育成
- 3 質の高い看護実践を支える看護管理者の育成

4. 教育枠組み

主体的キャリア開発を促す視点に立ち、本会の教育計画は次の1～5を基本的な軸として構成する。

- 1 専門職業人として看護者に必要な能力の全体像【表1】
- 2 研修分類 —継続教育における教育研修の位置づけ—【表2】
- 3 看護職に必要な基本的能力と段階（レベル）【表3】
 - ・看護実践能力「看護師のクリニカルラダー」（JNA ラダー）
 - ・組織的役割遂行能力
 - ・自己教育・研究能力
- 4 「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）」CLOCMiP®【表4】
- 5 「病院看護管理者のマネジメントラダー」【表5】

【表1】専門職業人として看護者に必要な能力の全体像

| 項 目 | | 内 容 | |
|--------------|----------|---|--|
| 専門的・倫理的・法的実践 | 説明責任 | 自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について個人としての責任を持つ。 | |
| | 倫理的実践 | 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重し、看護者の倫理綱領に基づいて看護を実践する。 | |
| | 法的実践 | 医療法、保健師助産師看護師法に基づき、日本看護協会などのガイドラインに沿って実践を行う。 | |
| 看護の提供とマネジメント | 看護の主要原則 | 看護の提供 | 専門的知識に基づく判断を行い、系統的アプローチを通して個別の実践を行う。 |
| | | アセスメント | 看護過程を展開するために必要な情報の収集・分析と健康問題の判断を行う。 |
| | | 計画 | 看護上の問題の明確化と解決のための方策を提示し、問題解決のための方法を選択する。 |
| | | 介入 | 利用者へのインフォームドコンセント、直接的看護方法・相談・教育を実施する。 |
| | | 評価 | 実施した看護の事実即した記録作成、実施した看護の評価、計画の修正・再構成を行う。 |
| | ケアマネジメント | コミュニケーションと対人関係 | 対象となる人々に対して、適切なコミュニケーションと対人関係技術によって治療的関係を築く。 |
| | | 健康増進 | すべての人々を対象として身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態に到達するために、個人や集団が自己の目標を確認・実現し、ニーズを満たし、環境を改善し、環境に対処できるよう援助する。 |
| | | 安全環境 | 対象となる人々へ安全な看護を提供し、人々が危機的状況にさらされているときは、保護し安全を確保する。 |
| | | 専門職種間の協働 | 他の看護者および保健医療福祉関係者とともに協働して看護を提供する。 |
| | | 委任と管理 | 他の看護者および保健医療福祉関係者に委譲する場合には、自己および相手の能力と実践可能範囲内の活動を正しく判断し、委任し管理する。 |
| 専門能力の開発 | 専門性の強化 | 研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。 | |
| | 質の向上 | 看護業務の質を評価する際に、妥当性のある根拠を用いて、質の向上のための取り組みに参加する。 | |
| | 継続教育 | 常に、個人の責任として継続学習による能力の維持・開発に努める。 | |

【表2】研修分類 — 継続教育における教育研修の位置づけ —

| 分 類 | | 研 修 領 域 | | |
|-----|--------------------------------------|--|--|--|
| 1 | 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 | 新人研修 | 基礎教育終了後から概ね1年までの新人看護職を対象とする研修 | 1) 新人看護職員の看護実践に関する基本的な知識、技術、態度に関する研修 * 受託研修含む |
| | | ジェネラリスト研修 | 卒後2～3年目を対象とした集合研修 地域のニーズに応じた看護職の役割発揮を支援する研修 | 2) 卒後2～3年目を対象とした集合研修 * 受託研修 1) 臨床の課題解決を目的とした研修 (1) 健やかに生まれ育つことへの支援 (2) 健康に暮らすことへの支援 (3) 緊急・重症な状態から回復することへの支援 (4) 住み慣れた地域に戻ることに支援 (5) 疾病・障がいとともに暮らすことへの支援 (6) 穏やかな死を迎えることへの支援 2) 看護専門職としての専門能力の開発に関する研修 3) 本会の重点事項等関連研修 |
| | | スペシャリスト研修 | 特定の分野・領域において専門性の高い看護実践を提供する看護職を対象とする研修 | 1) 認定看護師研修会等 (他教育機関において開催される専門看護師、認定看護師、特定行為に係る看護師の研修等) |
| 2 | ラダーと連動した継続教育 | 日本看護協会教育計画 インターネット配信研修【オンデマンド】(「看護師のクリニカルラダー」)(CLoCMIP)に該当する研修 | 分類2(「看護師のクリニカルラダー」「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)」) | |
| 3 | 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 | 看護管理者研修 | 看護管理者とこれから看護管理を担う人々への看護管理能力向上を支援する研修 | 1) 看護管理能力の向上を意図した研修 |
| 4 | 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 | 看護教育者研修 | 教育に携わる人々の能力育成を支援する研修 | 1) 施設内教育担当者に関する研修 * 受託研修含む 2) 新人教育担当者に関する研修 * 受託研修含む |
| 5 | 資格認定教育 | 認定看護管理者教育課程 他 | 一定期間の教育を通し、期待される役割遂行に必要な能力を取得するための研修 | 1) 認定看護管理者教育課程 |
| 6 | 看護職能団体としての研修等 | 看護職能団体としての諸課題を追求し、看護職能としての機能性を高めるための研修等 | | 1) 職能研究会 2) 組織強化研修 |

* 保健師・准看護師対象研修は研修分類 1 に含む

日本看護協会の研修分類をもとに作成

【表3】看護職に必要な基本的能力と段階(レベル)

| 能力 段階 | 看護実践能力(看護師のクリニカルラダー) | | | | 組織的役割遂行能力 | 自己教育・研究能力 | |
|----------|---|---------------------------------|-----------------------------|---|---------------------------------------|--|---|
| | 看護実践能力を構成する4つの力とレベル毎の目標 | | | | | | |
| | 論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力 | ニーズをとらえる力 | ケアする力 | 協働する力 | 意思決定を支える力 | | |
| I | 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する | 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる | 助言を得ながら安全な看護を実践する | 関係者と情報共有ができる | ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る | 責任の最も軽い、難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす／看護チームでは、フォロワーやチームメンバーの役割、看護単位での係としては簡単なルーティーンの役割を遂行できる | 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる |
| II | 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する | ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる | ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する | 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる | ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる | 組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて、基準や手順を順守した行動がとれる／日々の看護業務においてリーダーシップがとれる | 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開できる |
| III | ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する | ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる | ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する | ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる | ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる | 所属する職場で、組織的役割が遂行できる／看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、看護単位の係としては、創造的能力を要求される係の役割を遂行できる | 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる |
| IV | 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する | ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる | 様々な技術を選択・応用し看護を実践する | ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる | ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる | 所属する職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割を遂行できる／看護単位の課題の明確化ができる | 自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む、後輩のロールモデルになることができる |
| V | より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する | ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえたニーズをとらえる | 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する | ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす | 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる | 所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる／看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる | 単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる／主となり研究活動を実践できる／看護単位における教育的役割がとれる |

【表4】助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)CLoCMiP®

| | |
|-----|---|
| 新人 | 1. 指示・手順・ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる |
| I | 1. 健康生活支援の援助のための知識・技術・態度を身につけ、安全確実に助産ケアができる 2. 助産外来・院内助産について、その業務内容を理解できる 3. ハイリスク事例についての病態と対処が理解できる |
| II | 1. 助産過程を踏まえ個別的なケアができる 2. 支援を受けながら、助産外来においてケアが提供できる 3. 先輩助産師とともに、院内助産におけるケアを担当できる 4. ローリスク/ハイリスクの判別および初期介入ができる |
| III | 1. 入院期間を通して、責任をもって妊産褥婦・新生児の助産ケアを実践できる 2. 助産外来において、個別性を考慮したケアを自律して提供できる 3. 助産外来において、指導的な役割を実践できる 4. 院内助産において、自律してケアを提供できる 5. ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる |
| IV | 1. 創造的な助産実践ができる 2. 助産外来において、指導的な役割を実践できる 3. 院内助産において、指導的な役割を実践できる 4. ローリスク/ハイリスク事例において、スタッフに対して教育的なかかわりができる |

助産師のコア・コンピテンシー

| | |
|--------------|--|
| 倫理的感応力 | 対象を尊重し、そのニーズを鋭敏にとらえて倫理的に応答することであり、助産師活動における道徳的義務を実践に反映する能力 |
| マタニティケア能力 | 分娩を核とする周産期、すなわち、マタニティサイクルにおいて、安全で有効な助産ケアを提供することであり、妊娠期、分娩期、産褥期、乳幼児期における役割・責務を実践に反映する能力 |
| ウィメンズヘルスケア能力 | 女性の生涯を通じた支援者であるとともに、相互にパートナーシップを築くことであり、ウィメンズヘルスにおける役割・責務を実践に反映する能力 |
| 専門的自律能力 | 専門職としてのパワーを組織化し、社会に発信することであり、助産管理および専門職としての自律を保つための役割・責務を実践に反映する能力 |

【表5】病院看護管理者のマネジメントラダー

| | |
|-----|---|
| I | 自部署の看護管理者とともに看護管理を実践できる |
| II | 自部署の看護管理を実践できる |
| III | トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる |
| IV | 病院全体の管理・運営に参画するとともに地域まで視野を広げた看護管理を実践できる |

病院看護管理者のマネジメントラダーを構成する6つの能力と定義

| | |
|--------|---|
| 組織管理能力 | 組織の方針を実現するために資源を活用し、看護組織をつくる力 |
| 質管理能力 | 患者の生命と生活、尊厳を尊重し、看護の質を組織として保証する力 |
| 人材育成能力 | 将来を見据えて看護人材を組織的に育成、支援する力 |
| 危機管理能力 | 予測されるリスクを回避し、安全を確保するとともに、危機的状況に陥った際に影響を最小限に抑える力 |
| 政策立案能力 | 看護の質向上のために制度・政策を活用及び立案する力 |
| 創造する能力 | 幅広い視野から組織の方向性を見出し、これまでにない新たなものを創り出そうと挑戦する力 |

5. 教育計画作成の方針

- 1 継続教育の体系化を図り、看護職の生涯にわたるキャリア開発を支援する。
- 2 教育枠組みを基に研修を企画する。
- 3 成人学習理論を踏まえた研修を企画する。
- 4 看護を取りまく時代的課題に対応できるよう柔軟に研修を企画する。
- 5 日本看護協会・関係機関および本会支部と連携し、本会の継続教育の充実を図る。

6. 年度別教育計画作成の基本的項目

年度別の教育計画の作成に際しては、教育計画の基本方針に基づき

- 教育計画の枠組み
- 研修内容
- 研修方法
- 講師
- 開催地

等を基礎的項目として企画立案する。

II 令和5年度 教育計画の実施概要

1. 令和5年度教育計画作成の方針

- 1) 主体的なキャリア開発を促す視点に立ち、教育計画の枠組み（下記（1）～（5））を活用し、教育研修を企画する。
 - (1) 「専門職業人として看護者に必要な能力の全体像」
 - (2) 研修分類－継続教育における教育研修の位置づけ－
 - (3) 看護職に必要な基本的能力と段階
 - (4) 「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）」 CLoCMiP[®]
 - (5) 「病院看護管理者のマネジメントラダー」
- 2) 保健医療福祉の動向、看護職のニーズを反映した研修を企画する。
- 3) 本会の重点事項を推進するために必要な教育研修を企画する。
- 4) (1) 地域包括ケアの推進のために必要な研修
(2) 看護職の人材確保と定着推進のために必要な研修
- 5) 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて安全な研修環境・方法で開催する。
- 6) 看護実践者としてのキャリア開発を支援するため、研修テーマや対象に応じた専門家を招聘する。
- 7) 受講者の利便性を考慮して、県東部等でも開催する。

2. 教育計画内容(研修領域別)の企画、開催

上記の方針に沿って企画した教育プログラムを『Ⅲ 令和5年度研修分類・領域別実施報告』（9ページ～54ページ）のとおり実施した。

5月初旬に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにともない、感染対策の見直しをはじめ、一部研修（実技や人数限定で演習を行う研修）を除き、受講可能人数の拡大に柔軟に対応した。

1) 研修領域別

(1) 新人研修

新人看護職員の看護実践に関する基本的な知識、技術、態度に関する研修は6テーマ、広島県の委託研修として、新人ナース集合研修5テーマ、新人助産師集合研修9テーマ、卒後2～3年目を対象とした研修2テーマを開催した。

(2) ジェネラリスト研修

40テーマ・45件の研修を開催した。

災害支援ナース育成の研修については、厚生労働省から日本看護協会に「新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業」として委託され、都道府県看護協会において日本看護協会主催「災害支援ナース養成研修」として実施することになった。災害と新たに加わった感染症についての内容をオンデマンド研修4日間、集合研修2日間で開催し、修了者リストを日本看護協会、広島県健康福祉局医療介護基盤課に提出した。（23ページ、84～85ページ参照）

(3) スペシャリスト研修

認定看護師研修会は「認定看護師の役割拡大～特定行為研修修了者の組織・地域での活動～」をテーマに開催した。

特定行為研修修了者の講師による講演および実践報告、各分野や役職別グループ等で情報交換を行った。

- (4) 看護管理者研修
5 テーマ・7 件の研修を開催した。
- (5) 看護教育者研修
施設内教育担当者に関する研修は7 テーマ・14 件、新人教育担当者に関する研修は3 テーマ・5 件を開催した。
- (6) 認定看護管理者教育課程
ファーストレベル、セカンドレベル、サードレベルの各教育課程、ファーストレベル修了者フォローアップ研修会（第1期・第2期）およびセカンドレベル修了者フォローアップ研修会を予定通り開催した。
- (7) 看護職能団体としての研修等
各職能委員会による研究会、地域保健・産業保健フォーラム、リスクマネージャー意見交換会、中間看護管理者研究会、看護管理者研究会施設代表者研修会、准看護師研修会、広島県看護職員復職支援研修を予定通り開催した。

2) 受託・共催研修

広島県看護職員確保対策事業の一環として養成の充実・強化、離職防止対策等に関する研修を行った。

- ・ 養成の充実・強化～広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会、広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）、広島県専任教員継続研修
- ・ 離職防止対策～新人看護職員研修（新人ナース集合研修、卒後2～3年目を対象とした集合研修、新人助産師集合研修、研修責任者研修、教育担当者研修、実地指導者研修、シミュレーション研修のための指導者育成プログラム）、看護職員復職支援研修
- ・ 看護職員認知症対応力向上研修事業～看護職員認知症対応力向上研修（指導的立場にある看護職を対象。認知症ケア加算対象の研修）、病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修

3) 講師

研修テーマに応じて、現場での経験豊富な専門看護師および認定看護師、大学等の教員等、県内外の講師に依頼した。

4) 研修開催地

福山市および庄原の会場で、10 テーマ・13 件の集合研修を開催した。

5) 研修修了証の交付・履歴管理

本会の図書・情報管理室において登録管理を行っている。今年度の本会会長名による研修修了証を交付した研修会は69 ページの通りである。

3. 実施結果

教育計画内容の実施状況は、表1（研修領域別実施状況）のとおりである（各研修領域別の研修テーマに関する実施結果等の詳細は、9 ページ～54 ページ参照）。

1) 定員充足率

令和5年度の会員数19,843人に対し、研修テーマ数は103、定員数は7,448人（会員数に対して約37%）、延べ受講者数は6,756人であった。研修事業全体の定員充足率平均は109%だった。各研修領域別の定員充足率等の実施状況は次ページの表1、各研修テーマ別の定員充足率等は、64 ページ～68 ページに記載している。

2) 満足度・理解度

受講後のアンケート結果のうち、各研修の満足度と理解度の4段階評価結果を点数化{評価点3（できた）・2・1・0（できない）}し、平均した数値を教育効果としてみた。

各領域別の平均は、新人研修：満足度 2.73、理解度 2.68、ジェネラリスト研修：満足度 2.68、理解度 2.47、看護管理者研修（認定看護管理者教育課程を除く）：満足度 2.71、理解度 2.66、看護教育者研修：満足度 2.74、理解度 2.54 となった。

なお、認定看護管理者教育課程の理解度、活用度、達成度等は 33 ページ～44 ページに記載のとおりである。

3) 非会員（看護職）の受講者

本会が開催する研修は、看護管理者研究会以外の全ての研修会において、本会の会員、非会員の区別なく受講することが可能である。令和 5 年度のジェネラリスト研修領域における非会員（看護職）の延べ受講者数は 210 人であった。

4. その他

1) 在宅医療の人材（訪問看護師）確保のための推進事業における研修の開催

次のプログラムを継続教育部において開催した。

- ・「訪問看護 e ラーニング」を活用した訪問看護師養成研修
- ・退院調整看護師養成研修

2) 行政・他団体との共催による研修の開催

(1) 広島市精神保健福祉センターとの共催による研修（1回）

うつ病・自殺対策医療機関スタッフ研修として「アルコールを伴ううつ病の理解と自殺予防～死にたい気持ちに気づいたら 医療現場でできること～」をオンライン研修で開催した。

【表1】研修領域別実施状況

| 研修領域 | | テーマ数 | 研修件数 | 定員数 | 申込者数 | 受講者数 | 定員充足率平均 | 受講率平均 | 満足度平均 | 理解度平均 | |
|-------------------|----------------------------|----------------------|------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|------|
| 新人研修 | 新人看護職対象 | 6 | 2 | 200 | 153 | 150 | 77% | 75% | 2.74 | 2.59 | |
| | 新人ナース集合研修 *委託研修 | 5 | 17 | 480 | 387 | 342 | 81% | 71% | 2.79 | 2.79 | |
| | 新人助産師 *委託研修 | 9 | 6 | 120 | 86 | 69 | 72% | 58% | 2.72 | 2.70 | |
| | 卒後2～3年目対象 *委託研修 | 2 | 5 | 220 | 282 | 234 | 128% | 106% | 2.68 | 2.62 | |
| ジェネラリスト研修 | 臨床の課題解決を目的とした研修 | 健やかに生まれ育つことへの支援 | 2 | 2 | 100 | 80 | 70 | 80% | 70% | 2.52 | 2.55 |
| | | 健康に暮らすことへの支援 | 5 | 6 | 380 | 461 | 379 | 121% | 100% | 2.77 | 2.68 |
| | | 緊急・重症な状態から回復することへの支援 | 3 | 3 | 240 | 426 | 357 | 178% | 149% | 2.50 | 2.36 |
| | | 住み慣れた地域に戻る ことへの支援 | 2 | 2 | 100 | 190 | 165 | 190% | 165% | 2.74 | 2.62 |
| | | 疾病・障がいとともに暮らすことへの支援 | 8 | 10 | 804 | 1032 | 893 | 128% | 111% | 2.65 | 2.32 |
| | | 穏やかな死を迎えることへの支援 | 4 | 4 | 310 | 398 | 349 | 128% | 113% | 2.78 | 2.43 |
| | 看護専門職としての専門能力の 開発に関する研修 | 15 | 18 | 1,140 | 1,558 | 1,255 | 137% | 110% | 2.67 | 2.33 | |
| | 本会の重点事項等 関連研修 | 2 | 2 | 124 | 201 | 178 | 162% | 144% | 2.79 | 2.52 | |
| スペシャリスト研修 | | 1 | 1 | 70 | 111 | 97 | 159% | 139% | 2.85 | — | |
| 看護管理者研修 | 看護管理能力の向上を意図した研修 | 4 | 6 | 314 | 266 | 237 | 85% | 75% | 2.71 | 2.66 | |
| | (日本看護協会主催) 医療安全管理者養成研修 | 1 | 1 | 70 | 57 | 54 | 81% | 77% | — | — | |
| 看護教育者研修 | 施設内教育担当者対象 *委託研修含む | 7 | 14 | 550 | 557 | 474 | 103% | 86% | 2.59 | 2.42 | |
| | 新人教育担当者対象 *委託研修 | 3 | 5 | 230 | 294 | 233 | 128% | 101% | 2.88 | 2.66 | |
| 認定看護管理者研修 | | 7 | 7 | 346 | 408 | 310 | 118% | 89% | — | — | |
| 看護職能団体としての 研修等 | 職能研究会 | 10 | 10 | 610 | 420 | 369 | 71% | 63% | — | — | |
| | 組織強化研修 | 6 | 6 | 1,000 | 777 | 534 | 77% | 53% | — | — | |
| | 准看護師研修会 | 1 | 1 | 40 | 9 | 9 | 23% | 23% | — | — | |
| 総計 | | 103 | 128 | 7,448 | 8,153 | 6,758 | 109% | 91% | 2.71 | 2.55 | |

※研修終了時に実施した受講者アンケートの平均値（4段階自己評価 できた：3～できない：0）

Ⅲ 令和5年度研修分類・領域別実施報告

分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

1 新人研修

1) 新人看護職員の看護実践に関する基本的な知識、技術、態度に関する研修

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.1 ①看護専門職としてのキャリアアップ ②看護専門職として必要な基本姿勢と態度 ③患者の理解と患者・家族との人間関係づくり ④チーム医療の構成員としての役割・心構え | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 5月26日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | I | 100 | 82 | 1,000 |
| 目的 | ①主体的な自己学習継続の必要性について理解する。 ②看護専門職としての自覚と責任ある行動について理解する。 ③患者・家族との良好な人間関係確立のために必要な要素を理解する。 ④組織およびチーム医療における役割・適切なコミュニケーションについて理解する。 | | | | |
| 内容 | ①看護専門職とは／生涯学習の意義とキャリアアップ ②医療倫理／看護倫理と看護実践／看護行為による生命の危険性／職業人としての自覚 ③患者のニーズ／患者の尊重／患者・家族への説明と同意／守秘義務／家族への支援 ④チーム医療とは／医療従事者としての適切なコミュニケーション | | | | |
| 講師 | 中電病院 相原忍 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習（オンライン） | | | | |
| 参加条件 | 200床未満の施設の新人看護職 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.2 ⑤医療安全管理 ⑥情報管理 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 6月 2日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | I | 100 | 68 | 1,000 |
| 目的 | ⑤医療安全管理の重要性を理解し、医療現場で取り組む医療安全の基礎的知識、対応について学ぶ。 また、医療現場で起こりやすい事故の具体例をとおして、基礎的な防止対策について理解する。 ⑥情報管理の重要性を理解し、医療情報や記録の取り扱いの基礎を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | ⑤医療安全管理体制／新人が起こしやすしいンシデント・アクシデントと防止策／インシデント（ヒヤリハット）報告／報告・連絡・相談／転倒転落等の事故防止／誤薬防止・患者誤認防止策について ⑥患者への適切な情報提供／医療情報や記録の取り扱い | | | | |
| 講師 | メディカルパーク野村病院 田村幸美 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習（オンライン） | | | | |
| 参加条件 | 200床未満の施設の新人看護職 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.3 新人ナース集合研修 ①看護における倫理的行動 ②観察と記録 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 6月 4日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | I | 70 | 24 | 1,000 |
| 目的 | ①看護倫理の重要性について学び、看護実践における倫理的行動のあり方を考える。 ②患者の状態を把握するための観察のポイントを理解し、記録する方法を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | ①看護倫理の基本的な考え方／看護実践における倫理的行動 ②観察の意義と重要性／看護記録と実習記録の相違／看護記録について～目的の理解と正確な記録の作成～／看護記録と法律等との関連 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | メリィホスピタル 浜崎忍 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した准看護師 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|--------------------------|-------------------------|--------------------|
| 研修会名 | No.4 新人ナース集合研修 ③看護実践に活かすフィジカルアセスメント (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 広島 令和5年 6月13日～16日、11月9、10日 (各1日) 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) 1,000 |
| | 福山 令和5年7月29日、8月26日、10月28日 (各1日) 10:00～16:00 | I | 広島 120 福山 60 庄原 20 | 広島 92 福山 49 庄原 18 | |
| | 庄原 令和5年6月3日 10:00～16:00 | | | | |
| 目的 | 看護におけるフィジカルアセスメントの意義を理解し、看護実践にいかすための基礎技術を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | フィジカルアセスメントとは／看護におけるフィジカルアセスメントの意義／呼吸のフィジカルアセスメント／循環のフィジカルアセスメント | | | | |
| 会場 | 広島 広島県看護協会会館 福山 福山市民病院 庄原 庄原赤十字病院 | | | | |
| 講師 | 広島 県立広島病院 北尾剛明／JA尾道総合病院 伊藤弥史／尾道市立市民病院 檀上恵美子／JA尾道総合病院 高月利枝／呉共済病院 能登谷さおり／呉共済病院 大上晋太郎／東広島医療センター 當麻麻美／広島赤十字・原爆病院 神垣町枝／JA広島総合病院 小田浩子／尾道市立市民病院 山本昌弘 福山 福山市民病院 小林美沙代／福山市民病院 木村由佳／福山市民病院 馬屋原涼子 庄原 総合病院庄原赤十字病院 富吉めぐみ／市立三次中央病院 片山香 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した保健師、助産師、看護師、准看護師 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|--------------------|
| 研修会名 | No.5 新人ナース集合研修 ④救急蘇生 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月13日 9:00～12:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) 1,000 |
| | 令和5年 7月13日 13:30～16:30 | I | 100 | 81 | |
| | 令和5年 7月14日 9:00～12:00 令和5年 7月14日 13:30～16:30 ※半日(3時間)の研修 | | | | |
| 目的 | 救命救急場面における処置について基礎的知識を学び、演習をとおして基本技術を習得する。 | | | | |
| 内容 | 意識レベルの把握／気道の確保／急変時の対応 人工呼吸・閉鎖式心臓マッサージ・気管挿管の準備と取扱い・AED | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 救急看護認定看護師 (P88 インストラクター参照) | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した保健師、助産師、看護師、准看護師 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|--------------------|
| 研修会名 | No.6 新人ナース集合研修 ⑤-1自己の学習課題の発見と取組み (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月 5日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) 1,000 |
| | | I | 70 | 62 | |
| 目的 | 1年目を振り返り、自己の学習課題について考え、課題解決のための主体的取り組みを学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 新人1年目の振り返り／自己学習課題の発見／課題解決のプロセス／学習成果の実践への活用 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 野村弘美 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した保健師、助産師、看護師 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|--------------------|
| 研修会名 | No.7 新人ナース集合研修 ⑤-2自己の学習課題の発見と取組み (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月 9日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) 1,000 |
| | | I | 40 | 16 | |
| 目的 | 1年目を振り返り、自己の学習課題について考え、課題解決のための主体的取り組みを学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 新人1年目の振り返り／自己学習課題の発見／課題解決のプロセス／学習成果の実践への活用 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島県立三次看護専門学校 小林和子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 受講対象 | 免許取得後初めて就業した准看護師 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.8 新人助産師集合研修 ①助産師の役割と使命／②新人助産師の交流 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 9月10日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | C新人 | 20 | 9 | 1,000 |
| 目的 | ①助産師の役割と使命、職業的倫理観を確認し、安心・安全な助産ケアを提供するための臨床実践能力を向上させる自己研鑽の必要性を理解する。 ②様々な場所で活躍する先輩助産師の実践報告を聞き、新人助産師の交流を図る。 | | | | |
| 内容 | ①新人助産師に期待すること／助産師のキャリア開発／助産師の職業的倫理観／妊産褥婦及び家族への説明・助言 ②先輩助産師の実践報告／新人助産師の思いを語る | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 日本赤十字広島看護大学 奥村ゆかり／実践報告者(助産師)2人 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した助産師 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.9 新人助産師集合研修 ③広島県の周産期医療の動向／④分娩監視装置の装着と判読 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月 7日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | C新人 | 20 | 10 | 1,000 |
| 目的 | ③広島県の周産期医療の動向について理解する。 ④妊産婦の安全・安楽に配慮して分娩監視装置を装着でき、データの判読ができる。 | | | | |
| 内容 | ③広島県の周産期医療の動向 ④分娩監視装置の装着と判読 (CTG NSTなど) | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島県健康福祉局／日本赤十字広島看護大学 奥村ゆかり | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した助産師 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.10 新人助産師集合研修 ⑤分娩期のアセスメントとケア (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月28日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | C新人 | 20 | 14 | 1,000 |
| 目的 | 正常分娩を扱う上で基礎となる分娩第1～4期の適切なアセスメント、リスク管理および助産ケアについて理解する。 | | | | |
| 内容 | 分娩第1～4期のアセスメント／分娩期のケア(産痛緩和ケアを含む)／リスク管理と助産ケア | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 助産師 入江寿美代 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した助産師 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.11 新人助産師集合研修 ⑥新生児のフィジカルアセスメント／⑦新生児胎外適応の促進 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月 8日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | C新人 | 20 | 15 | 1,000 |
| 目的 | ⑥新生児のバイタルサイン、全身状態、成熟度と発育、異常所見等について理解する。 ⑦新生児の生理的变化が順調に経過し、胎外生活に円滑に適応できるように支援するために必要な理論とケアについて理解する。 | | | | |
| 内容 | ⑥新生児のバイタルサイン ⑦新生児胎外適応の促進(呼吸・循環・排泄・栄養)／新生児胎外適応の促進ケア | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島市立広島市民病院 植田明子／県立広島病院 新開千里 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した助産師 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.12 新人助産師集合研修 ⑧母乳育児支援 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月22日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | C新人 | 20 | 10 | 1,000 |
| 目的 | 母乳分泌のメカニズム・母乳育児支援について理解し、母乳育児を確立するためのケアについて学ぶ。 | | | | |
| 内容 | WHO母乳育児成功のための10カ条/母乳分泌のメカニズム/母乳栄養確立のためのケア/卒乳に対する支援 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | えつき助産院 悦喜桂子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した助産師 | | | | |

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.13 新人助産師集合研修 ⑨ハイリスク妊産婦の管理 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年12月2日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | C新人 | 20 | 11 | 1,000 |
| 目的 | 妊娠期・分娩期における異常ならびに緊急時の対処について学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 妊娠期の異常と対処/分娩期の異常と対処/緊急時の対処 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島市立広島市民病院 上野尚子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 免許取得後初めて就業した助産師 | | | | |

2) 卒後2~3年目を対象とした集合研修

| | | | | | |
|------|--|------|----------------|--------------------------------------|-----------|
| 研修会名 | No.14 イキイキと看護を続けるための仕事術 (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 広島 (第1回) 令和5年 6月29日 10:00~16:00 (第2回) 令和5年11月 3日 10:00~16:00 福山 (第1回) 令和5年 7月 3日 10:00~16:00 (第2回) 令和5年10月27日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | I | 広島 70 福山 30 | 第1回 80 第2回 75 第1回 26 第2回 24 | 各日1,000 |
| 目的 | 1 日常業務で忘れがちな看護の本質を再認識し、あるべき姿を明確にして看護実践できる。 2 看護場面を振り返ることで、自己の課題を明確にし、専門職としての自覚を持って看護実践できる。 | | | | |
| 内容 | (第1回) 卒後2~3年目の振り返り/「看護の面白さ」を実感し、日常業務への活用 (第2回) コミュニケーションスキル/看護倫理等に関する課題解決 | | | | |
| 会場 | 広島：広島県看護協会会館 福山：(第1回) 学びの館ローズコム (第2回) 県民文化センターふくやま | | | | |
| 講師 | 関西医科大学 吉田和美 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 200床未満の施設の卒後2~3年目の看護職員 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.15 判断力・対応力アップを目指すフィジカルアセスメント (受託研修) | | | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月 2日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | II | 20 | 29 | 1,000 |
| 目的 | フィジカルアセスメントの基本を再学習し、シミュレータの事例をもとにより実践的なスキルを学ぶ。 | | | | |
| 内容 | フィジカルアセスメントに必要な知識(呼吸・循環・中枢神経系)/シミュレータを用いた演習 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 県立広島病院 西村将吾/尾道市立市民病院 檀上恵美子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 200床未満の施設の卒後2~3年目の看護職員 | | | | |

2 ジェネラリスト研修

1) 臨床の課題解決を目的とした研修

(1) 健やかに生まれ育つことへの支援

| | | | | | |
|------|--|-------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.16 こどものフィジカルアセスメント | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 9月15日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | I~III | 50 | 50 | 2,500 |
| 目的 | こどものフィジカルアセスメントに必要な知識を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | フィジカルアセスメントとは/こどものフィジカルアセスメントの特徴/一般状態のアセスメント/各器官のフィジカルアセスメント | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島大学病院 武澤友弘 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.17 未来の子どもと家族のためのプレコンセプションケア | | | | |
| 開催日時 | 令和5年12月16日 13:00~15:30 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | 1~IV | 50 | 20 | 1,250 |
| 目的 | プレコンセプションケアとその重要性について学び、自身の健康、保健指導に活かす。 | | | | |
| 内容 | プレコンセプションケアとは/プレコンセプションケアの重要性/生活や疾患などの生殖への影響/思春期からの疾患の予防/プレコンセプションケアの実践 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島市立広島市民病院 上野尚子 | | | | |
| 研修方法 | 講義 | | | | |

(2) 健康に暮らすことへの支援

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.18 高齢者看護の基礎知識 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月 3日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | II | 70 | 81 | 2,500 |
| 目的 | 高齢者が健康に過ごすための支援に必要な基礎知識を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 老いによる身体機能、精神機能の変化とその対応/栄養管理/フレイル対策/高齢者疾患をめぐる特徴/認知症の理解と支援 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 済生会広島病院 北木弥生 | | | | |
| 研修方法 | 講義 | | | | |

| | | | | | | |
|--------|--|--------|-------|---------------------|---------------------|-------------|
| 研修会名 | No.19 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 | | | | (受託研修) | |
| 開催日時 | (前期) 令和5年 7月30日 9:30~12:00 (後期) 令和6年 1月21日 9:30~12:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | II・III | 各80 | (前期) 134 (後期) 65 | (前期) 132 (後期) 65 | 無料 |
| 目的 | 病院勤務以外(診療所、訪問看護ステーション、介護事業所等)の看護師、歯科衛生士等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるための必要な基本知識や認知症ケアの原則、医療と介護の連携について学び、認知症の疑いのある人に早期に気づき、地域における認知症の人への支援体制構築の担い手となる。 | | | | | |
| 内容 | 認知症の基本的知識/地域における実践/社会資源等 | | | | | |
| 講師 | 安田女子大学 小野 一恵/広島県健康福祉局 | | | | | |
| 研修方法 | 講義(オンライン) | | | | | |
| 参加条件 | 広島県内の診療所、訪問看護ステーション、介護事業所等に勤務する看護師、歯科衛生士等の医療従事者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 研修の課程を修了した者には、広島県から修了証書を交付 | | | | | |

| | | | | | |
|------|--------------------------|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.20 禁煙支援ナース研修会 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月 5日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ・Ⅲ | 50 | 33 | 2,500 |
| 目的 | 禁煙支援を行うために必要な知識・技術を修得する。 | | | | |
| 内容 | 禁煙指導の基礎知識／禁煙指導の方法と実際 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 中電病院 山本香世 | | | | |
| 研修方法 | 講義 | | | | |

| | | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.21 糖尿病重症化予防（フットケア）研修会 | | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月 7日 9:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | 令和5年 7月 8日 9:00～16:00 | | | | | |
| | 令和5年10月 9日 9:00～16:00 (雨天延期) | Ⅳ | 30 | 30 | 30 | 15,000 |
| 目的 | 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と技術を身につける。 | | | | | |
| 内容 | 糖尿病患者の療養を支えるフットケア／糖尿病患者の足病変～病態生理から治療まで～／糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント／フットケアの実際／事例分析と評価／今後の糖尿病重症化予防（フットケア）の活動に向けて／糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | JA広島総合病院 石田和史／安田女子大学 佐藤果苗／JA尾道総合病院 貞安妙美／一陽会原田病院 庄子千鶴満／JA広島総合病院 加賀美昌美／JA広島総合病院 中元美恵／東広島医療センター 頼本奈々 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | 3つの要件を満たす者 ①糖尿病足病変の看護に従事した経験を5年以上有し、修了後、その業務に携わる予定の者 ②糖尿病合併症管理料を算定するための要件のうち、本研修を受講すること以外の要件が整っている施設 ③施設長（院長や看護部長）の推薦があること | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会長名による研修修了証を交付 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.22 こころとからだを癒しケアに活かすアロマセラピー | | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月23日 13:30～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | — | 70 | 36 | 無料 |
| 目的 | アロマセラピーのケアへの活用を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 補完・代替医療としてのアロマセラピー／認知症予防・介護への活用／実技 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 訪問介護アロマ&スクールMicro 砂川沙央里 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | ①②を満たす者 ①60歳以上の会員 ②会館維持整備積立金の納入完了者 | | | | |

(3) 緊急・重症な状態から回復することへの支援

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.23 急変時のアセスメントとケア【基礎編】 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月19日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ | 100 | 182 | 2,500 |
| 目的 | 急変時のアセスメントと対応について基礎知識を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 急変時の対応／迅速評価(ABCDE・ショックの徴候)／一時評価のABCDE／酸素療法／血液循環の血圧／輸液・輸血／救急時に使用される薬剤／患者がみえる記録 | | | | |
| 講師 | 広島大学病院 佐々智宏 | | | | |
| 研修方法 | 講義(オンライン) | | | | |

| | | | | | |
|------|---|--------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.24 急変時のアセスメントと対応【ステップアップ編】 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月31日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | II・III | 70 | 61 | 2,500 |
| 目的 | 事例を用いてクリティカルケア領域における看護の役割を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | クリティカルケアにおける看護の役割/呼吸器系/循環器系/消化器・代謝系/脳神経系/重症外傷/その他 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島大学病院 佐々智宏 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 【基礎編】を受講済の者 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.25 初心者のための人工呼吸器ケア | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 8月31日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | I・II | 70 | 114 | 2,500 |
| 目的 | 人工呼吸器の基本と人工呼吸器装着患者のケアのポイントを理解する。 | | | | |
| 内容 | 呼吸の解剖生理/人工呼吸器の基本的知識/アラーム対応など緊急時の対処/アセスメントとケア(鎮静管理・合併症の予防・精神的ケア・ウィーニングへの援助など) | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | JA尾道総合病院 伊藤弥史 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |

(4) 住み慣れた地域に戻ることへの支援

| | | | | | |
|------|--|--------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.26 在宅におけるスキンケア | | | | |
| 開催日時 | 令和6年 1月25日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | II・III | 50 | 62 | 2,500 |
| 目的 | スキンケアの基礎知識と在宅療養者および介護者への支援を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | スキンケアの基礎知識/予防的スキンケアと治療的スキンケア/在宅におけるスキンケアと介護者への支援 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 二宮内科 堤薫/ETナース 澤井尚子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.27 口腔ケアのプロから学ぶオーラルフレイル予防 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月21日 13:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | I~IV | 50 | 103 | 2,500 |
| 目的 | オーラルフレイルの予防と口腔ケア、多職種連携における具体的な取組みについて学ぶ。 | | | | |
| 内容 | オーラルフレイルとは/疾患・認知症と口の健康/口腔ケアの方法/多職種連携での取組みの実際 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 西広島リハビリテーション病院 折出由起/西広島リハビリテーション病院 尾川直子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |

(5) 疾病・障がいとともに暮らすことへの支援

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.28 脳卒中看護の理解と実践 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月20日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ | 100 | 78 | 2,500 |
| 目的 | 脳卒中看護の基礎を習得する。 | | | | |
| 内容 | 脳卒中の基礎知識/頭蓋内圧亢進症/脳神経症状のアセスメント/廃用症候群の予防/脳卒中看護の実践 | | | | |
| 講師 | JA尾道総合病院 小林雄一 | | | | |
| 研修方法 | 講義 (オンライン) | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.29 心不全患者の理解と看護ケア【基礎編】 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 9月22日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ | 100 | 131 | 2,500 |
| 目的 | 心不全のメカニズムを理解し、心不全患者の看護のポイントを学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 心不全の原因とメカニズム/心不全の症状と検査、治療/ケアのポイント/病期におけるケアのポイント/慢性心不全の看護 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島大学病院心不全センター 中麻規子 | | | | |
| 研修方法 | 講義 (ハイブリッド) | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.30 慢性心不全患者の理解と看護ケア【ステップアップ編】 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月17日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅲ | 100 | 87 | 2,500 |
| 目的 | 心不全の病態・治療を理解し、セルフケア支援や疾病管理の実際、終末期のケアを学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 心不全の病態・治療/心不全患者の症状アセスメント/症状緩和のマネジメントと療養生活支援/緩和ケア | | | | |
| 講師 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 小林志津江 | | | | |
| 研修方法 | 講義 (オンライン) | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.31 セルフケア支援に活かす慢性腎臓病の理解と看護 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月14日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ・Ⅲ | 100 | 62 | 2,500 |
| 目的 | 慢性腎臓病の病態・基本的治療、病期に応じたケアを理解し、セルフケア支援に活かす。 | | | | |
| 内容 | 慢性腎臓病の病態・治療/慢性腎臓病患者のアセスメントとケアのポイント/セルフケア支援 | | | | |
| 講師 | 日本赤十字広島看護大学 篠原謙太/市立三次中央病院 大長美智子 | | | | |
| 研修方法 | 講義 (オンライン) | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.32 がん化学療法を受ける患者の看護ケア | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 6月22日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ・Ⅲ | 100 | 72 | 2,500 |
| 目的 | がん化学療法について理解し、化学療法を受ける患者の看護について学ぶ。 | | | | |
| 内容 | がん化学療法の基礎知識/がん化学療法施行時におこりうる問題と対応/がん化学療法中の患者の支援 | | | | |
| 講師 | 県立広島病院 木下真由美 | | | | |
| 研修方法 | 講義 (オンライン) | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.33 栄養管理の基礎知識 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 8月7日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | II | 70 | 136 | 2,500 |
| 目的 | 看護職が現場で行う栄養管理に必要な基礎知識を学び、看護の役割を理解する。 | | | | |
| 内容 | 栄養とは/栄養状態のアセスメント/消化と吸収/経管栄養/中心静脈栄養/栄養療法の実際(放射線療法や化学療法を行っている患者・炎症性腸炎の患者・終末期の患者・嚥下困難な患者)/NSTにおける看護の役割 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 光仁会梶川病院 折出仁美/東広島医療センター 河端美代子 | | | | |
| 研修方法 | 講義 | | | | |

| | | | | | | |
|--------|--|------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------|
| 研修会名 | No.34 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 * JNA収録DVD研修 | | | | | |
| 開催日時 | 全2日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | 広島 令和5年 7月10日 9:30～16:30 令和5年 7月11日 9:30～16:30 広島 令和5年 9月 5日 9:30～16:30 令和5年 9月 6日 9:30～16:30 福山 令和5年10月19日 9:30～16:30 令和5年10月20日 9:30～16:30 | | | | | |
| | | — | 広島 70 広島 70 福山 24 | 広島 76 広島 133 福山 50 | 広島 76 広島 132 福山 50 | 6,270 |
| 目的 | 1 認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる。 2 入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる。 | | | | | |
| 内容 | 認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み/認知症に関連する疾患と病態・治療/組織で取り組む認知症高齢者ケア/認知症高齢者の看護に必要なアセスメント/認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術/認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方/多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方/認知症高齢者に適した療養環境と調整方法/認知症高齢者に特有な倫理的課題/認知症高齢者の意思決定支援/演習 | | | | | |
| 会場 | 広島：広島県看護協会会館 福山：県民文化センターふくやま | | | | | |
| 講師 | 講義：DVD収録の講師陣 演習補助者：広島 済生会広島病院 岡田望/尾道市立市民病院 赤瀬千恵/ 中国労災病院 山下喜美子 福山 日本鋼管福山病院 中島友美 | | | | | |
| 研修方法 | 講義(DVD)・演習 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には日本看護協会長名による修了証を交付 | | | | | |

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.35 発達障害を持つ人の理解と対応 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月 4日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | III | 70 | 68 | 2,500 |
| 目的 | 発達障害についての基本的知識、発達障害を持つ対象への支援について学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 発達障害とは/発達段階各期における病状等/発達障害を持つ対象の理解と支援 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島県発達障害者支援センター 吉元一峰 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |

(6) 穏やかな死を迎えることへの支援

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.36 ACP (アドバンス・ケア・プランニング) | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月28日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | II | 100 | 129 | 2,500 |
| 目的 | 終末期に向けての意思決定支援についてACPの考え方を理解する。 | | | | |
| 内容 | ACPの基本的な考え方とガイドライン/ACPの歴史的背景とAD、LWなどとの違い/ACPと倫理/ACPのすすめかた(いつ、どのように)/看護職の役割 | | | | |
| 講師 | 東京大学大学院 会田薫子 | | | | |
| 研修方法 | 講義(オンライン) | | | | |

| | | | | | | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.37 緩和ケア看護師研修 | | | | | |
| 開催日時 | 全2日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | 令和5年 9月26日 9:30~16:00 令和5年 9月27日 9:30~16:00 | | | | | |
| 目的 | 緩和ケアに関する看護師としての基本的な知識と技術を習得し、地域や施設において基本的な緩和ケアが提供できる人材を育成する。 | | | | | |
| 内容 | 診断時からの緩和ケア/全人的苦痛とがん疼痛のケア/がん患者の身体的苦痛に伴うケア(食欲不振、倦怠感、呼吸困難)/がん患者の精神的苦痛に伴うケア(不眠・不安・抑うつ・せん妄)/緩和ケアにおける退院支援・退院調整・在宅緩和ケアの現状と実際/コミュニケーションと意思決定支援・ACP | | | | | |
| 講師 | 広島大学 榎埜良江/県立広島病院 岩見加奈子/訪問看護ステーション相扶 山西友規/呉医療センター附属病院呉看護学校 奥田真由美 | | | | | |
| 研修方法 | 講義(オンライン) | | | | | |
| 参加条件 | 現在緩和ケアに携わっている者、または近い将来携わりたいと希望する実務経験年数2年以上の者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会会長名による研修修了証を交付 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.38 非がん患者の緩和ケア | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 9月14日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | III | 70 | 89 | 2,500 |
| 目的 | 非がん患者の緩和ケアにおける看護のポイントを理解する。 | | | | |
| 内容 | 非がん患者の緩和ケアの現状/非がん患者における主な症状とその対応/非がん患者の緩和ケアにおける看護師の役割(意思決定支援) | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島文化学園大学 佐々木由紀 | | | | |
| 研修方法 | 講義 | | | | |

| | | | | | | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.39 ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム | | | | | |
| 開催日時 | 全2日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | 令和5年 8月26日 9:00~17:00 令和5年 8月27日 9:00~17:00 | | | | | |
| 目的 | エンド・オブ・ライフ(人生の終焉を迎える人々への)ケアのポイントを学ぶ。 | | | | | |
| 内容 | 日本緩和医療学会に開催申請したELNEC-J看護教育プログラムにより実施しています。エンド・オブ・ライフ・ケアとは/疼痛マネジメント/症状マネジメント/悲嘆・喪失・死別へのケア/高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア/コミュニケーション/倫理的問題への介入/文化的な配慮/臨死期のケア/質の高いケアの達成について | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | YMCA訪問看護ステーション・ピース 瀨本千春/広島シーサイド病院 堀百合子 広島文化学園大学 佐々木由紀/広島大学病院 榎埜良江/福山市民病院 川波利子 広島市立北部医療センター安佐市民病院 升田志保 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会会長名による修了証を交付 | | | | | |

2) 看護専門職としての専門能力の開発に関する研修

| | | | | | | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.40 看護研究における倫理と研究の進め方 | | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 5月28日 13:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | I~IV | 60 | 38 | 38 | 1,250 |
| 目的 | 「人を対象とする医学系研究における倫理指針」について学び、看護研究における倫理と研究の進め方について理解を深める。 | | | | | |
| 内容 | 「人を対象とする医学研究における倫理指針」について／看護研究における患者情報の意義／倫理的配慮に基づいた研究の進め方 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | 京都大学大学院 宮下美香 | | | | | |
| 研修方法 | 講義(ハイブリッド) | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会長名による修了証を交付 | | | | | |

| | | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.41 看護研究入門Ⅰ・Ⅱ | | | | | |
| 開催日時 | 全2日 令和5年11月13日 10:00~16:00 令和5年11月14日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ | 70 | 129 | | 5,000 |
| 目的 | 看護研究の基礎的知識、文献の読み方を学ぶ。 | | | | | |
| 内容 | 【Ⅰ】看護研究の意義／研究計画書とは／研究目的、研究デザイン／倫理的配慮 【Ⅱ】文献の探し方／文献の読み方・活用の仕方／文献検討演習 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | 県立広島大学 松森直美 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------|---|------|--------------------------------------|---------|---------|-------------|--|
| 研修会名 | No.42 シリーズ看護研究 | | | | | | |
| 開催日時 | 全7日 令和5年 6月17日 10:00~16:00 令和5年 7月15日 10:00~16:00 令和5年 8月 5日 10:00~16:00 令和5年 9月16日 10:00~16:00 令和5年11月25日 10:00~16:00 令和6年 1月20日 10:00~16:00 令和6年 3月 2日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) | |
| | | Ⅱ | 8組(16) | 7 | 7 | 43,750 | |
| | | 目的 | 看護研究の実際を体験し、理解を深め、看護研究を推進する能力を養う。 | | | | |
| | | 内容 | 看護研究の進め方と方法／研究計画書作成／データ分析／論文作成／経過発表会 | | | | |
| | | 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| | | 講師 | 日本赤十字広島看護大学 横山奈未 | | | | |
| | | 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| | | 参加条件 | 原則として看護研究入門Ⅰ・Ⅱを受講済の者 | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会長名による修了証を交付 | | | | | | |

| | | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.43 看護における臨床推論 ～直感から根拠に基づく実践へ～ | | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 6月19日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ~Ⅳ | 70 | 83 | | 2,500 |
| 目的 | 看護師が行う臨床推論について理解し、アセスメント結果を効果的にチームで共有し実践に活かすためのポイントを学ぶ。 | | | | | |
| 内容 | 看護における臨床推論とは／思考プロセスの種類と方法／臨床推論に必要な情報収集／症状別臨床推論(呼吸困難・発熱など) | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | 呉医療センター・中国がんセンター 国島正義 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|----------------------|-------------|
| 研修会名 | No.44 感染管理【基礎編】 | | | | |
| 開催日時 | 全2日（1回目、2回目、同じ内容） （1回目）令和5年 7月12日 10：00～16：00 令和5年 7月13日 10：00～16：00 （2回目）令和5年 8月 3日 10：00～16：00 令和5年 8月 4日 10：00～16：00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | I・II | 各70 | (1回目) 95 (2回目) 85 | 5,000 |
| 目的 | 医療機関・施設・在宅における感染防止対策・感染管理に必要な基礎知識・技術を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 看護ケアと感染防止 I-①／微生物検査の見方 I／抗菌薬の使用方法 I／看護ケアと感染防止 I-② | | | | |
| 講師 | JA尾道総合病院 棒田静香／広島大学病院 榎山誠也 広島市立北部医療センター安佐市民病院 植竹宣江／広島赤十字・原爆病院 山水有紀子 | | | | |
| 研修方法 | 講義（オンライン） | | | | |

| | | | | | | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.45 感染管理【実践編】 | | | | | |
| 開催日時 | 全4日 令和5年11月27日 9：00～16：00 令和5年11月28日 9：00～16：00 令和5年12月 4日 9：00～16：00 令和5年12月 5日 9：00～16：00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | III | 70 | 79 | 75 | 12,500 |
| 目的 | 感染防止対策・感染管理の知識・技術を学び、施設内で感染防止を推進するためのリーダーとして必要な看護師の役割を理解できる。 | | | | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 感染防止対策・感染管理活動の実践に必要な知識・技術と感染管理教育活動が理解できる。 2 職業感染対策が理解できる。 3 病原微生物の基礎的知識と抗菌薬の使用方法が理解できる 4 サーベイランスの基礎的知識が理解できる。 5 科学的根拠に基づいた看護ケアと感染防止対策・感染管理について実践し、評価できる。 6 感染防止対策・感染管理活動に携わる看護師の役割が理解できる。 | | | | | |
| 内容 | P81参照 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | P81参照 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習（11/27, 11/28はオンライン） | | | | | |
| 参加条件 | 令和2年度以降の感染管理【基礎編】を受講している者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会長名による修了証を交付 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.46 心電図の基礎知識 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月26日 10：00～16：00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | I・II | 100 | 163 | 2,500 |
| 目的 | 心電図の基礎知識を学び、心電図検査の結果を臨床看護に活かす。 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 広島大学病院心不全センター 中麻規子 | | | | |
| 内容 | 心電図とは／正しい心電図のとり方／正常な心電図波形／代表的な不整脈の種類と特徴／不整脈出現時の観察と対応のポイント | | | | |
| 研修方法 | 講義（ハイブリッド） | | | | |

| 研修会名 | No.47 褥瘡予防と管理 | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-------------|
| 開催日時 | 全3日 令和5年 8月 8日 10:00~16:00 令和5年 8月 9日 10:00~16:00 令和5年 8月10日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅲ | 30 | 39 | 39 | 15,000 |
| 目的 | 褥瘡管理の基礎的知識を学び、褥瘡予防、ケアの質の向上をはかる。また、在宅における褥瘡予防やケア継続の指導・支援について学ぶ。 | | | | | |
| 内容 | P82参照 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | メリィホスピタル 松本典子/ETナース 澤井尚子/フェルデンクライス広島 藤田千穂/ 県立広島病院 西村智美 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | 褥瘡対策チームに所属している者または今後予定の者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会長名による修了証を交付 | | | | | |

| 研修会名 | No.48 基礎から学ぶリスクマネジメント | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 開催日時 | 令和5年 8月 5日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ | 100 | 112 | 2,500 |
| 目的 | 医療安全の基礎知識を学び、看護現場における取組みのヒントを得る。 | | | | |
| 内容 | 看護業務と医療事故/院内の組織安全体制/労働安全衛生対策/リスクを見る視点/対策につながる事故分析/スタッフ教育/医療事故発生時の対応 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 尾道市立市民病院 馬越秀子 | | | | |
| 研修方法 | 講義(ハイブリッド) | | | | |

| 研修会名 | No.49 ひとと組織の成長を促す看護におけるリフレクション | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 開催日時 | 令和5年10月28日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ・Ⅲ | 30 | 32 | 2,500 |
| 目的 | 看護におけるリフレクションの意義・活用について体験的に学び、自己・他者の成長、ケアの質向上につなげていくことができる。 | | | | |
| 内容 | リフレクションとは/看護におけるリフレクションの意味/リフレクション活用の実際 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 日本赤十字広島看護大学 田村由美 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 教育的役割を担っている中堅看護職 | | | | |

| 研修会名 | No.50 ファシリテーションスキル | | | | |
|------|--|------|----------------|----------------|-------------|
| 開催日時 | 広島 令和5年 6月25日 9:30~16:30 福山 令和5年 7月30日 9:30~16:30 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅲ | 広島 60 福山 24 | 広島 60 福山 24 | 2,500 |
| 目的 | グループワーク等の参加者の参画意識を向上させ、話し合いを促進させるファシリテーションの基礎スキルを学ぶ。 | | | | |
| 内容 | ファシリテーションとは/場のデザインスキル/対人関係のスキル/構造化のスキル/合意形成スキル/演習/ふりかえり | | | | |
| 会場 | 広島：広島県看護協会会館 福山：県民文化センターふくやま | | | | |
| 講師 | 株ユアーズブレイン 山根弘和/NTT西日本中国健康管理センタ 久澄園子/ マツダ病院 細本清子(広島のみ) | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.51 看護記録の基礎とポイント | | | | |
| 開催日時 | 令和5年 8月11日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ・Ⅲ | 100 | 122 | 2,500 |
| 目的 | 医療や看護の継続性や情報開示に求められる記録について学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 看護記録の基礎知識／看護記録に書くべき情報、書くべきでない情報／基礎情報／看護問題と計画／経過と対応の記録／看護サマリー | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | (公社) 日本看護協会神戸研修センター 市村尚子 | | | | |
| 研修方法 | 講義 (ハイブリッド) | | | | |
| 参加条件 | 看護記録の指導担当者 | | | | |

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.52 訪問看護における記録の実際～法令遵守と質の高い看護のために～ | | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月21日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ・Ⅲ | 50 | 35 | 2,500 |
| 目的 | 訪問看護における記録の基本と実際を学び、法的根拠に基づく質の高い看護実践につなげる。 | | | | |
| 内容 | 法令における看護記録／看護記録の基本／訪問看護記録の種類と記載方法／リスクマネジメントに基づいた記録／記録の開示／看護記録監査／看護記録の今後の動向 | | | | |
| 講師 | (公社) 広島県看護協会 松井善子 | | | | |
| 研修方法 | 講義 (オンライン) | | | | |

| | | | | | | |
|-------|--|------|-------|------------------|------------------|-----------|
| 研修会名 | No.53 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成研修 | | | | | |
| 開催期間 | 令和5年 5月19日～令和5年12月9日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | I～Ⅲ | 20 | 22 (再履修2人を含む) | 17 (再履修2人を含む) | 37,050 |
| 目的 | 在宅での療養生活に必要な基本的知識と技術を習得することにより、質の高い看護サービスを提供できる訪問看護師の育成を行う。 | | | | | |
| 内容 | P83参照 | | | | | |
| 講師 | P83参照 | | | | | |
| 会場 | P83参照 | | | | | |
| 研修方法 | 講義 (eラーニング)、講義・演習 (短期集合研修)、実習 (訪問看護ステーション) | | | | | |
| 受講資格 | <ol style="list-style-type: none"> 1 日本国の保健師、助産師、看護師、准看護師のいずれかの免許を有する者 2 訪問看護に従事している者、これから訪問看護を始めようとする者、また医療機関等に勤務する者 3 全日程出席できる者 4 広島県内に在住、または県内の施設に勤務している者 | | | | | |
| 修了証交付 | 「訪問看護eラーニング」修了証書が交付された者で、当協会が実施した所定の講義及び実習の全日程を修了した者には広島県看護協会会長名による修了証を交付 | | | | | |

| 研修会名 | No.54 (日本看護協会主催) 災害支援ナース養成研修 | | | | | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-----|
| 開催日時 | オンデマンド講義：総論120分／ 各論（災害540分、感染症540分） | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料 |
| | <集合研修：第1期> 【災害編】 令和6年1月22日9：20～16：10 【感染症編】 令和6年1月23日9：50～15：30 <集合研修：第2期> 【災害編】 令和6年2月 6日9：20～16：10 【感染症編】 令和6年2月 7日9：50～15：30 | | | | | |
| 目的 | 1. 災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する。 2. 応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する。 | | | | | |
| 目標 | 【災害編】 1 看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。 2 災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する。 3 看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する。 4 災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する。 【感染症編】 1 新型コロナなど新興感染症に関する基礎的知識を習得する。 2 新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する。 3 酸素療法、集中治療管理に関する基本知識を習得する。 4 新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基本知識を習得する。 | | | | | |
| 内容 | P84、85参照 | | | | | |
| 会場 | 集合研修は広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | P84、85 参照 | | | | | |
| 研修方法 | オンデマンド研修（日本看護協会の e-ラーニング配信による研修）／集合研修（演習指導者による講義・演習） | | | | | |
| 参加条件 | 2022年度までの災害ナース登録者で、災害及び新興感染症の発生時に他の医療機関等に応援派遣されて、災害支援看護業務及び新興感染症支援業務に従事することを旨とする者。会員・非会員は問わない。オンデマンド研修の修了が確認できない場合は集合研修の受講はできない。 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には日本看護協会長、広島県看護協会会長連名の修了証を交付 | | | | | |

※ No.55 災害支援ナース育成研修、No.56 災害支援ナースフォローアップ研修の開催はなし

3) 本会の重点事項等関連研修

| 研修会名 | No.57 病棟ナースができる退院支援【基礎編】 ※退院調整看護師養成研修の一般公開 | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-------------|
| 開催日時 | 令和5年 8月25日 10：00～16：00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅱ | 100 | 154 | 2,500 |
| 目的 | 退院支援の基礎的知識と退院支援における看護師の役割を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 退院支援が求められる背景／退院支援を行う看護職の必要性と役割／院内における退院支援プロセス／退院支援の実際 | | | | |
| 講師 | 吉島病院 御厨加代子 | | | | |
| 研修方法 | 講義（オンライン） | | | | |

| 研修会名 | No.58 退院調整看護師養成研修 | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-------------|
| 開催日時 | 全5.5日 令和5年 8月25日 10：00～16：00 令和5年 9月 7日 10：00～16：00 令和5年 9月21日 10：00～16：00 実習2日 令和5年11月11日 13：00～16：00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | Ⅲ | | | | | |
| 目的 | 退院調整、退院支援の知識・方法について学び、現場で実践できる能力を養う。 | | | | | |
| 内容 | P86 参照 | | | | | |
| 会場 | 講義・演習：広島県看護協会 実習：各実習施設 | | | | | |
| 講師 | P86参照 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習・実習（8/25のみオンライン） | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会会長名による研修修了証を交付 | | | | | |

3 スペシャリスト研修

| | | | | | |
|-------|--|------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.59 認定看護師研修会 | | | | |
| 目的 | 認定看護師の今後の役割と活動を考える。 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年12月 3日 10:00～15:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | Ⅲ・Ⅳ | 70 | 97 | 2,500 |
| テーマ | 認定看護師の役割拡大～特定行為研修修了者の組織・地域での活動～ | | | | |
| 目的 | 認定看護師の今後の役割と活動を考える。 | | | | |
| 内容 | 講演 「特定行為研修修了者の看護師としての役割と活動の支援について」 常磐大学 角田直枝 実践報告 「特定行為研修を修了した認定看護師の実践」 大阪府済生会吹田病院 間宮直子 情報交換 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 対象 | 認定看護師／看護管理者／特定行為研修修了者 | | | | |
| 研修方法 | 講演、実践報告、情報交換 | | | | |
| 参加証交付 | 全時間参加した者には参加証を交付 | | | | |

分類2 ラダーと連動した継続教育

日本看護協会教育計画インターネット配信研修【オンデマンド】

分類2 「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）」(CLOCMiP®)、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」(JNA ラダー) に該当する研修

分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

1 看護管理者研修

1) 看護管理能力の向上を意図した研修

| | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.60 ポジティブにキャリアデザインを描く | | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月10日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | MI | 100 | 44 | 2,500 |
| 目的 | 中堅看護師に求められる役割を認識し、今後のキャリアデザインを考えることができる。 | | | | |
| 内容 | 中堅看護師に求められる役割/自己の看護の振り返り/自身へのポジティブ・フィードバック/キャリアデザインを描く | | | | |
| 講師 | 看護職キャリアサポート 濱田安岐子 | | | | |
| 研修方法 | 講義(オンライン) | | | | |
| 参加条件 | リーダー役割を担っている、または役割を期待される中堅看護職 | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|------|-------|---------|---------|-------------|----|----------------|----------------|----------------|-------|
| 研修会名 | No.61 看護マネジメントの基礎 | | | | | | | | | | |
| 開催日時 | 全3日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) | | | | | |
| | 広島 令和5年12月15日 10:00~16:00 | | | | | | MI | 広島 50 福山 24 | 広島 41 福山 23 | 広島 40 福山 21 | 7,500 |
| | 令和5年12月20日 10:00~16:00 | | | | | | | | | | |
| | 令和5年12月21日 10:00~16:00 | | | | | | | | | | |
| | 福山 令和5年 8月 8日 10:00~16:00 | | | | | | | | | | |
| 令和5年 8月 9日 10:00~16:00 | | | | | | | | | | | |
| 福山 令和5年 8月10日 10:00~16:00 | | | | | | | | | | | |
| 目的 | 看護マネジメントの基礎について学び、能力開発の方向づけをする。 | | | | | | | | | | |
| 目標 | 1) 看護マネジメントにおける原理原則を学び主任・師長としての役割を理解する。 2) 主任・師長としての能力開発の方向づけができる。 | | | | | | | | | | |
| 内容 | P87参照 | | | | | | | | | | |
| 会場 | 広島：広島県看護協会会館 福山：県民文化センターふくやま | | | | | | | | | | |
| 講師 | P87参照 | | | | | | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | | | | | | |
| 参加条件 | 新任の中間看護管理者または看護管理者研修を未受講の者 | | | | | | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会会長名による研修修了証を交付 | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|-------|-------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.62 看護マネジメントリフレクション | | | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月17日 9:30~16:30 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | MI~IV | 40 | 29 | 2,500 |
| 目的 | 看護マネジメントリフレクションの理論と実施方法、活用を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 看護マネジメントリフレクションとは/活用と実際(自分を知る・組織を知る・スタッフを知る・ビジョンを語る)/演習 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 関西看護医療大学 箕浦洋子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 中間看護管理職(主任・副師長以上) | | | | |

| | | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.63 (JNA提供eラーニング) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022 | | | | | |
| 開催日時 | eラーニング 3時間 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | 演習(広島) 令和5年12月23日 10:00~12:00 (福山) 令和5年12月16日 10:00~12:00 | | | | | |
| 目的 | 効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者体制整備の一助となる。 | | | | | |
| 内容 | 看護補助者の活用に関する制度の理解/看護職員との連携と業務整理/看護補助者の雇用形態と処遇等/看護補助者の育成・研修・能力評価/看護補助者体制整備に関する課題に対する対策案の作成 | | | | | |
| 会場 | 広島：広島県看護協会会館 福山：県民文化センターふくやま | | | | | |
| 研修方法 | 講義(eラーニング)・演習(集合) | | | | | |
| 参加条件 | 中間看護管理職以上 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会会長名による修了証を交付 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|---|------|-------|---------|---------|-----|
| 研修会名 | (日本看護協会主催) 医療安全管理者養成研修(集合研修) ~安全文化の醸成~ | | | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月17日 9:30~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料 |
| | | — | 70 | 54 | 54 | — |
| 目的 | 集合研修により以下1~3に沿った実践的な学びを深める。 1 医療機関内において、医療事故事例やヒヤリハット事例の報告と共有を効果的にするための体制の整備 2 医療事故の発生予防や再発防止を効果的にする体制の確立 3 発生予防や再発防止を目的とするため、医療事故やヒヤリハットの報告書を非難しない組織文化の醸成 | | | | | |
| 内容 | 安全文化の醸成(安全文化と4つの下位文化、安全文化の醸成に向けた活動)/患者、家族の医療への参加(患者・家族の医療への参加方法、遺族の立場で考える医療安全) | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | 広島大学病院 右近清子/演習支援者1人 | | | | | |
| 参加条件 | 所定のインターネット配信研修をすべて受講し、受講証明書の発行を受けた者 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習(グループワーク) | | | | | |
| 修了証発行 | 2023年度開催の研修プログラムをすべて修了した者には日本看護協会会長名で修了証を交付 | | | | | |

分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

1 看護教育者研修

1) 施設内教育担当者に関する研修

| | | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-------------|
| 研修会名 | No.64 指導者のための救急蘇生 | | | | | |
| 開催日時 | 全2.5日 令和5年 6月27日 10:00~15:00 令和5年 6月28日 10:00~15:00 令和5年 7月13日または14日 9:00~12:00または13:30~16:30 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 会員受講料(円・税込) |
| | | Ⅲ | 30 | 28 | 28 | 12,500 |
| 講師 | 救急看護認定看護師 (P88インストラクター参照) | | | | | |
| 目的 | 職場内で救急蘇生法を指導するための理論と実践を学ぶ。 | | | | | |
| 内容 | 救急蘇生2020年版ガイドライン/心肺蘇生の方法・実技/院内研修指導案の作成/指導の実際 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | 院内の新人教育における担当者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会会長名による修了証を交付 | | | | | |

| 研修会名 | No.65 広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野) | | | | | (受託研修) | | | | | | | | | | |
|---|--|------|-------|---------|---------|------------------------------|-------|------|--|------------------------------|------------------------------------|---|---|--|---|------------------|
| 開催期間 | 全8日 令和5年 8月16日~8月25日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料(円・税込) | | | | | | | | | | |
| | | Ⅲ・Ⅳ | 40 | 30 | 30 | 県内受講者 10,000 県外受講者 20,000 | | | | | | | | | | |
| 目的 | 病院以外の実習施設で次に掲げる分野(以下「特定分野」という。)について実習指導の任にある者(以下「実習指導者」という。)又は、将来これらの施設で実習指導者となる予定の者が、実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように必要な知識、技術を修得する。 <特定分野> ・保健師養成所における公衆衛生看護学 ・助産師養成所における助産学 ・看護師養成所における老年看護学、小児看護学、母性看護学及び在宅看護論 ・准看護師養成所における老年看護、及び母子看護 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | P73参照 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講師 | P73参照 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加条件 | 1 次のいずれかに該当する実習指導者の任にある者であって、現に実習指導者の任にある者又は将来実習指導者となる予定の者 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">受講対象者</th> <th style="width:50%;">実習施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア. 保健師養成所における公衆衛生看護学実習を行う病院以外の実習施設の保健師</td> <td>①市町村 ②保健所 ③地域包括支援センター ④事業所 等</td> </tr> <tr> <td>イ. 助産師養成所における助産学実習を行う病院以外の実習施設の助産師</td> <td>①診療所 ②助産所 ③保健所 ④市町村保健センター ⑤母子保健センター ⑥助産師養成所の実習施設である小規模な病院の助産師</td> </tr> <tr> <td>ウ. 看護師等養成所における老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習又は在宅看護論実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師</td> <td>①診療所 ②訪問看護ステーション ③介護老人保健施設 ④保健所 ⑤地域包括支援センター 等</td> </tr> <tr> <td>エ. 准看護師養成所における老年看護実習又は母子看護実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師</td> <td>①診療所 ②介護老人保健施設 等</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 受講対象者 | 実習施設 | ア. 保健師養成所における公衆衛生看護学実習を行う病院以外の実習施設の保健師 | ①市町村 ②保健所 ③地域包括支援センター ④事業所 等 | イ. 助産師養成所における助産学実習を行う病院以外の実習施設の助産師 | ①診療所 ②助産所 ③保健所 ④市町村保健センター ⑤母子保健センター ⑥助産師養成所の実習施設である小規模な病院の助産師 | ウ. 看護師等養成所における老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習又は在宅看護論実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師 | ①診療所 ②訪問看護ステーション ③介護老人保健施設 ④保健所 ⑤地域包括支援センター 等 | エ. 准看護師養成所における老年看護実習又は母子看護実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師 | ①診療所 ②介護老人保健施設 等 |
| 受講対象者 | 実習施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ア. 保健師養成所における公衆衛生看護学実習を行う病院以外の実習施設の保健師 | ①市町村 ②保健所 ③地域包括支援センター ④事業所 等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| イ. 助産師養成所における助産学実習を行う病院以外の実習施設の助産師 | ①診療所 ②助産所 ③保健所 ④市町村保健センター ⑤母子保健センター ⑥助産師養成所の実習施設である小規模な病院の助産師 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ. 看護師等養成所における老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習又は在宅看護論実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師 | ①診療所 ②訪問看護ステーション ③介護老人保健施設 ④保健所 ⑤地域包括支援センター 等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| エ. 准看護師養成所における老年看護実習又は母子看護実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師 | ①診療所 ②介護老人保健施設 等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修了証の交付 | 2 全日程の出席が可能な者 原則として全ての科目を履修し、履修認定を受けた者について、講習会の修了を認定し、修了者には県知事名で修了証を交付 | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.66 広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 (受託研修) | | | | | |
| 開催期間 | 8週間 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | 令和5年 9月11日～11月 2日 | Ⅲ・Ⅳ | 40 | 29 | 29 | 50,000 |
| 目的 | 看護教育の充実向上のため、看護師等養成所の実習施設で実習指導の任にある者もしくは、将来実習指導者となる予定の者が、看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得する。 | | | | | |
| 内容 | P74参照 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | P74参照 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | 1 保健師・助産師・看護師として、3年以上の臨床経験を有する者 2 看護師等学校養成所の実習施設において実習指導者の任にある者、またはその予定の者 3 全日程の出席が可能な者 | | | | | |
| 修了書の交付 | 修了認定基準に基づき科目毎に単位認定を行うとともに、全ての科目の単位認定を受けた者に、県知事名で修了証を交付 | | | | | |

| | | | | | | |
|------|--|------|-------|---------|-----------|--|
| 研修会名 | No.67 広島県専任教員継続研修 新任教員研修① (受託研修) | | | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月18日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) | |
| | | Ⅲ・Ⅳ | 20 | 16 | 無料 | |
| テーマ | 実習指導におけるリフレクション | | | | | |
| ねらい | ・自己の実習指導を省察し、課題を明確にすることにより、今後の教育活動に活用する。 ・リフレクションの基本的考え方と方法を学ぶ。 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | 元 藤沢市教育文化センター 目黒悟 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | 1 専任教員養成講習会修了後2年目までの教員 2 専任教員養成講習会未受講の教員で、教育経験年数が2年目までの教員 | | | | | |

| | | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|--|
| 研修会名 | No.67 広島県専任教員継続研修 新任教員研修② (受託研修) | | | | | |
| 開催日時 | 令和5年12月16日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) | |
| | | Ⅲ・Ⅳ | 20 | 15 | 無料 | |
| テーマ | 新任教員としての方向性と仲間づくり ～ラベルワークを用いて～ | | | | | |
| ねらい | グループワークでは、ラベルワークを用いて新任教員同士の交流を深め、支え合える関係づくりを学びつつ、自己の課題と今後の方向性を見出していく。 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | (一社) 参画文化研究会 大屋八重子 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | 1 専任教員養成講習会修了後2年目までの教員 2 専任教員養成講習会未受講の教員で、教育経験年数が2年目までの教員 | | | | | |

| | | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|--|
| 研修会名 | No.67 広島県専任教員継続研修 中堅教員研修① (受託研修) | | | | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月18日 10:00～16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) | |
| | | Ⅲ・Ⅳ | 40 | 20 | 無料 | |
| テーマ | 中堅教員に求められるコミュニケーション能力の向上について | | | | | |
| ねらい | 学校経営や教育活動において、自分も相手も大切に作るアサーティブコミュニケーションを身に付けることで、円滑な学校運営及び自身のメンタルヘルス向上につなげる。 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | (株) えなヒューマン・サポート 森川早苗 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | 1 専任教員養成講習会修了後5～10年の教員 2 専任教員養成講習会未受講の教員で、教育経験年数が5～10年の教員 | | | | | |

| | | | | | |
|-------|--|--------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.67 広島県専任教員継続研修 中堅教員研修② | | | | (受託研修) |
| 開催日時 | 令和5年 8月 2日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | III・IV | 40 | 17 | 無料 |
| テーマ | やる気をおこさせる看護教育現場の改革～中堅教員としてのリーダーシップ | | | | |
| ねらい内容 | 他者に効果的に影響を及ぼし変革を成功に導くために コッターの企業変革8段階を理解し、教育現場に応用する。 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 日本赤十字九州国際看護大学 倉岡有美子 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 1 専任教員養成講習会修了後5～10年の教員 2 専任教員養成講習会未受講の教員で、教育経験年数が5～10年の教員 | | | | |

| | | | | | |
|-------|---|--------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.67 広島県専任教員継続研修 トピックス研修① | | | | (受託研修) |
| 開催日時 | 令和5年 9月 3日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | III・IV | 70 | 88 | 無料 |
| テーマ | カリキュラム改正で期待される看護実践能力の育成 | | | | |
| ねらい内容 | カリキュラムが改正され、教育内容や方法の充実を図ることで学生にどのような変化がみられたのか、更に工夫が求められることは何かを考える機会とする。 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | Office Kyo-shien 池西静江 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 1 看護師等学校養成所(看護大学を含む)の教員 2 実習施設において看護学生の実習に関わる指導者 | | | | |

| | | | | | |
|-------|---|--------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.67 広島県専任教員継続研修 トピックス研修② | | | | (受託研修) |
| 開催日時 | 令和5年 9月30日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | III・IV | 70 | 71 | 無料 |
| テーマ | 特別な支援を要する看護学生の特性と合理的配慮の実際 | | | | |
| ねらい内容 | 近年増加しつつある発達障害やその他の精神障害をもった看護学生の特性を理解する。また、こうした学生に対する具体的な合理的配慮の決定手順と授業、演習、実習においてどのような配慮をすれば良いかを学ぶ。 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 順天堂大学 北川明 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 1 看護師等学校養成所(看護大学を含む)の教員 2 実習施設において看護学生の実習に関わる指導者 | | | | |

| | | | | | |
|------|---|--------|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.67 広島県専任教員継続研修 実践力向上研修(第1回) | | | | (受託研修) |
| 開催日時 | 令和6年 2月23日 10:00~16:00 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | | III・IV | 30 | 23 | 無料 |
| テーマ | 臨地実習指導の“イロハ”を学ぼう | | | | |
| ねらい | 臨地実習指導の基本を学ぶ。 | | | | |
| 内容 | 看護教育における臨地実習の位置づけ/臨地実習における専任教員の役割(教員と看護師との指導の違い、実習環境の整え方、実習の評価の考え方…等)/臨地実習指導の2つのタイプ/臨地実習指導場面の教材化の方法 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 講師 | 県立三次看護専門学校 佐藤真紀 | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | |
| 参加条件 | 専任教員養成講習会を未受講の専任教員、大学等で教育の科目を履修した専任教員 | | | | |

| 研修会名 | No.68 看護職員認知症対応力向上研修 (受託研修) | | | | | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-----|
| 開催日時 | 全3日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料 |
| | 広島 令和5年 9月 9日 9:30~16:40 令和5年 9月10日 9:30~17:00 令和5年 9月11日 9:30~16:30 福山 令和5年 7月23日 9:30~16:40 令和5年 7月24日 9:30~17:00 令和5年 7月25日 9:30~16:30 | | | | | |
| 目的 | III・IV 広島 50 広島 56 広島 56 福山 50 福山 46 福山 46 無料 | | | | | |
| 内容 | 認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、認知症の人が医療機関等に入院し、退院するまでのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、所属する医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制を構築する。 | | | | | |
| 会場 | P72参照 | | | | | |
| 講師 | 広島：広島県看護協会会館 福山：学びの館ローズコム | | | | | |
| 研修方法 | P72参照 | | | | | |
| 参加条件 | 講義・演習 | | | | | |
| 修了証の交付 | 広島県内で勤務する指導的役割を担う看護師（看護師長等）のうち、次の受講条件に該当する者 1 3日間の全日程を受講できる者 2 研修受講後、各医療機関等において所属職員を対象とした伝達講習等が実施できる者 ※伝達講習等の実施状況について、研修終了からおおよそ半年後にアンケートを行う予定 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を修了した者には、広島県から修了証書を交付 | | | | | |

| 研修会名 | No.69 シミュレーション研修のための指導者育成プログラム (受託研修) | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-----------|
| 開催日時 | 全2日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | 令和6年 2月 3日 10:00~16:00 令和6年 2月 4日 10:00~16:00 | | | | | |
| 目的 | III・IV 20 9 9 3,000 | | | | | |
| 内容 | 自施設において、ハイブリッドシミュレータを使用したシミュレーション研修を実施するために必要な基本的知識を学ぶ。 | | | | | |
| 会場 | P76参照 | | | | | |
| 講師 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 研修方法 | 呉医療センター医療技術研修センター 瀬川久江 | | | | | |
| 参加条件 | 講義・演習 | | | | | |
| 修了証の交付 | 1 施設において教育的役割を担い、シミュレーション研修を企画・実施できる者 2 本会主催のフィジカルアセスメント研修にインストラクターとして協力可能な者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者に広島県看護協会長名による研修修了証を交付 | | | | | |

| 研修会名 | 訪問看護師指導者育成研修 | | | | | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-----|
| 開催日時 | 全3日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料 |
| | ①令和5年12月16日 9:00~16:00 ②令和6年 1月14日 9:30~16:30 ③令和6年 2月10日 9:00~16:00 | | | | | |
| 講師 | III・IV 30 ① 26 ② 24 ③ 25 24 無料 | | | | | |
| 目的 | P89参照 | | | | | |
| 内容 | 訪問看護未経験者の育成計画の作成、育成体制の整備について学ぶ。 | | | | | |
| 会場 | P89参照 | | | | | |
| 研修方法 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 参加条件 | 講義・演習 | | | | | |
| 修了証の交付 | 訪問看護ステーションや医療機関の訪問看護部門に勤務する看護師で、訪問看護未経験者に対して指導的立場にある者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者には広島県看護協会長名による修了証を交付 | | | | | |

2) 新人教育担当者に関する研修

| 研修会名 | No.70 実地指導者研修 | | | | | | (受託研修) | |
|--------|--|------|-------|---------|---------|-----------|--------|----------------|
| 開催日時 | 全3日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料(円・税込) | | |
| | 広島 令和6年 1月17日 9:30~16:00 令和6年 1月18日 9:30~16:00 令和6年 1月19日 9:30~16:00 福山 令和5年12月12日 9:30~16:00 令和5年12月13日 9:30~16:00 令和5年12月14日 9:30~16:00 | | | | | | III | 広島 60 福山 30 |
| 目的 | 1 実地指導者が新人看護職員の職場への適応状況を把握し、基本的な看護技術の指導及び精神的支援を行うために必要な能力を修得する。 2 実地指導者が、所属部署の新人看護職員研修計画に沿って教育担当者、部署管理者とともに部署における新人看護職員の個別の研修プログラムを立案、実施、評価するために必要な能力を修得する。 | | | | | | | |
| 目標 | 1 新人看護職員に教育的な関わりができる。 2 新人看護職員と適切な関係性を築くためのコミュニケーションができる。 3 新人看護職員の置かれている状況を理解し、一緒に問題を解決することができる。 4 新人看護職員研修の個別の研修プログラムを立案できる。 5 新人看護職員の臨床実践能力を評価することができる。 | | | | | | | |
| 内容 | P77参照 | | | | | | | |
| 会場 | 広島：広島県看護協会会館 福山：県民文化センターふくやま | | | | | | | |
| 講師 | P77参照 | | | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | | | |
| 参加条件 | 1 新人看護職員研修ガイドライン[改訂版]で規定された *実地指導者としての役割を担う者または今後その任にあたる予定の者 2 全日程の出席が可能な者 | | | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者に広島県看護協会会長名による修了証を交付 | | | | | | | |

| 研修会名 | No.71 教育担当者研修 | | | | | | (受託研修) | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-----------|--------|----------------|
| 開催日時 | 全3日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料(円・税込) | | |
| | 広島 令和6年 1月13日 9:30~16:00 令和6年 1月14日 9:30~16:00 令和6年 1月15日 9:30~16:00 福山 令和5年12月 9日 9:30~16:00 令和5年12月10日 9:30~16:00 令和5年12月11日 9:30~16:00 | | | | | | III・IV | 広島 60 福山 30 |
| 目的 | 教育担当者として、看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、所属部署における新人看護職員研修の企画・運営、実地指導者への助言及び指導、新人看護職員への指導・評価等の実施に必要な能力を修得する。 | | | | | | | |
| 目標 | 1 新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員研修が効果的に行われるよう、実地指導者と新人看護職員への指導及び精神的支援ができる。 2 所属施設の新人看護職員研修計画に沿って、部署管理者とともに所属部署内における新人看護職員研修計画の立案と実施・評価ができる。 3 新人看護職員同士、実地指導者同士の意見交換や情報共有の場を設定し、新人看護職員の実地指導者との関係調整や支援ができる。 | | | | | | | |
| 内容 | P78参照 | | | | | | | |
| 会場 | 広島：広島県看護協会会館 福山：県民文化センターふくやま | | | | | | | |
| 講師 | P78参照 | | | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | | | |
| 参加条件 | 1 新人看護職員研修ガイドライン[改訂版]で規定された教育担当者としての役割を担う者または今後その任にあたる予定の者 2 全日程の出席が可能な者 | | | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者に広島県看護協会会長名による修了証を交付 | | | | | | | |

| 研修会名 | No.72 研修責任者研修 (受託研修) | | | | | |
|--------|---|------|-------|---------|---------|-----------|
| 開催日時 | 全3日 | 研修段階 | 定員(人) | 受講者数(人) | 修了者数(人) | 受講料(円・税込) |
| | 令和5年10月13日 9:30~16:30 | | | | | |
| | 令和5年10月14日 9:30~16:30 | | | | | |
| | 令和5年10月15日 9:30~16:30 | IV・V | 50 | 23 | 23 | 3,000 |
| 目的 | 研修責任者が、新人看護職員研修ガイドライン[改訂版]に示されている新人看護職員研修の企画・運営・実施・評価等の実施に必要な能力を修得し、所属施設における適切な研修実施体制を確保することができる。 | | | | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 新人看護職員に対する研修計画、研修プログラムに関するさまざまな意見や課題を集約し、自施設の状態に合わせて新人看護職員研修計画を策定することができる。 2 研修の進捗管理および問題解決ができる。 3 研修の結果を評価することができる。 4 研修結果の評価に基づき、研修計画・具体的なプログラムを修正することができる。 5 教育担当者と実地指導者への教育的・精神的支援ができる。 | | | | | |
| 内容 | P79参照 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 講師 | P79参照 | | | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | | | |
| 参加条件 | <ol style="list-style-type: none"> 1 新人看護職員研修ガイドライン[改訂版]で規定された研修責任者としての役割を担う者または今後その任にあたる予定の者 2 全日程の出席が可能な者 | | | | | |
| 修了証の交付 | 全課程を受講した者に広島県看護協会会長名による修了証を交付 | | | | | |

分類5 資格認定教育

1 認定看護管理者教育課程他

1) 認定看護管理者教育課程

| 研修会名 | No.73 認定看護管理者教育課程ファーストレベル | | | | | |
|--------------------------|--|---|---|-------------|----------|------|
| 目的 | 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。 | | | | | |
| 到達目標 | 1 ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。 | | | | | |
| 主催 | (公社) 広島県看護協会 | | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | | |
| 受講資格 | 1 日本国の看護師免許を有する者 2 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 3 管理業務に関心がある者 | | | | | |
| 開催期間 | 第1期：令和5年 4月18日～ 7月25日 第2期：令和5年11月 2日～ 令和6年1月30日 | | | | | |
| 定員・受講者・ 修了者 (単位：人) | 開催期 | 定員 | 受講者 | 修了者 | 再履修者(再掲) | 未修了者 |
| | 第1期 | 50 | 52 | 51 | 4 | 1 |
| | 第2期 | 50 | 53 | 50 | 0 | 3 |
| 修了証書交付 | 修了要件に基づき、認定看護管理者教育課程運営委員会において審査後、合格した者に広島県看護協会会長名による修了証書を交付 | | | | | |
| 受講料 | 日本看護協会会員 122,500円(税込) 非会員 187,500円(税込) | | | | | |
| 授業科目および時間数等 | | | | | | |
| 教科目 (時間数) | 単 元 | 教育内容 | | 講 師 | | |
| (15時間) | ヘルスケアシステム論 I | 社会保障制度概論 | ・ 社会保障制度の体系 ・ 社会保障の関連法規 | 川崎医療福祉大学 | 浜田 淳 | |
| | | 保健医療福祉サービスの提供体制 | ・ 保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会 | 広島県健康福祉局 | 戸手 啓介 | |
| | | ヘルスケアサービスにおける看護の役割 | ・ 看看連携 ・ 地域連携における看護職の役割 ・ 保健医療福祉関連職種への理解 ・ 看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規/倫理綱領/看護業務基準 | 安田女子大学 | 山本 雅子 | |
| (15時間) | 組織管理論 I | 組織マネジメント概論 | ・ 組織マネジメントに関する基礎知識 | 広島大学大学院 | 相馬 敏彦 | |
| | | | ・ 看護管理の基礎知識 | 日本赤十字広島看護大学 | 村田 由香 | |
| | | 看護実践における倫理 | ・ 看護実践における倫理的課題 ・ 倫理的意思決定への支援 | 川崎医科大学附属病院 | 平松 貴子 | |
| (30時間) | 人材管理 I | 労務管理の基礎知識 | ・ 労働法規 ・ 就業規則 | 広島市立広島市民病院 | 川野 尚紀 | |
| | | | ・ 雇用形態 ・ 勤務体制 ・ 健康管理(メンタルヘルス含む) ・ ワークライフバランス ・ ハラスメント防止 | マツダ病院 | 尾崎 仁美 | |
| | 看護チームのマネジメント | ・ 看護ケア提供方式 ・ リーダーシップとメンバーシップ ・ コミュニケーション ・ ファシリテーション | 沼隈病院 | 上谷 紀子 | | |
| | | ・ チームマネジメント ・ 准看護師への指示と業務 ・ 看護補助者の活用 | メリィホスピタル | 浜崎 忍 | | |
| | 人材育成の基礎知識 | ・ 成人学習の原理 ・ 役割理論 ・ 動機づけ理論 | 広島大学大学院 | 丸山 恭司 | | |
| | | ・ 人材育成の方法 | 広島大学病院 | 佐藤 陽子 | | |

| 教科目 (時間数) | 単 元 | 教育内容 | 講 師 | |
|------------------|--------------|---|--|--|
| (15時間) 資源管理 I | 経営資源と管理の基礎知識 | <ul style="list-style-type: none"> 診療・介護報酬制度の理解 | 山口大学 | 角 田 由 佳 |
| | 看護実践における情報管理 | <ul style="list-style-type: none"> 経営指標の理解 看護活動の経済的効果 | 川崎医療福祉大学看護実践・キャリアサポートセンター | 山 田 佐 登 美 |
| (15時間) 質管理 I | 看護サービスの質管理 | <ul style="list-style-type: none"> 医療・看護情報の種類と特徴 情報管理における倫理的課題(情報リテラシー) | 広島大学病院 | 佐々邊やよい |
| | 看護サービスの質管理 | <ul style="list-style-type: none"> サービスの基本概念 看護サービスの質評価と改善 看護サービスの安全管理 看護サービスと記録 | 吉島病院 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 御 厨 加 代 子 松 原 朱 美 |
| (15時間) 統合演習 I | 演習 | <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する | [統括] メリィホスピタル [助言者] 広島大学病院 広島市立広島市民病院 広島市立舟入市民病院 マツダ病院 福山市民病院 JA 広島総合病院 呉共済病院 尾道市立市民病院 市立三次中央病院 | 加 藤 敬 子 山 崎 香 織 岩 本 佳 代 子 青 木 美 江 橋 本 恭 子 杉 原 奈 津 子 古 井 良 子 久 保 田 京 子 大 本 倫 子 吉 原 由 美 |
| (7時間) 特別講義 | 看護の動向 | <ul style="list-style-type: none"> 看護の動向 | 広島県看護連盟 | 板 谷 美 智 子 |
| | レポートの書き方 | <ul style="list-style-type: none"> 感想文と論文、レポートの差異 文章表現・書き方のルール 論文の構成要素・文章表現 説得力のあるレポートを書く | 県立広島大学 | 松 森 直 美 |

評価

(1) 終了時アンケート結果

①各教科目終了時アンケート結果

第1期

(単位：%)

| 教科目 | 単元 | 理解度 | | | | | 達成度 | | | | | 活用度 | | | | |
|-----------|--------------------|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|------|-----|
| | | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できない | 無回答 |
| シヘルシステム論Ⅰ | 社会保障制度概論 | 63 | 37 | 0 | 0 | 0 | 53 | 47 | 0 | 0 | 0 | 51 | 45 | 4 | 0 | 0 |
| | 保健医療福祉サービスの提供体制 | 48 | 48 | 4 | 0 | 0 | 36 | 60 | 4 | 0 | 0 | 52 | 46 | 2 | 0 | 0 |
| | ヘルスケアサービスにおける看護の役割 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 64 | 36 | 0 | 0 | 0 | 78 | 22 | 0 | 0 | 0 |
| 組織管理論Ⅰ | 組織マネジメント概論① | 65 | 35 | 0 | 0 | 0 | 55 | 45 | 0 | 0 | 0 | 74 | 26 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織マネジメント概論② | 59 | 41 | 0 | 0 | 0 | 52 | 46 | 2 | 0 | 0 | 74 | 26 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護実践における倫理 | 63 | 37 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | 0 | 0 | 0 | 75 | 25 | 0 | 0 | 0 |
| 人材管理Ⅰ | 労務管理の基礎知識① | 50 | 50 | 0 | 0 | 0 | 46 | 52 | 2 | 0 | 0 | 59 | 37 | 4 | 0 | 0 |
| | 労務管理の基礎知識② | 38 | 62 | 0 | 0 | 0 | 52 | 48 | 0 | 0 | 0 | 67 | 29 | 4 | 0 | 0 |
| | 看護チームのマネジメント① | 60 | 40 | 0 | 0 | 0 | 52 | 46 | 2 | 0 | 0 | 67 | 33 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護チームのマネジメント② | 77 | 23 | 0 | 0 | 0 | 66 | 34 | 0 | 0 | 0 | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| | 人材育成の基礎知識① | 66 | 30 | 4 | 0 | 0 | 58 | 38 | 4 | 0 | 0 | 75 | 23 | 2 | 0 | 0 |
| | 人材育成の基礎知識② | 67 | 29 | 4 | 0 | 0 | 56 | 44 | 0 | 0 | 0 | 71 | 29 | 0 | 0 | 0 |
| 資源管理Ⅰ | 経営資源と管理の基礎知識① | 54 | 46 | 0 | 0 | 0 | 48 | 52 | 0 | 0 | 0 | 59 | 41 | 0 | 0 | 0 |
| | 経営資源と管理の基礎知識② | 48 | 50 | 2 | 0 | 0 | 43 | 55 | 2 | 0 | 0 | 59 | 39 | 2 | 0 | 0 |
| | 看護実践における情報管理 | 50 | 48 | 2 | 0 | 0 | 41 | 57 | 2 | 0 | 0 | 53 | 43 | 2 | 2 | 0 |
| 質管理Ⅰ | 看護サービスの質管理① | 76 | 22 | 2 | 0 | 0 | 66 | 34 | 0 | 0 | 0 | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護サービスの質管理② | 54 | 44 | 2 | 0 | 0 | 49 | 51 | 0 | 0 | 0 | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 |
| 演習Ⅰ 統合 | 演習 | 78 | 20 | 2 | 0 | 0 | 61 | 34 | 5 | 0 | 0 | 71 | 29 | 0 | 0 | 0 |
| 特別講義 | 看護の動向 | 63 | 35 | 2 | 0 | 0 | 48 | 50 | 2 | 0 | 0 | 48 | 52 | 0 | 0 | 0 |
| | レポートの書き方 | 56 | 44 | 0 | 0 | 0 | 38 | 56 | 6 | 0 | 0 | 73 | 27 | 0 | 0 | 0 |

第2期

(単位：%)

| 教科目 | 単元 | 理解度 | | | | | 達成度 | | | | | 活用度 | | | | |
|-----------|--------------------|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|------|-----|
| | | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できない | 無回答 |
| シヘルシステム論Ⅰ | 社会保障制度概論 | 57 | 43 | 0 | 0 | 0 | 52 | 44 | 4 | 0 | 0 | 65 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| | 保健医療福祉サービスの提供体制 | 43 | 57 | 0 | 0 | 0 | 36 | 58 | 6 | 0 | 0 | 53 | 47 | 0 | 0 | 0 |
| | ヘルスケアサービスにおける看護の役割 | 76 | 24 | 0 | 0 | 0 | 65 | 35 | 0 | 0 | 0 | 90 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 組織管理論Ⅰ | 組織マネジメント概論① | 62 | 38 | 0 | 0 | 0 | 56 | 44 | 0 | 0 | 0 | 63 | 37 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織マネジメント概論② | 42 | 54 | 4 | 0 | 0 | 46 | 50 | 4 | 0 | 0 | 54 | 44 | 2 | 0 | 0 |
| | 看護実践における倫理 | 60 | 38 | 2 | 0 | 0 | 58 | 40 | 2 | 0 | 0 | 77 | 23 | 0 | 0 | 0 |
| 人材管理Ⅰ | 労務管理の基礎知識① | 46 | 49 | 5 | 0 | 0 | 37 | 61 | 2 | 0 | 0 | 51 | 49 | 0 | 0 | 0 |
| | 労務管理の基礎知識② | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 | 66 | 34 | 0 | 0 | 0 | 73 | 25 | 2 | 0 | 0 |
| | 看護チームのマネジメント① | 61 | 39 | 0 | 0 | 0 | 53 | 47 | 0 | 0 | 0 | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護チームのマネジメント② | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 72 | 26 | 2 | 0 | 0 | 83 | 17 | 0 | 0 | 0 |
| | 人材育成の基礎知識① | 55 | 43 | 2 | 0 | 0 | 49 | 49 | 2 | 0 | 0 | 67 | 33 | 0 | 0 | 0 |
| | 人材育成の基礎知識② | 50 | 44 | 6 | 0 | 0 | 50 | 44 | 6 | 0 | 0 | 71 | 27 | 2 | 0 | 0 |
| 資源管理Ⅰ | 経営資源と管理の基礎知識① | 45 | 53 | 2 | 0 | 0 | 38 | 57 | 5 | 0 | 0 | 38 | 57 | 5 | 0 | 0 |
| | 経営資源と管理の基礎知識② | 52 | 48 | 0 | 0 | 0 | 52 | 48 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護実践における情報管理 | 46 | 50 | 4 | 0 | 0 | 40 | 56 | 4 | 0 | 0 | 54 | 44 | 2 | 0 | 0 |
| 質管理Ⅰ | 看護サービスの質管理① | 49 | 51 | 0 | 0 | 0 | 49 | 51 | 0 | 0 | 0 | 63 | 37 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護サービスの質管理② | 67 | 33 | 0 | 0 | 0 | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 | 83 | 17 | 0 | 0 | 0 |
| 演習Ⅰ 統合 | 演習 | 59 | 39 | 2 | 0 | 0 | 51 | 47 | 2 | 0 | 0 | 57 | 43 | 0 | 0 | 0 |
| 特別講義 | 看護の動向 | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 | 64 | 36 | 0 | 0 | 0 | 55 | 43 | 2 | 0 | 0 |
| | レポートの書き方 | 44 | 54 | 2 | 0 | 0 | 21 | 65 | 14 | 0 | 0 | 63 | 33 | 4 | 0 | 0 |

②受講終了時アンケート結果

第1期

(単位：%)

| 項目 | ある | まあまあ | あまり | ない | 無回答 |
|-----------|----|------|-----|----|-----|
| 受講効果 | 71 | 29 | 0 | 0 | 0 |
| 満足度 | 71 | 29 | 0 | 0 | 0 |
| 管理的視点の広がり | 71 | 29 | 0 | 0 | 0 |

第2期

(単位：%)

| 項目 | ある | まあまあ | あまり | ない | 無回答 |
|-----------|----|------|-----|----|-----|
| 受講効果 | 77 | 23 | 0 | 0 | 0 |
| 満足度 | 74 | 26 | 0 | 0 | 0 |
| 管理的視点の広がり | 74 | 26 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----------|---|-------|---------|
| 研修会名 | No. 74-1 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 令和4年度第1期修了者 フォローアップ研修会 | | |
| 目的 | 認定看護管理者教育課程ファーストレベルで得た知識・技術を現場でどのように活かしたかを実践プロセスの報告で共有し、看護管理能力を高める。 | | |
| 目標 | 1 統合演習Ⅰでまとめた自己の課題解決に向けての実践プロセスを評価し、今後の方向性を見出す。 2 ファーストレベル受講後、自分にどのような変化があったかをグループで話し合うことにより学びを共有できる。 | | |
| 開催日時 | 令和5年10月19日 9:30～16:30 | 定員(人) | 参加者数(人) |
| | | 67 | 50 |
| 参加費(円・税込) | 無料 | | |
| 主催 | (公社) 広島県看護協会 | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | |
| 対象 | 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル第1期修了者 67名 | | |
| 講師 | 県立広島大学 松森直美/沼隈病院 上谷紀子 | | |
| 内容 | 看護実践報告・講義・グループワーク | | |

| | | | |
|-----------|---|-------|---------|
| 研修会名 | No. 74-2 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 令和4年度第2期修了者 フォローアップ研修会 | | |
| 目的 | 認定看護管理者教育課程ファーストレベルで得た知識・技術を現場でどのように活かしたかを実践プロセスの報告で共有し、看護管理能力を高める。 | | |
| 目標 | 1 統合演習Ⅰでまとめた自己の課題解決に向けての実践プロセスを評価し、今後の方向性を見出す。 2 ファーストレベル受講後、自分にどのような変化があったかをグループで話し合うことにより学びを共有できる。 | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月 9日 9:30～16:30 | 定員(人) | 参加者数(人) |
| | | 41 | 34 |
| 参加費(円・税込) | 無料 | | |
| 主催 | (公社) 広島県看護協会 | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | |
| 対象 | 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル第2期修了者 41名 | | |
| 講師 | 県立広島大学 松森直美/JA 広島総合病院 藤本七津美 | | |
| 内容 | 看護実践報告・講義・グループワーク | | |

| 研修会名 | No.75 認定看護管理者教育課程セカンドレベル | | | | |
|-----------------------|--|--|-----------------------|----------------|------|
| 目的 | 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | 1 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。 | | | | |
| 主催 | (公社) 広島県看護協会 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 定員 | 50 | | | | |
| 受講要件 | 1 日本国の看護師免許を有する者 2 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 3 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者 | | | | |
| 開催期間 | 令和5年8月1日～12月12日 | | | | |
| 定員・受講者・修了者(単位:人) | 定員 | 受講者 | 再履修者(再掲) | 修了者 | 未修了者 |
| | 50 | 51 | 0 | 50 | 1 |
| 修了証書交付 | 修了要件に基づき、認定看護管理者教育課程運営委員会において審査後、合格した者に広島県看護協会会長名による修了証書を交付 | | | | |
| 受講料 | 日本看護協会会員168,750円(税込) 非会員262,500円(税込) | | | | |
| 授業科目および時間数等 | | | | | |
| 教科目 (時間数) | 単元 | 単元の内容 | 講師 | | |
| ヘルスケアシステム論Ⅱ (15時間) | 社会保障制度の現状と課題 | ・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源)構造と推移 | 九州大学 | 尾形 裕也 | |
| | 保健医療福祉サービスの現状と課題 | ・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等 | 吉島病院 | 御厨 加代子 | |
| | ヘルスケアサービスにおける多職種連携 | ・多職種によるチームケア提供の実際と課題 | 聖マリア学院大学 | 眞崎 直子 | |
| 組織管理論Ⅱ (30時間) | 組織マネジメントの実際 | ・組織分析 | 甲南会 医療本部 | 青木 節子 | |
| | 看護管理における倫理 | ・組織の変革 ・組織の意思決定 | 川崎医科大学総合医療センター | 山田 佐登美 | |
| 人材管理Ⅱ (45時間) | 人事・労務管理 | ・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定 | 千葉大学大学院 | 手島 恵 | |
| | 多職種チームのマネジメント | ・人員配置 ・勤務計画 | 医療法人協和会法人本部 | 青木 菜穂子 | |
| | | ・ワークライフバランスの推進 ・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント ・労働災害とその対策 ・労務管理に対する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応 | メリィホスピタル | 浜崎 忍 | |
| | 人材を育てるマネジメント | ・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際 | Office-y | 山出 久男 | |
| | | ・コンフリクトマネジメント ・看護補助者の育成 | 岡山医療生活協同組合 鳥取赤十字病院 | 和田 博知 小山 和子 | |
| 資源管理Ⅱ (15時間) | 経営資源と管理の実際 | ・キャリア開発支援 ・人材育成計画 | 広島赤十字・原爆病院 | 黒瀬 真理子 | |
| | 看護管理における情報管理 | ・営業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果 | メリィホスピタル | 新家 光晴 | |
| | | ・適切な療養環境の整備 | 県立広島大学 | 金子 努 | |
| | | ・看護の評価・改善のための情報活用 | 千里中央病院 | 北之園 真由美 | |

| 教科目 (時間数) | 単元 | 単元の内容 | 講 師 | |
|-----------------|------------|---|--|---|
| (30時間) 質管理Ⅱ | 看護サービスの質保証 | ・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント | 大阪公立大学 | 志田京子 |
| | 安全管理 | ・安全管理教育 ・法令遵守 | いなば法律事務所 | 稲葉一人 |
| | | ・安全管理の実際 | 宮崎大学医学部附属病院 | 甲斐由紀子 |
| | | ・災害対策 | 日本赤十字広島看護大学 | 渡邊智恵 |
| (45時間) 統合演習Ⅱ | 演習 | ・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する | メリィホスピタル 助言者 中国労災病院 広島赤十字・原爆病院 広島共立病院 広島大学病院 県立広島病院 庄原赤十字病院 尾道市立市民病院 広島市立北部医療センター 安佐市民病院 | 浜崎忍 中原和美 榎並育代 菅太佳子 西中カフミ 住吉史子 寺本辰美 秋田伸江 野村弘美 |
| | 実習 | ・地域連携を理解するための他施設実習を行う（実習施設は、受講者自身の所属種別以外の施設とする） | 沼隈病院 助言者 広島大学病院 済生会広島病院 福山市民病院 広島市立リハビリテーション病院 ほっと・はあとステーションてのひら 特別養護老人ホーム なごみの郷 YMCA訪問看護ステーション・ピース 広島県看護協会訪問看護ステーションひびき | 上谷紀子 佐々邊やよい 平田佳子 齋藤靖子 杉岡真紀子 越部恵美 中本 妙 濱本千春 栗原富江 |
| (10時間) 特別講義 | 国際平和への貢献Ⅰ | ・被ばくと平和 | 広島平和記念資料館 | 滝川卓男 |
| | | ・被ばくと看護 | 広島県看護協会 継続教育部 | 柳井佐月 |
| | 論文の書き方 | ・論文の構成・文章表現 ・論文・企画書・報告書等の書き方 | 東京有明医療大学 | 前田樹海 |

評価

(1) 終了時アンケート結果

①各教科目終了時アンケート結果

(単位：%)

| 教科目 | 単元 | 理解度 | | | | | 達成度 | | | | | 活用度 | | | | |
|-----------|--------------------|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|------|-----|
| | | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できない | 無回答 |
| シヘルシステム論Ⅱ | 社会保障制度の現状と課題 | 42 | 58 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | 0 | 0 | 0 | 60 | 40 | 0 | 0 | 0 |
| | 保健医療福祉サービスの現状と課題 | 71 | 29 | 0 | 0 | 0 | 57 | 41 | 2 | 0 | 0 | 57 | 43 | 0 | 0 | 0 |
| | ヘルスケアサービスにおける多職種連携 | 56 | 40 | 4 | 0 | 0 | 44 | 54 | 2 | 0 | 0 | 56 | 42 | 2 | 0 | 0 |
| 組織管理論Ⅱ | 組織マネジメントの実際① | 58 | 40 | 2 | 0 | 0 | 43 | 57 | 0 | 0 | 0 | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織マネジメントの実際② | 61 | 39 | 0 | 0 | 0 | 48 | 52 | 0 | 0 | 0 | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護管理における倫理 | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 | 62 | 38 | 0 | 0 | 0 | 71 | 29 | 0 | 0 | 0 |
| 人材管理Ⅱ | 人事・労務管理① | 84 | 16 | 0 | 0 | 0 | 84 | 16 | 0 | 0 | 0 | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 |
| | 人事・労務管理② | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 |
| | 多職種チームのマネジメント① | 89 | 11 | 0 | 0 | 0 | 86 | 14 | 0 | 0 | 0 | 77 | 20 | 3 | 0 | 0 |
| | 多職種チームのマネジメント② | 73 | 27 | 0 | 0 | 0 | 61 | 39 | 0 | 0 | 0 | 71 | 27 | 2 | 0 | 0 |
| | 多職種チームのマネジメント③ | 83 | 17 | 0 | 0 | 0 | 64 | 36 | 0 | 0 | 0 | 74 | 26 | 0 | 0 | 0 |
| | 人材を育てるマネジメント) | 77 | 23 | 0 | 0 | 0 | 73 | 27 | 0 | 0 | 0 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| 資源管理Ⅱ | 経営資源と管理の実際① | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 | 74 | 24 | 0 | 0 | 2 |
| | 経営資源と管理の実際② | 28 | 63 | 9 | 0 | 0 | 26 | 63 | 11 | 0 | 0 | 45 | 48 | 7 | 0 | 0 |
| | 看護管理における情報管理 | 60 | 40 | 0 | 0 | 0 | 54 | 44 | 2 | 0 | 0 | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 |
| 質管理Ⅱ | 看護サービスの質保証 | 64 | 36 | 0 | 0 | 0 | 53 | 45 | 2 | 0 | 0 | 87 | 13 | 0 | 0 | 0 |
| | 安全管理① | 73 | 25 | 2 | 0 | 0 | 71 | 27 | 2 | 0 | 0 | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| | 安全管理② | 76 | 24 | 0 | 0 | 0 | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 |
| | 安全管理③ | 84 | 16 | 0 | 0 | 0 | 78 | 22 | 0 | 0 | 0 | 76 | 22 | 2 | 0 | 0 |
| 演習Ⅱ | 演習 | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 | 76 | 24 | 0 | 0 | 0 | 88 | 12 | 0 | 0 | 0 |
| | 実習 | 84 | 16 | 0 | 0 | 0 | 77 | 23 | 0 | 0 | 0 | 93 | 7 | 0 | 0 | 0 |

②受講終了時アンケート結果

(単位：%)

| 項目 | 非常にそう思う (できた) | ややそう思う (まあまあ) | あまりそう思わない (あまり) | 全くそう思わない (できなかった) | 無回答 |
|-------------|------------------|------------------|--------------------|----------------------|-----|
| 受講効果 | 86 | 12 | 2 | 0 | 0 |
| 満足度 | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| 「自己の課題」の解決 | 80 | 18 | 0 | 2 | 0 |
| 「管理的視点」の広がり | 84 | 16 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | |
|------|--|-------|---------|-----|
| 研修会名 | No.76 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 令和4年度修了者フォローアップ研修会 | | | |
| 目的 | 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者の実践能力の向上をはかる。 | | | |
| 目標 | 1 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了後に自己の課題に取り組んだ実践を報告し、共有することにより看護管理実践能力の向上をはかる。 2 受講者同士のネットワークづくりをすることで実践が継続できるようにする。 | | | |
| 開催日時 | 令和6年 1月11日 9:30~16:30 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費 |
| | | 54 | 43 | 無料 |
| 主催 | (公社) 広島県看護協会 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者 54人 | | | |
| 講師 | 安田女子大学 山本雅子/吉島病院 御厨加代子/県立広島病院 石橋里美 | | | |
| 内容 | 看護実践報告/質疑応答 | | | |
| | グループワーク | | | |
| | 発表と意見交換/講評とまとめ | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|---|---------------------------|---------------|------|
| 研修会名 | No.77 認定看護管理者教育課程サードレベル | | | | |
| 目的 | 多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | 1 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。 2 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。 3 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。 | | | | |
| 主催 | (公社) 広島県看護協会 | | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 受講要件 | 1 日本国の看護師免許を有する者 2 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 3 認定看護管理者セカンドレベル教育課程を修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者 | | | | |
| 開催期間 | 令和5年6月16日～12月8日 | | | | |
| 定員・受講者・修了者(単位:人) | 定員 | 受講者 | 再履修者(再掲) | 修了者 | 未修了者 |
| | 25 | 27 | 0 | 27 | 0 |
| 修了証書交付 | 修了要件に基づき、認定看護管理者教育課程運営委員会において審査後、合格した者に広島県看護協会会長名による修了証書を交付 | | | | |
| 受講料 | 日本看護協会会員237,500円(税込) 非会員362,500円(税込) | | | | |
| 授業科目および時間数等 | | | | | |
| 教科目(時間数) | 単元 | 教育内容 | 講師 | | |
| ヘルスケアシステム論Ⅲ(30時間) | 社会保障制度・政策の動向 | ・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHOの活動、国連のSDGs等 | 兵庫県立大学大学院 | 筒井孝子 | |
| | 看護制度・政策の動向 | ・看護制度の変遷と政策 ・看護政策に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響力 | 関東学院大学 | 齋藤訓子 | |
| | ヘルスケアサービスの創造 | ・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業(ソーシャルエンタープライズ) | 済生会支部神奈川県済生会 | 正木義博 | |
| | | ・NGO、NPOのヘルスケアサービス ・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・在宅におけるヘルスケアサービス | 在宅ケア移行支援研究所 | 宇都宮宏子 | |
| | | ・ヘルスケアサービスのシステム構築 ・看護事業の開発と起業 ・テクノロジーの活用 | 広島大学大学院 ケアプロ(株) | 森山美知子 川添高志 | |
| 組織管理論Ⅲ(30時間) | 組織デザインと組織運営 | ・組織のデザイン ・組織間のネットワークのデザイン ・地域連携ネットワークのデザイン ・ダイバーシティ | 山口県立大学 | 井上真奈美 | |
| | | ・組織運営に必要な能力 ・経営者に求められる役割と必要な能力 | 株アール・ケア 倉敷記念病院 | 山根一人 三宅弘恵 | |
| | 組織における倫理 | ・組織戦略とパワーの活用 ・経営者としての成長と熟練 | 株アンデルセン・パン生活文化研究所 | 三山雅代 | |
| | | ・組織における倫理的課題 ・倫理的課題に対する組織的対応 | 川崎医療福祉大学看護実践・キャリアサポートセンター | 山田佐登美 | |
| 人材管理Ⅲ(15時間) | 社会システムと労務管理 | ・賃金制度 ・人事考課 ・能力評価のためのシステムの構築 ・労働関係法規の最新の動向 ・建設的な労使関係の構築 ・ハラスメントの組織的対応 | 加藤看護師社労士事務所 | 加藤明子 | |
| | | ・人材フローのマネジメント | (公社)日本看護協会看護研修学校 | 吉村浩美 | |
| | 看護管理者の育成 | ・看護管理者の能力開発、活用 | 済生会横浜市東部病院 | 熊谷雅美 | |

| 教科目 (時間数) | 単 元 | 教育内容 | 講 師 | |
|-----------------|----------------|--|--|---|
| 資源管理Ⅲ (30時間) | 経営戦略 | ・医療経営の特徴と課題 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題 | 九州大学 | 尾形裕也 |
| | | ・戦略策定 | 医療法人協和会 | 青木菜穂子 |
| | 財務管理 | ・財務会計 ・管理会計 ・資金管理 | 聖路加国際大学 | 渡辺明良 |
| | | 組織的情報管理 | ・関連法規の遵守 | 高齢社会総合研究機構 |
| | ・地域における情報共有・活用 | | 柏市保健福祉部 | 浅野美穂子 |
| (30時間) 質管理Ⅲ | 経営と質管理 | ・ガバナンスとアカウンタビリティ ・第三者評価 | 山口大学 | 角田由佳 |
| | | ・医療・看護の質とデータ活用 | 湘南医療大学 | 松月みどり |
| | 組織の安全管理 | ・安全文化の醸成 ・危機管理 | いなば法律事務所 | 稲葉一人 |
| | | ・医療事故防止のための組織的対策 | 九州大学病院 | 鮎澤純子 |
| 統合演習Ⅲ (45時間) | 演習 | ・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する | 沼隈病院 総合病院庄原赤十字病院 県立広島病院 吉島病院 シムラ病院 広島総合病院 | 【統括】 上谷紀子 【助言者】 谷口理恵 石橋里美 御厨加代子 加藤敬子 藤本七津美 |
| | 実習 | ・経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する シャドウイング等 | 総合病院庄原赤十字病院 呉共済病院 マツダ病院 広島赤十字・広島病院 済生会広島病院 | 【統括】 谷口理恵 【助言者】 隅谷敬子 尾崎仁美 黒瀬真理子 池田ひろみ |
| (3時間) 特別講義 | 国際平和への貢献Ⅱ | ・看護管理者に期待される役割 | 日本赤十字広島看護大学 | 渡邊智恵 |

(1) 終了時アンケート結果

①各教科目終了時アンケート結果

(単位：%)

| 教科目 | 単元 | 理解度 | | | | | 学習の達成度 | | | | | 実践の活用度 | | | | |
|-------------|---------------|-----|------|-----|--------|-----|--------|------|-----|--------|-----|--------|------|-----|------|-----|
| | | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できなかった | 無回答 | できた | まあまあ | あまり | できない | 無回答 |
| ヘルスケアシステム論Ⅲ | 社会保障制度・政策の動向 | 23 | 69 | 8 | 0 | 0 | 8 | 85 | 7 | 0 | 0 | 46 | 54 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護制度・政策の動向 | 73 | 27 | 0 | 0 | 0 | 65 | 35 | 0 | 0 | 0 | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 |
| | ヘルスケアサービスの創造① | 78 | 22 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 |
| | ヘルスケアサービスの創造② | 96 | 4 | 0 | 0 | 0 | 96 | 4 | 0 | 0 | 0 | 84 | 16 | 0 | 0 | 0 |
| | ヘルスケアサービスの創造③ | 67 | 33 | 0 | 0 | 0 | 67 | 33 | 0 | 0 | 0 | 52 | 48 | 0 | 0 | 0 |
| | ヘルスケアサービスの創造④ | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 |
| 組織管理論Ⅲ | 組織デザインと組織運営① | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 | 59 | 41 | 0 | 0 | 0 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織デザインと組織運営② | 92 | 8 | 0 | 0 | 0 | 88 | 12 | 0 | 0 | 0 | 92 | 8 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織デザインと組織運営③ | 92 | 8 | 0 | 0 | 0 | 81 | 19 | 0 | 0 | 0 | 92 | 8 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織デザインと組織運営④ | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 81 | 19 | 0 | 0 | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織における倫理 | 81 | 19 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 89 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 人材管理Ⅲ | 社会システムと労務管理① | 78 | 22 | 0 | 0 | 0 | 78 | 22 | 0 | 0 | 0 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| | 社会システムと労務管理② | 74 | 26 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| | 看護管理者の育成 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 | 81 | 19 | 0 | 0 | 0 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| 資源管理Ⅲ | 経営戦略① | 63 | 37 | 0 | 0 | 0 | 52 | 48 | 0 | 0 | 0 | 78 | 22 | 0 | 0 | 0 |
| | 経営戦略② | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 財務管理 | 50 | 50 | 0 | 0 | 0 | 46 | 50 | 4 | 0 | 0 | 77 | 23 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織的情報管理① | 65 | 35 | 0 | 0 | 0 | 58 | 38 | 4 | 0 | 0 | 69 | 31 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織的情報管理② | 93 | 7 | 0 | 0 | 0 | 89 | 11 | 0 | 0 | 0 | 96 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 質管理Ⅲ | 経営と質管理① | 63 | 37 | 0 | 0 | 0 | 59 | 41 | 0 | 0 | 0 | 67 | 33 | 0 | 0 | 0 |
| | 経営と質管理② | 73 | 27 | 0 | 0 | 0 | 65 | 35 | 0 | 0 | 0 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織の安全管理① | 73 | 27 | 0 | 0 | 0 | 77 | 23 | 0 | 0 | 0 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| | 組織の安全管理② | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 | 72 | 28 | 0 | 0 | 0 | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 |
| 演習Ⅲ 統合 | 演習 | 96 | 4 | 0 | 0 | 0 | 81 | 19 | 0 | 0 | 0 | 88 | 12 | 0 | 0 | 0 |
| | 実習 | 85 | 15 | 0 | 0 | 0 | 73 | 23 | 4 | 0 | 0 | 88 | 12 | 0 | 0 | 0 |

②受講終了時アンケート結果

(単位：%)

| 項目 | とてもある | まあまあある | あまりない | ない | 無回答 |
|-----------------|-------|--------|-------|----|-----|
| 受講効果 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 満足度 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自己の課題の解決 | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| 取組みへの気持ちの高まり | 82 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| トップマネジャーの視点の広がり | 93 | 7 | 0 | 0 | 0 |

分類6 看護職能団体としての研修等

1 職能研究会

| | | | | |
|------|--|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.78 地域保健・産業保健フォーラム テーマ：生きづらさを抱える方への相談支援を学ぼう！！ | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月26日 13：30～16：30 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 70 | 51 | 1,000 |
| 目的 | 成人期の発達障害やパーソナリティ障害の理解とその特性に応じた関わり方について学び、支援する際の留意点や支援者のメンタルヘルスを保つにはどうすればよいかを考える。 | | | |
| 内容 | 講演 「適度な距離」って何だろう？ ～成人期の発達障害やパーソナリティ障害の特性に応じた関わり方と支援者側のメンタルヘルス（対応する際の留意点やストレスケアについて）～ 講師 広島市精神保健福祉センター 中甫木くみ グループワーク 「明日からの活動にどう活かすか」 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 保健師（会員、非会員は問わない） | | | |

| | | | | |
|------|--|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.79 保健師職能研究会～健康危機管理に関する研修会～ テーマ：新型コロナウイルス感染症対策における保健師活動を振り返る ～頑張った私たちのメンタルヘルスに目を向ける～ | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月22日 13：30～16：30 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 50 | 17 | 1,000 |
| 目的 | 三年以上にもわたった新型コロナウイルス感染症対応を振り返り、今回の経験や頑張りをこれからの保健師活動のモチベーションアップにつなぐ。 | | | |
| 内容 | 講演 「有事の時こそ支援者自身のメンタルヘルスを大切に！」 講師 岡山大学大学院 原田奈穂子 グループワーク 「今日の学びを今後の保健活動にどう活かすか」 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 保健師（会員、非会員は問わない） | | | |

| | | | | |
|------|--|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.80 保健師職能研究会 テーマ：誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現を目指して ～保健師に必要なLGBTQの理解を深めよう～ | | | |
| 開催日時 | 令和5年 9月23日 13：30～16：30 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 50 | 20 | 1,000 |
| 目的 | 多様性を支えあう社会を目指して、LGBTQの理解を深め、保健活動に活かす。 | | | |
| 内容 | 講演 「今、保健師に必要なLGBTQへの理解とは～多様性を支え合う社会へ～」 講師 認定NPO法人 グッド・エイジング・エールズ 松中権 グループワーク 「学びを共有し、今後の保健活動にどう活かすか」 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 保健師（会員、非会員は問わない） | | | |

| | | | | |
|------|---|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.81 第1回助産師職能研究会 テーマ：母子のための地域包括ケア病棟推進に向けた取り組み ～院内助産を広げてゆくために今できること～ | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月 1日 13：00～16：30 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 40 | 11 | 1,000 |
| 目的 | 母子のための地域包括ケアシステムについて理解し、自施設の「院内助産」の現状と課題から今後の取り組みを考える。 | | | |
| 内容 | 講演 「母子のための院内助産システムの構築に向けた取り組み」 講師 さぬき市民病院 松下有希子 グループワーク 「自施設での取り組みについて考えよう」 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 看護管理者、助産師、保健師、看護師 | | | |

| | | | | |
|------|--|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.82 第2回助産師職能研究会 テーマ：母子のための地域包括ケア病棟推進に向けた取り組み ～助産師が行う超音波検査～ | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月26日 13：00～16：30 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 40 | 28 | 1,000 |
| 目的 | 助産師の行う超音波検査に関する悩みや課題を解決し、実践に活かす。 | | | |
| 内容 | 講演 「助産師が行う超音波検査 ～基本の操作と知っておきたいポイント～」 講師 正岡病院 正岡博 グループワーク 「自施設でできる助産師による超音波検査の活用を考える」 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 助産師 | | | |

| | | | | |
|------|---|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.83 第1回看護師職能研究会 テーマ：もっと知りたい「ヤングケアラー」のこと | | | |
| 開催日時 | 令和5年 9月23日 13：00～16：00 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 70 | 15 | 1,000 |
| 目的 | 家庭内の問題として潜在化しがちなヤングケアラーの現状を把握し、看護職としての役割について考える。 | | | |
| 内容 | 講演 「ヤングケアラーの背景要因とその対策」 講師 県立広島大学 松宮透高 グループワーク・全体セッション(質疑応答) | | | |
| 会場 | オンライン | | | |
| 対象 | 看護職(会員、非会員は問わない) | | | |

| | | | | |
|------|---|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.84 第2回看護師職能研究会 テーマ：お互いを認め合う職場づくり | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月25日 13：00～16：00 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 70 | 73 | 1,000 |
| 目的 | 心理的安全性の意義を理解し、実践できる。 | | | |
| 内容 | 講演 「心理的安全性の高い職場づくり」 講師 広島大学大学院 岩永誠 グループワーク・全体セッション(質疑応答) テーマ「明日からできる新人からベテランとともに作り上げる職場環境を考える」 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 看護師、准看護師(会員、非会員は問わない) | | | |

| | | | | |
|------|---|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.85 令和5年度三職能合同研究会 テーマ：つなごう、看護の手 ～わたしたちのメンタルヘルスケア～ | | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月 4日 13：00～16：00 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 100 | 51 | 無料 |
| 目的 | 私もあなたも、いきいきと働くためのメンタルヘルスケアを考える。 | | | |
| 内容 | 講演 「いきいきと働き続けるためのメンタルヘルスケア」 講師 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター 内藤知佐子 グループワーク・ディスカッション 「自分らしく働くためのメンタルヘルスケアを考える」 | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 保健師、助産師、看護師、准看護師(会員、非会員は問わない) | | | |

| | | | | |
|------|--|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.86 第1回リスクマネジャー意見交換会 テーマ：コミュニケーションエラーについて | | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月12日 13：30～16：00 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 60 | 55 | 無料 |
| 目的 | 各施設の医療安全の充実に図るために、コミュニケーションエラーについてリスクマネジャー間で意見を交換し、今後の活動に活かす。 | | | |
| 内容 | 講義 「コミュニケーションエラーを防ごう ～伝える力、聴き取る力～」 講師 K-COACH 原田景子 グループワーク | | | |
| 会場 | 広島県看護協会会館 | | | |
| 対象 | 医療安全管理者またはそれに準ずる者 各施設1名 *会員に限る | | | |

| | | | | |
|------|--|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | No.87 第2回リスクマネジャー意見交換会 テーマ：患者・家族からの暴言暴力に対する対応 | | | |
| 開催日時 | 令和6年 1月24日 13：30～16：00 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | | 60 | 48 | 無料 |
| 目的 | 各施設の医療安全の充実に図るために、患者・家族からの暴言暴力に対する対応についてリスクマネジャー間で意見を交換し、今後の活動に活かす。 | | | |
| 内容 | 講義 「患者・家族からの暴言暴力に対する対応 ～個人ではなく、組織として毅然と対応することの重要性～」 講師 大元・秋山法律事務所 大元和貴 グループワーク | | | |
| 会場 | オンライン | | | |
| 対象 | 医療安全管理者またはそれに準ずる者 各施設1名 *会員に限る | | | |

2 組織強化研修

| | | | |
|------|---|----------------------------------|-----------|
| 研修会名 | No.88 中間看護管理者研究会Ⅰ（新任看護師長・新任訪問看護ステーション所長） テーマ：看護の未来を拓く看護管理者の役割 | | |
| 開催日 | (第1回) 令和5年 6月 7日 13:30～16:30 | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | (第2回) 令和5年 6月29日 13:30～16:30 (第3回) 令和5年 7月13日 13:30～16:30 | (第1回) 79 (第2回) 77 (第3回) 80 | 3,000 |
| 目的 | 1 中間看護管理者としての役割を認識する。 2 看護管理に関する基本的な知識を学ぶ。 3 新任中間看護管理者間のネットワークづくりを図る。 | | |
| 内容 | (第1回) 講義 「看護師長の役割」 講師 総合病院庄原赤十字病院 谷口理恵 (第2回) 講義 「看護管理の実際」 講師 総合病院庄原赤十字病院 谷口理恵 (第3回) 講義 「労務管理」 講師 広島市立広島市民病院 川野尚紀 | | |
| 会場 | オンライン | | |
| 対象 | 令和4年度以降に看護師長相当職に就任した者（副看護師長は除く）で、本研究会に未参加の者 *会員に限る | | |

| | | | |
|------|--|----------------------|-----------|
| 研修会名 | No.89 中間看護管理者研究会Ⅱ テーマ：看護の未来を拓く看護管理者の役割 | | |
| 開催日 | (第1回) 令和5年11月 2日 13:30～16:30 | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | (第2回) 令和5年12月21日 13:30～16:30 | (第1回) 93 (第2回) 87 | 2,000 |
| 目的 | 1 中間看護管理者としての役割を認識する。 2 看護管理上の課題を見つけ行動化できる。 | | |
| 内容 | (第1回) 講義・演習 「看護師長に必要なコミュニケーションスキル」 講師 広島大学医学部附属医学教育センター 蓮沼直子 (第2回) 講義・演習 「レジリエンスを高める方法」 講師 広島大学医学部附属医学教育センター 蓮沼直子 | | |
| 会場 | オンライン | | |
| 対象 | 中間看護管理者（看護師長・訪問看護ステーション所長） *会員に限る | | |

| | | | |
|------|---|----------------------|-----------|
| 研修会名 | No.90 看護管理者研究会Ⅰ（新任トップマネジャー） テーマ：看護の未来を拓く看護管理者の役割 | | |
| 開催日 | (第1回) 令和5年 5月24日 13:30～16:30 | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | (第2回) 令和5年 7月 4日 13:30～16:30 | (第1回) 12 (第2回) 11 | 2,000 |
| 目的 | 看護管理者としての基本的な知識を学ぶと共に自己の役割を認識し、新任看護管理者間のネットワークづくりを図る。 | | |
| 内容 | (第1回) 講義・演習 「組織における看護部長の役割を考える」 講師 (公社) 広島県看護協会 山本恭子 (第2回) 講義 「経営管理における看護管理体制の整備について」 講師 中国四国厚生局 原純司 大垣玲子 高取信幸 | | |
| 会場 | (第1回) 広島県看護協会会館 (第2回) オンライン | | |
| 対象 | 令和4年度以降に看護管理者相当職に就任した者で、本研究会に未参加の者 *会員に限る | | |

| | | | |
|------|--|----------------------|-----------|
| 研修会名 | No.91 看護管理者研究会Ⅱ（看護部長・副看護部長） テーマ：看護の未来を拓く看護管理者の役割 | | |
| 開催日 | (第1回) 令和5年 8月20日 13:30～15:00 | 参加者数(人) | 参加費(円・税込) |
| | (第2回) 令和5年11月21日 13:30～16:30 | (第1回) 67 (第2回) 62 | 2,000 |
| 目的 | 医療看護の動向をふまえ、質の高い看護を提供するため、看護部門のトップマネージャーとしての管理能力の向上を目指す。 | | |
| 内容 | (第1回) 講義 地域医療構想「広島県の今後の医療提供体制について～地域医療をどう支えるか～」 講師 広島県健康福祉局 木下栄作 (第2回) 講義 「医療圏における看護管理者の連携強化」 講師 川崎医療福祉大学 看護実践・キャリアサポートセンター 山田佐登美 | | |
| 会場 | (第1回)広島県看護協会会館（ハイブリッド） (第2回)オンライン | | |
| 対象 | 看護管理者(看護部長・副看護部長) *会員に限る、 ※2日とも参加できることが望ましい | | |

| | | | |
|-----------|--|-------|----------|
| 研修会名 | No.92 看護管理者研究会【災害編】 テーマ：災害に備える組織づくり～自施設の減災対策を見直す～ | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月13日 13:30～16:00 | 定員(人) | 参加施設数(人) |
| | | 500 | 119 |
| 参加料(円・税込) | 無料 | | |
| 目的 | 1 災害対応において看護管理者が果たす役割を理解し、平時からの備えに活かす。 2 災害支援ナース「災害・感染症医療業務従事者」について理解する。 | | |
| 内容 | 「BCMの視点で考える災害対策と管理者の役割 東京都立広尾病院 中島康 「感染症法、医療法の改正に伴う新たな災害支援ナースへの移行について」 広島県健康福祉局 半田文 広島県看護協会 森本麻子 | | |
| 会場 | オンライン | | |
| 対象 | 看護管理者相当職、施設内で災害対策に関わる看護職 | | |

| | | | |
|-----------|---|-------|---------|
| 研修会名 | No.93 施設代表者等研修会（協会・連盟共催） テーマ：広島県の医療機能強化に向けた取り組みについて | | |
| 開催日時 | 令和6年 2月11日 14:00～16:00 | 定員(人) | 参加者数(人) |
| | | 200 | 159 |
| 参加料(円・税込) | 無料 | | |
| 目的 | 看護の現状・課題を認識し、施設代表者として必要な役割・機能について考える。 | | |
| 内容 | 講演 「コロナパンデミックを踏まえたこれからの医療を考える」 講師 厚生労働省医務技監 迫井正深 講演 「広島県の医療機能強化に向けた取り組みについて」 講師 広島県健康福祉局 北原加奈子 | | |
| 会場 | ホテルグランヴィア広島 | | |
| 対象 | 施設代表者および看護管理の職にある者 | | |

3 准看護師研修会

| | | | |
|-----------|---|-------|---------|
| 研修会名 | No.94 准看護師研修会 テーマ：進学への一歩をふみ出してみませんか | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月 8日 13:30～15:30 | 定員(人) | 参加者数(人) |
| | | 40 | 9 |
| 参加費(円・税込) | 無料 | | |
| 目的 | 准看護師と准看護学生が進学のための具体的な情報を得る機会とする。 | | |
| 内容 | 「これからの医療と看護への期待」 広島県看護協会 大野陽子 「進学についての情報提供」 広島県健康福祉局医療介護基盤課 半田文 「私の学校生活と進学体験」 全日制、定時制、通信制それぞれの卒業生 「看護への思い・進学について」 質疑・応答、ディスカッション | | |
| 会場 | オンライン | | |
| 対象 | 進学に興味のある准看護師、准看護師養成所在校生 准看護師が就業している施設の看護管理者（中間看護管理者を含む） | | |

4 看護職員復職支援研修他

| | | | | | |
|---------------------------|--|--------------------------------|------------|-----------------|-------------|
| 研修会名 | No.95 看護職員復職支援研修 ①シミュレータによる技術研修 | | | | |
| 目的 | シミュレータを活用した看護技術に関する研修を実施し、病院等への就業を促進する。 | | | | |
| 実施主体 | 広島県 | | | | |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 | | | | |
| 対象 | 概ね3か月以内に就業予定で、採血・注射及び吸引の看護技術に不安のある看護職 福祉施設等に就業中だが採血などの医療技術経験の少ない者 | | | | |
| 開催日時・講師・場所・内容等 | | | | | |
| 開催日時 | | 講師 | 場所 | 内容 | 受講者数 (人) |
| 4/28、5/12 | 10:00 ～ 12:00 | マツダ病院 新家さち子 | 広島県看護協会 | 採血/吸引/ 静脈留置針 | 125 |
| 6/9、8/4 | | 市立三次中央病院 片山香 | | | |
| 7/14、9/8 | | 県立広島病院 西村将吾 | | | |
| 10/13、11/10 | | 広島共立病院 中村紀子 | | | |
| 12/8、R6.1/12 | | 中国労災病院 具志陽宏 | | | |
| R6.2/9、3/8 | | 広島市立北部医療センター 安佐市民病院 玉田真弓 | | | |
| 毎月第4金曜日 13:30～15:30 | ナースセンター相談員 | | 広島県看護協会 | 採血/吸引 | 35 |
| 毎月第4金曜日 10:00～12:00 | | | 福山すこやかセンター | 採血/吸引 | 25 |
| 令和5年11月14日 14:00～15:30 | | | 広島県総合体育館 | 採血 | 7 |

| | | | | | |
|-------------|--|-------------------------------------|--|----|-------------|
| 研修会名 | No.95 看護職員復職支援研修 ②事前研修 | | | | |
| 目的 | 実践研修の前に看護知識や技術に関する講義や演習を行い、病院における看護実践研修への円滑な参加を促す。 | | | | |
| 実施主体 | 広島県 | | | | |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 | | | | |
| 対象 | 看護技術等の研修が必要な看護職 | | | | |
| 開催日時・場所・内容等 | | | | | |
| 開催日時 | | 場所 | 内容 | | 受講者数 (人) |
| 3日間 | 7/19～7/21 11/15～11/17 | 1日目 広島県看護協会会館 2・3日目 広島大学病院 | 講義：最近の看護の現状/患者の人権/情報管理/医療安全/ 感染防止 | 18 | |
| | 10:00～16:00 | | 演習：感染予防策/酸素吸入/浣腸/寝たきり患者の寝衣交換 /移送/導尿/吸引/採血/輸液管理 | | |
| 1日間 | 9/21、11/21、 R6.2/21 | 呉医療センター | 講義：病院職員としてのマナー/個人情報/電子カルテ/最近 の看護の動向/医療安全 演習：採血/点滴注射/留置針穿刺/アンプルバイアル等の 取り扱い | 6 | |
| | 9/7、12/7、 R6.2/1 | 福山市民病院 | 講義：医療・看護の動向/医療安全/個人情報/看護職として のマナー 演習：感染予防策/吸引/採血/静脈路の確保 | 7 | |
| | 10:00～16:00 | | | | |
| | 7/13、9/14、 11/9、R6.1/11、 3/7 | 市立三次中央病院 | 講義・演習：採血/吸引/点滴(留置針穿刺)/感染予防策 電子カルテの実際、導尿 | 3 | |
| | 10:00～15:00 | | | | |

| 研修会名 | No.95 看護職員復職支援研修 ②事前研修(テーマ別) | | | | |
|---------------------------------------|---|----------|---------------------------|-------|---------|
| 目的 | 復職に向けて必要な基礎知識・技術を短時間で学ぶ。 | | | | |
| 実施主体 | 広島県 | | | | |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 | | | | |
| 対象 | 病院等への復職を検討している未就業の看護職有資格者、e ナースセンターに登録している看護職 | | | | |
| 場所 | 広島県看護協会会館 | | | | |
| 開催日時・内容・講師等 | | | | | |
| 開催日時 | 内容 | 方法 | 講師 | | 受講者数(人) |
| 6/23、9/22、10/20 10:00～12:00 | 医療現場での感染管理の実際 手指消毒、PPE 等 | 講義 演習 | 広島大学病院 | 中曾亜佐美 | 28 |
| 9/5、10/13 10:00～12:00 | 訪問看護に必要なこと | 講義 | 安芸地区医師会区熊野町 訪問看護ステーション | 坂本しげみ | 16 |
| 9/27、12/15、R6.1/26 10:00～12:00 | 急変時の対応 | 講義 | 福山市民病院 | 渡辺賢一 | 36 |
| 11/8 10:00～12:00 | 看護職の復帰に悩んでいるあなたに | 講義 | K-COACH | 原田景子 | 4 |
| 11/29 10:00～12:00 12/19 9:00～10:30 | 実際に心電計を触ってみよう | 講義 演習 | フクダ電子広島販売株式会社 | | 25 |
| 12/5 10:00～12:00 12/19 10:30～12:30 | 心電図への苦手意識をなくそう | 講義 | 広島大学病院 | 磨野浩子 | 30 |
| R6.1/25 10:00～12:00 | 点滴管理 静脈留置針の穿刺と固定 | 講義 演習 | 福山市民病院 | 瀬戸喜久美 | 9 |

| 研修会名 | No.95 看護職員復職支援研修 ③実践研修 | | | | |
|------------------|--|--|--|--|---------|
| 目的 | 看護職員の確保を図るため、病院や訪問看護ステーションで実践研修を実施し、就業に対する不安を解消することで就業を促進する。 | | | | |
| 実施主体 | 広島県 | | | | |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 | | | | |
| 対象 | 病院や訪問看護ステーションへの就業を希望する看護職 | | | | |
| 開催期間 | 令和5年 4月 1日～令和6年3 月31日 | | | | |
| 場所 | 研修協力病院 68施設 研修協力訪問看護ステーション 81施設 | | | | |
| 内容・受講者数等 | | | | | |
| 研修コース | 内容 | | | | 受講者数(人) |
| 看護師 (5日間) | 病院の看護の概要、患者参画の看護の展開、看護記録、医療機器の取り扱い、検査データの見方、感染防止対策、医療安全対策、看護技術(採血、注射、輸液、褥瘡ケア)等 | | | | 5 |
| 助産師 (20～30日間) | 最近の分娩技術、基本的助産技術(分娩介助、新生児の健康診査と経過診断、新生児の処置、褥婦の健康診査と経過診断)、母親役割の援助、証明書等 | | | | 0 |
| 訪問看護師 (3日程度) | 訪問看護ステーションの概要、活動状況、訪問看護の実際、日常生活援助技術、社会サポート、地域連携等 | | | | 27 |

| | | | |
|-----------------|--|--------------------------------|-------------|
| 研修会名 | 看護職のための再就職支援セミナー | | |
| 目的 | 求職活動中の看護職を対象に、履歴書・職務経歴書等の作成方法、面接対策等、就職に関する相談等を実施し、早期再就職を促進する。 | | |
| 実施主体 | 広島県 | | |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 | | |
| 対象 | 離職中の看護職有資格者 (保健師・助産師・看護師・准看護師) | | |
| 方法 | 講義 | | |
| 講師 | 産業能率大学 増野洋子 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 応募書類作成：履歴書の書き方、職務経歴書の書き方 面接対策：面接のポイント 求職相談 | | |
| 開催日時・開催場所・受講者数等 | | | |
| | 開催日時 | 開催場所 | 受講者数 (人) |
| | 6月 8日 13:30～15:30 | 山崎本社みんなのあいプラザ | 6 |
| | 7月 20日 13:30～15:30 | 福山すこやかセンター | 6 |
| | 8月 10日 10:00～12:00 | エソール広島 | 9 |
| | 8月 31日 13:30～15:30 | 東広島市役所 | 4 |
| | 9月 7日 13:30～15:30 | 広島市総合福祉センター | 14 |
| | 9月 21日 13:30～15:30 | みよしまちづくりセンター | 2 |
| | 9月 24日 10:15～11:00 | 広島県立広島産業会館 (看護職のための就業相談会と同時開催) | 30 |
| | 10月 19日 13:30～15:30 | 呉市役所 | 5 |
| | 11月 30日 13:30～15:30 | 尾道市総合福祉センター | 3 |
| | 12月 14日 10:00～12:00 | エソール広島 | 10 |

| | | | |
|-------------|--|-----------------------|--------------------------------|
| 研修会名 | 看護技術研修会 | | |
| 目的 | 再就業した看護職が就業した施設に定着し、離職を防止するため基本的看護技術等の研修を実施する。 | | |
| 実施主体 | 広島県 | | |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 | | |
| 対象 | 100床未満の病院、診療所、社会福祉施設等の看護職 | | |
| 開催日時 | 令和5年 7月 2日 9:40～15:00 | 令和5年 7月30日 9:40～15:00 | |
| | 令和5年10月 1日 9:40～15:00 | 令和5年10月22日 9:30～15:30 | |
| 内容・講師・受講者数等 | | | |
| | 内容 | 方法 | 講師 |
| | 医療安全 | 講義 | 広島大学病院 右近清子 |
| | 看護現場における倫理的態度 | 講義 | 川崎医療福祉大学 山田佐登美 |
| | 感染管理の基礎 (標準予防策の実技含む) | 講義 | 中電病院 木村将和 |
| | | | 広島赤十字・原爆病院 山水有紀子 |
| | | | 県立広島病院 今崎美香 |
| | | | メリィホスピタル 山本聡美 |
| | 急変時の対応 | 講義 | 広島大学病院 佐々智宏 |
| | フィジカルアセスメント | 講義 | 尾道市立市民病院 檀上恵美子 |
| | 採血 (真空管採血) と輸液管理 (翼状針使用) ・一時吸引 | 講義 演習 | 福山市民病院 井上和美 |
| | | | 広島市立北部医療センター 安佐市民病院 石橋美由紀 |
| | ポジショニングと移乗動作 | 講義 演習 | 広島赤十字・原爆病院 訪問看護 ステーション 岡田美幸 |
| | | | 福山市民病院 吉岡雄一 |
| | | | 264 |

| | |
|----------|--|
| 研修会名 | 多様な働き方研修会 |
| 目的 | 看護職が働き続けられる体制づくりについての好事例の紹介を通じ、多様な働き方への理解を深め、各施設での取組を促すことにより、人材確保や潜在看護職の復職を推進する。 |
| 実施主体 | 広島県 |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 |
| 対象 | 医療施設の看護管理者及び事務担当者等 |
| 開催日時 | 令和5年10月27日 13:30～15:45 |
| 内容 | ①看護職の求人求職状況について ハローワーク広島東 ②広島県ナースセンター無料職業紹介事業について ③「働き続ける」を実現するオリジナル制度」～くわいナースの取り組み～ 講師 大阪府済生会吹田病院 佐藤美幸 |
| 研修方法 | 講義 (ハイブリッド) |
| 受講者数 (人) | 85 |

| | |
|----------|--|
| 研修会名 | 職場環境づくり事例報告会 |
| 目的 | 看護職の離職防止と定着促進を図るため、ワークライフバランスを目指し健康で働き続けられる職場づくりに取り組んだ活動を紹介し、看護管理の在り方を考える。 |
| 実施主体 | 広島県 |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 |
| 対象 | 看護管理者等 |
| 開催日時 | 令和5年12月 9日 13:30～16:30 |
| 内容 | ①職場環境づくり取組の報告 瀬野白川病院 笠原賀奈子 河野環/高陽ニュータウン病院 高田玉美/ 因島総合病院 松田ななみ/福山南病院 藤本みどり ②支援者からの報告 世羅中央病院 福原真理/太田川病院 河野美智江/沼隈病院 上谷紀子/ おくさわ整形外科病院 日下とよみ ③講評 NPO 法人看護職キャリアサポートフリージア・ナースの会 大島敏子 |
| 研修方法 | 活動報告・意見交換・講評 (ハイブリッド) |
| 受講者数 (人) | 46 |

| | |
|----------|---|
| 研修会名 | 採用力向上のための広報研修会 |
| 目的 | 各医療機関の魅力が伝わる手法の理解を深め情報発信について取り組みを促し、看護職員の確保を支援する。 |
| 実施主体 | 広島県 |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 |
| 対象 | 医療施設の長、看護管理者及び採用担当者 |
| 開催日時 | 令和5年11月29日 13:30～15:30 |
| 内容 | 「明日のナースへ～私たちの魅力、どう伝える?～」 講師 Libyard 神原知里 |
| 研修方法 | 講義 (ハイブリッド) |
| 受講者数 (人) | 84 |

| | | | |
|---------|---|-----------------------------|--|
| 研修会名 | 看護職採用のための病院の魅力発信相談会 | | |
| 目的 | 医療機関での看護職員の確保を図るため、情報発信への取組を促すこととし、効果的な広報手法に精通している専門家をアドバイザーとして派遣し、広報に係る課題の解決を支援する。 | | |
| 実施主体 | 広島県 | | |
| 実施機関 | (公社) 広島県看護協会 | | |
| 対象 | 医療施設の長、看護管理者および採用担当者 | | |
| 開催場所・日時 | 三次市 (市立三次中央病院) | 第1回：令和6年 1月15日 13:00～15:00 | |
| | | 第2回：令和6年 2月20日 13:00～14:30 | |
| | 庄原市 (庄原赤十字病院) | 第1回：令和5年 12月19日 13:00～15:00 | |
| | | 第2回：令和6年 2月22日 13:00～15:00 | |
| アドバイザー | 「採用に繋がる、“選ばれる”ためのブランドの創り方」 安村遼太郎 (WEB解析士、SNSマネージャー) | | |
| 参加施設 | 三次市 | 市立三次中央病院 三次地区医療センター | |
| | 庄原市 | 庄原赤十字病院 庄原同仁病院 庄原市立西城市民病院 | |

| | | | | |
|-------------------------|---|-------|---------|-----------|
| 研修会名 | プラチナナース支援研修 | | | |
| 開催日時 | ①令和5年 9月28日 10:00～15:30 | 定員(人) | 参加者数(人) | 参加料(円・税込) |
| | ②令和5年10月12日 10:00～15:00 | | | |
| ③令和5年10月26日 10:00～15:00 | | | | |
| 目的 | 就職を希望するプラチナナースが、在宅及び関連施設において必要とされる最新の看護の知識や技術を習得することにより安心して復職できるよう支援する。 | | | |
| 内容 | ①介護保険制度について 広島県看護協会 松井善子 施設における看護の現状 エンパワーライフ訪問看護ステーション 中島良恵 特別養護老人ホームなごみの郷 中本妙 広島県の医療構想と看護職員の現状や地域包括ケアシステムについて 広島県健康福祉局 東久保ちあき | | | |
| | ②希望する施設での見学実習 ③年金と働き方について ファイナンシャルプランナー・キャリアコンサルタント 三上貴久美 就労に向けての情報提供、プラチナカフェ 広島県看護協会 河野砂百合/山本淑美・川口千恵 | | | |
| 会場 | ①③広島県看護協会会館 ②希望する施設 | | | |
| 対象 | 定年退職後または定年退職を控えた看護職員、またはブランクのある職員で看護の仕事を希望する者(概ね50歳以上) | | | |
| 研修方法 | 講義・演習 | | | |

IV 支部教育事業

(※区分1：研修事業 2：研究事業 3：関連職種地域連携事業)

※1：研修事業（組織強化・リフレッシュを目的とした会員交流事業は除く）

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講評者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|-------|-----------------|---|---|----------------------|-------------|---------|---------|-----|-----|
| | | | | | | 総数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会員 | 非会員 | 他職種 |
| 広島中支部 | 1 | テーマ「救急蘇生（初級コース）」 | 広島市立広島市民病院 笠井有希 インストラクター5名 | 広島市立広島市民病院 | 10/7 | 20 | 19 | 1 | |
| | | テーマ「マインドフルネス～今よりラクに働くコツ～」 | 草津病院 土師裕子 | 広島市立広島市民病院 | 9/16 | 40 | 40 | | |
| | | テーマ「LGBTQについて 医療現場に必要なLGBTQの理解を深める」 | 広島修道大学 河口和也 | 広島市立広島市民病院 | 11/19 | 45 | 44 | 1 | |
| | 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 吉島病院 3) 看護研究発表会：サポート演題 1題 一般演題 6題 | 広島文化学園大学 佐藤敦子 広島文化学園大学 佐藤敦子 講評： 広島文化学園大学 佐藤敦子 | 中支部事務所 広島市立広島市民病院 | 7/1 2/17 | 5 88 | 5 87 | | 1 |
| | | ・COVID-19 患者に対応した看護師の類型変更前後の不安やストレス ～個人防護具装着に関連した実態調査～ 吉島病院 國好久美 | 座長： 広島記念病院 沖本由布子 | | | | | | |
| | | ・A 病院における認知症ケアマネジメントによる身体拘束率およびせん妄発症率の変化 広島市立広島市民病院 大西奈緒 ・安全な食事提供のための取り組み ～食事表、ホワイトボードを導入して～ シムラ病院 野田礼爾 ・病棟看護師における直接観察法を用いた手指衛生の実態調査 広島はくしま病院 金満菜々子 ・病棟看護師が行う食事のためのポジショニングの現状把握と課題 中電病院 折田直子 ・病棟看護師における感染予防の知識、技術向上による手指衛生の遵守率向上 広島記念病院 古松佑佳子 ・医療安全に対する意識改善に向けた取り組み 広島記念病院 上原利予 | たかの橋中央病院 赤地千春 | | | | | | |
| 3 | テーマ「各施設で考えるBCP」 | 広島市危機管理室 富川一樹 広島地方気象台 佐内理恵 広島赤十字・原爆病院 石崎ゆかり | 広島市立広島市民病院 | 12/9 | 35 | 34 | 1 | | |
| 広島東支部 | 1 | テーマ「救急蘇生（初級コース）」 | マツダ病院 住居晃太郎 | マツダ病院 | 8/26 | 26 | 21 | 5 | 0 |
| | | テーマ「あなたの骨大丈夫？～人生 100 年時代を元気に過ごすためのヒント～」 | マツダ病院 升井江美子 | JR 広島病院 ハイブリッド | 9/9 | 29 | 29 | 0 | 0 |
| | | テーマ「訪問看護の立ち上げから現状」 | 訪問看護ステーション アルファ矢野 折出和美 | JR 広島病院 | 12/9 | 35 | 35 | 0 | 0 |

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講評者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|-------|----|---|---|--|--------------------------------|------------------------|------------------------|---------------------|---------------------|
| | | | | | | 総 数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会 員 | 非 会 員 | 他 職 種 |
| | | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 済生会広島病院 マツダ病院 安芸市民病院 3) 看護研究発表会：サポート演題 3題 一般演題 3題 ・アルツハイマー型認知症高齢患者の家族の診断時からの思いと看護師の役割 済生会広島病院 山本由紀子 ・病棟看護師による身体拘束解除の評価方法の現状と課題 JR広島病院 洪江美咲 ・救急センターにおける帰宅患者に対する支援体制の構築 ～帰宅時支援の現状と課題～ マツダ病院 宮川尚子 ・緩和ケア病棟におけるせん妄患者に対するスタッフの意識と看護ケアの変化 安芸市民病院 香河愛子 ・大腸内視鏡検査経口腸管洗浄剤の自宅飲用実態調査 ～ビデオ動画を導入してみよう～ JR広島病院 伊藤恵 ・排泄動作自立に向けた取り組み 太田川病院 釜賀早苗 | 広島国際大学 飯田加寿子 広島国際大学 飯田加寿子 講評： 広島国際大学 飯田加寿子 座長： 太田川病院 畑中有記 マツダ病院 森下美希 | マツダ病院 JR広島病院 | 7/1 2/10 | 10 32 | 10 32 | 0 0 | 0 0 |
| | 1 | テーマ「救急蘇生(初級コース)」 ～一次救命処置と急変時の患者の見方～ テーマ「働くことが面白くなるアンガーマネジメント」 テーマ「ACPについて考えてみよう」 | 県立三次看護専門学校 越道香織 キャリアフォーカス代表 棚多里美 広島県看護協会訪問看護 ステーション「こい」 道法和恵 | 広島県看護協会 ARAKI HEALTHCARE PRAZA 広島県看護協会 | 9/16 11/11 11/27 | 26 29 38 | 17 26 29 | 9 3 7 | 0 0 2 |
| 広島西支部 | 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 生協さえき病院 五日市記念病院 ナカムラ病院 福島生協病院①・② 広島パークヒル病院 3) 看護研究発表会：サポート演題 6題 一般演題 1題 ・外来と病棟での継続看護について ～質問紙をもとに現状を知る～ 福島生協病院 矢野真弓 ・CVC留置をしている高齢者への適切な固定 ナカムラ病院 田川茜 ・ナースコールに関連した患者対応の改善に向けた対策の文献レビュー 生協さえき病院 頼田周代 ・ポジショニングに関する看護職員、看護補助者の意識変化が患者の関節可動域の変化に及ぼす影響 広島パークヒル病院 請川真樹 ・身体拘束軽減に向けた文献検討 福島生協病院 山口 隼人 | 日本赤十字広島看護大学 高田洋介 日本赤十字広島看護大学 高田洋介 講評： 日本赤十字広島看護大学 高田洋介 座長： 広島市医師会看護専門学校 山本紀子 | 広島県看護協会 広島県看護協会 ハイブリッド | 7/1 2/17 | 11 65 | 9 64 | 2 0 | 0 |

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講評者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|-------|--------------------|--|------------------------------|-------------|-------|--------|--------|-------------|-------------|
| | | | | | | 総 数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会 員 | 非 会 員 | 他 職 種 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートの分析から見た入院中の血液内科患者の転倒 五日市記念病院 金澤菜津美 消毒薬変更による中心静脈カテーテル関連血液感染防止の効果 梶川病院 大村結女 | | | | | | | |
| 広島南支部 | 1 | テーマ「救急蘇生研修会（初級コース）」 | 県立広島病院 黒川良也 インストラクター3名 | 南区区役所別館 | 10/28 | 10 | 7 | 3 | |
| | | テーマ「快眠術～意外と知らない上手な眠り～」 | TUK 東洋羽毛 加藤尚道 | 広島県健康福祉センター | 12/2 | 7 | 7 | | |
| | | テーマ「医療・介護現場で看護職が巻き込まれやすいトラブル～ペイシャルハラスメントの対応法・実践方法～」 | 前川・小川法律事務所 前川秀雅 | 南区区役所別館 | 1/27 | 33 | 31 | 2 | |
| 2 | 看護研究サポート | 1) 講義 | 広島大学大学院 恒松美輪子 | 南区区役所別館 | 7/4 | 13 | 13 | | |
| | | 2) 助言 県立広島病院①・②・③ 広島大学病院 恒松美輪子 | 講評： 広島大学大学院 恒松美輪子 | 南区区役所別館 | 2/17 | 63 | 63 | | |
| 3 | 南区常設型オープンスペース 出前講座 | テーマ「冬に流行る感染症のお話」 | 小児科さとうクリニック 佐藤貴 | 南区地域福祉センター | 10/5 | 1 | 1 | | |
| | | テーマ「日常の感染症対策・手の洗い方」 | 県立広島病院 亀井久美 | | | | | | |

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講評者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|-------|----|---|--|------------------------------------|--------------|-----------|----------|-------------|-------------|
| | | | | | | 総 数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会 員 | 非 会 員 | 他 職 種 |
| 広島北支部 | 1 | テーマ「救急蘇生（初級コース）」 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 長見由美 インストラクター10人 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 6/10 7/8 | 50 13 | 21 10 | 6 10 | |
| | | テーマ「失語症をもっと身近に」 | 広島市立リハビリテーション病院 澄田香織 | 安佐北区総合福祉センター | 4/22 | 33 | 33 | | |
| | | テーマ「看護の仕事と暮らしを豊かにするアンガーマネジメント研修～怒りを理解し身につけられる感情コントロール～」 | サンライズマリン瀬戸 久保田あけみ | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 9/16 | 25 | 25 | | |
| | | テーマ「地域で高齢者ケアを考える～多職種連携とACP～」 | 雄鹿原診療所芸北ホリスティックセンター・北広島雄鹿原診療所 東條環樹 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 11/18 | 30 | 29 | | 1 |
| | | テーマ「がん性疼痛看護と緩和ケア」 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 升田志保 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 1/27 | 39 | 39 | | |
| 広島北支部 | 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 JA 吉田総合病院 3) 看護研究発表会：サポート演題 1題 一般演題 2題 | 安田女子大学 小園由味恵 安田女子大学 小園由味恵 講評： 安田女子大学 小園由味恵 座長： Communityhealthcareic hijiku 村岡智恵 | 安佐北区総合福祉センター 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 6/20 1/27 | 2 39 | 2 39 | | |
| | | ・地域包括ケア病棟スタッフの退院支援に関する意識調査 ～患者の生活を見据えた情報収集～ JA 吉田総合病院 小開千聖 ・心不全と糖尿病を併せもつ人に対する慢性疾患看護専門看護師のセルフケア支援 広島市立北部医療センター安佐市民病院 山崎優介 ・回復期リハビリテーション病棟における排尿ケアチームの介入効果について 広島市立リハビリテーション病院 倉本美和 | | | | | | | |
| 広島北支部 | 3 | 安佐地区地域ケアフォーラム 2023（市民公開講座） テーマ「人生 100 年時代の食事術～毎日の食事から考える認知症予防～」 ①脳に良い食事・悪い食事 ②オーラルフレイルについて ③脳に良い食事に関するレシピ紹介 | 安佐医師会 山下拓史 安佐歯科医師会 古本博嗣 料理研究家 黒田千晴 | 安佐北区民文化センター | 2/17 | 274 市民 | | | |
| | | テーマ「ポストコロナをどう生きる～元気に暮らすコツを知らう！～」 | 広島市立舟入病院 高蓋寿朗 ・シンポジウム | 安佐南区民文化センター | 3/9 | | | | |
| 廿日市支部 | 1 | テーマ「救急蘇生（初級コース）」 | JA 広島総合病院 前田智子 インストラクター6名 | JA 広島総合病院 | 12/9 | 18 | 16 | 2 | |
| | | テーマ「仕事をする上で注意すべき怒りについて～アンガーマネジメント診断から見たキャラクター別対処法～」【看護連盟共催】 | キャリアフォーカス 棚多里美 | JA 広島総合病院 | 10/21 | 30 | 26 | 2 | 2 |

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講評者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|----------------------------|---|--|---|-----------------|---------|---------|--------|-------------|-------------|
| | | | | | | 総 数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会 員 | 非 会 員 | 他 職 種 |
| | 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 サポート施設なし 3) 看護研究発表会：一般演題 7題 ・集団立ち座り体操の取り組み アマノリハビリテーション病院 倉橋鈴奈 ・シームレスな転院支援に向けた送迎サービスの導入 について 廿日市記念病院 高橋直美 ・重症心身障がい児(者)病棟の療養活動において看護師 が大切にしている視点 広島西医療センター 大野遥香 ・OJTによるスキンケア(陰部洗浄、おむつ交換)の新 規採用者教育 ～チェックリストによる評価と分析～ JA広島総合病院 南部智江 ・OJTシートを活用した新人教育の現状と今後の課題 ～主任・副主任が中心となりOJTを実施して～ JA広島総合病院 高野正義 ・経管栄養から経口摂取への早期移行 ～摂食嚥下チームと病棟の取り組みについて～ 廿日市記念病院 佐伯尚美 ・カテーテル関連血流感染症防止への取り組み ～ケアバンドルを活用して～ 阿品土谷病院 三宅直樹 | 講評： 日本赤十字広島看護大学 服部智子 座長： JA広島総合病院 佐藤澄香 新田克己 | JA広島総合病院 | 2/4 | 46 | 46 | | |
| 東 広 島 ・ 竹 原 | 1 | テーマ「アンガーマネジメント」 | 宗近病院 中谷仁志 | 東広島保健医療 センター | 5/12 | 18 | 14 | 4 | 0 |
| | | テーマ「認知症高齢者を支える～意思決定支援・苦痛緩和 を中心～」 | 賀茂台地訪問看護ステ ーション 川本雪江 | 東広島保健医療 センター | 7/14 | 25 | 25 | 0 | 0 |
| | | テーマ「救急蘇生 ～様々なパターンに対応する～」 | 東広島医療センター 松尾直樹 | 東広島保健医療 センター | 10/20 | 30 | 25 | 5 | 0 |
| | | テーマ「感染対策研修 ～標準予防策・冬季流行感染症 ～」 | 広島県立総合リハビリ テーションセンター 田中淳一 | 東広島保健医療 センター | 11/10 | 21 | 16 | 5 | 0 |
| | | テーマ「フィジカルアセスメント～呼吸聴診技術を学 ぶ～」 | 東広島医療センター 當麻麻美 | 東広島保健医療 センター | 2/9 | 13 | 11 | 2 | 0 |
| 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 安田病院 3) 看護研究発表会：サポート演題 1題 一般演題 2題 | 広島国際大学 白木智子 広島国際大学 白木智子 講評： 広島国際大学 白木智子 | 東広島保健医療 センター 東広島保健医療 センター | 7/5 2/9 | 6 33 | 6 33 | 0 0 | 0 0 | |
| | ・業務改善の視点から捉えた陰部洗浄の実際と見直し 安田病院 片山剛毅 ・入院中の睡眠障害への介入 ～アロマテラピーを用いた目覚めの検証～ 県立安芸津病院 佐々木望 ・看護師による口腔ケア時の飛沫状況を可視化して 東広島医療センター 河端美代子 | 座長： 本永病院 野田香織 | | | | | | | |

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講評者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|---------|---|---|---------------------|-------------|---------|---------|--------|-------------|-------------|
| | | | | | | 総 数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会 員 | 非 会 員 | 他 職 種 |
| 3 | 令和5年度自殺未遂者支援研修会 「自殺未遂者の理解と再発防止に向けた支援について」 「自殺未遂者支援の実際について～事例を踏まえて～」 | 広島大学病院 大森航 広島大学病院 浜内恵美 | オンライン | 9/5 | 36 | 1 | 4 | 31 | |
| | 令和5年度感染症研修会 「管内の感染症発生状況について」 「性感染症の話題～梅毒を中心に～」 | 西部東保健所保健課職員 にぐま皮ふ科クリニック 仁熊利之 | 東広島庁舎 ハイブリッド | 9/27 | 41 | 4 | 8 | 29 | |
| 1 | テーマ「救急蘇生（初級コース）」 | 中国労災病院 具志陽宏 インストラクター6名 | 呉医療センター 技術研修センター | 8/25 | 22 | 10 | 12 | 0 | |
| | テーマ「認知症を知り少しでも苦手意識を克服して実践に繋げよう」 | 済生会呉病院 佐崎美衣子 | 呉共済病院 | 11/25 | 22 | 19 | 3 | | |
| | テーマ「心理的安全性を考える」 | (株) ユアーズブレーン 山根弘和 | | 10/21 | 17 | 17 | | | |
| 呉支部 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 島の病院おおたに 済生会呉病院 3) 看護研究発表会：サポート演題 2題 一般演題 3題 | 広島文化学園大学 前信由美 広島文化学園大学 前信由美 講評： 広島文化学園大学 前信由美 座長： 呉共済病院 山本京子 | 広島文化学園大学 呉共済病院 | 7/12 2/3 | 4 36 | 4 36 | | | |
| | ・院内デイケアを通しての看護師の認知症ケアへの意識の変化 済生会呉病院 寺戸美希 ・A病院の看護師の申し送り廃止に向けての課題～申し送り意識調査の年数別分析から～ 島の病院おおたに 重田めぐみ ・新人看護師教育における指導方法の検討 中国労災病院 大西彩花 ・看護師の超音波膀胱尿量測定器使用に関する実態調査 呉共済病院 高橋紗依子 ・上部ESD施行後の口渴感に対するレモン水を用いた含嗽の有効性の検討 呉医療センター 川下絢加 | | | | | | | | |
| 三原・尾道支部 | テーマ「アンガーマネジメント」 | サンライズマリン瀬戸 久保田あけみ | 本郷生涯学習センター | 4/8 | 26 | 26 | | | |
| | テーマ「救急蘇生研修（初級コース）」 | 尾道市立市民病院 江木美峰 インストラクター4名 | 尾道市立市民病院 | 9/9 | 16 | 15 | 1 | | |
| | テーマ「せん妄・認知症について」 | 公立世羅中央病院 保永和範 | サン・シープラザ | 8/5 | 50 | 42 | 8 | | |
| | テーマ「異常の早期発見・呼吸数測定の必要性」 | 尾道市立市民病院 山本昌弘 | しまなみ交流館 | 11/4 | 41 | 26 | 15 | | |
| 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 サポート施設なし 3) 看護研究発表会：一般演題6題 ・看護師の内服管理方法の判断における認識変化 ～内服管理選択MAPを導入して～ | 講評： 県立広島大学 川野綾 | 尾道市立市民病院 | 2/24 | 24 | 2 | 2 | | |

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講師者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|---------|---------------------|---|--|------------------|--------------|---------|---------|-------------|-------------|
| | | | | | | 総 数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会 員 | 非 会 員 | 他 職 種 |
| | 3 | 尾道市立市民病院 赤尾緋奈子 ・ A病棟でのセル看護提供方式®導入による効果 ～業務量調査から見えてきたベッドサイドケア業務 時間の変化～ 三原城町病院 高橋伸枝 ・ 当院の胃内残留マニュアルの作成 JA 尾道総合病院 貝原恵子 ・ 患者中心の看護の質向上を目指して ～看護師の動線に着目した取り組み～ 公立みつぎ総合病院 竹中このみ ・ 脊椎損傷患者への看護師の関わり ～特殊疾患病棟における看護介入の一症例～ 松尾内科病院 高田一彦 ・ 高齢患者の「できるADL」を「しているADL」へ ～手術後高齢患者の在宅復帰へむけて～ 公立世羅中央病院 日高義太 | 座長： 尾道市医師会看護専門 学校 浮田秀子 | | | | | | |
| | | テーマ「摂食・嚥下障害のある患者のケア」 | JA 尾道総合病院 岡本奈緒 | サン・シープラザ | 10/7 | 33 | 21 | 12 | |
| | | テーマ「救急蘇生（初級コース）」 | 福山市民病院 渡辺賢一 | 福山市民病院 | 6/3 | 30 | 15 | 15 | |
| 1 | テーマ「アンガーマネジメント」 | サンライズマリン瀬戸 久保田あけみ | 中国中央病院 | 8/19 | 41 | 38 | 3 | | |
| | テーマ「災害支援の実際について」 | ピースウィンズジャパン 佐々木綾菜 | 福山市民病院 ハイブリット | 4/15 | 51 | 51 | | | |
| | テーマ「『認知症』は『寄り添う看護』」 | 日本鋼管福山病院 中島友美 | 福山市民病院 ハイブリット | 11/11 | 44 | 41 | 3 | | |
| 福山・府中支部 | 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 寺岡記念病院 3) 看護研究発表会：サポート演題 1題 一般演題 3題 ・ 新型コロナウイルス感染症病棟勤務看護スタッフのメンタル ヘルス改善への取り組み 寺岡記念病院 住清悦子 ・ コロナ禍における看護師の役割変化について ～回復期リハビリテーション病棟での業務変化と多 職種協働～ 水永リハビリテーション病院 中川悠 ・ 手術室の安全確保 ～マーキング実施率100%を目指して～ 脳神経センター大田記念病院 野地本一志 ・ 訪問看護介入でⅢ度熱傷が治癒に至った80代男性 の一症例 いずみ訪問看護ステーション 衛藤真由子 | 福山平成大学 後藤満津子 福山平成大学 後藤満津子 講評： 福山平成大学 後藤満津子 座長： 福山循環器病院 岩下敦子 | 福山市民病院 福山平成大学 | 6/17 2/17 | 2 33 | 2 33 | | |
| | | テーマ「福山・府中圏域の医療提供状況と将来推計か ら2025年以降を考える」 | 富山大学附属病院 小林大介 | | 11/9 | 1 | 1 | | |
| | 3 | 福山医学祭 各職種による研究発表会 | 座長： 山陽病院 岡田久美 中国中央病院 三浦美保 寺岡記念病院 近藤高裕 | 福山医師会館 | 11/12 | 7 | 7 | | |

| 支部名 | 区分 | 研修テーマ | 講師・座長・ 講評者 | 場所 | 実施日 | 参加者数 | | | |
|---------|----|--|---|---------------------------|--------------|----------|----------|-------------|-------------|
| | | | | | | 総 数 | 内訳 | | |
| | | | | | | | 会 員 | 非 会 員 | 他 職 種 |
| | | テーマ「笑う門にはいい介護～虐待が抱擁に代わる時～」 | 福山市民病院 森原笑美子 | 広島県民文化センターふくやま | 1/23 | 1 | 1 | | |
| | | テーマ「医療現場における働き方改革について」 | 広島大学大学院 志馬伸朗 | 福山ニューキャッスルホテル | 2/18 | 1 | 1 | | |
| | | テーマ「優しさを伝えるケア技法～ユマニチュード～」 | 山陽病院 藤井美江 池添公恵 | 福山市役所 | 2/24 | 1 | 1 | | |
| | 1 | テーマ「救急蘇生（初級コース）BLSの理論と実践」 | 庄原赤十字病院 富吉めぐみ インストラクター1名 | 庄原赤十字病院 | 7/8 | 14 | 14 | | |
| | | | 市立三次中央病院 片山香 インストラクター2名 | 市立三次中央病院 | 7/29 | 16 | 16 | | |
| | | テーマ「2040年に向けての県北の看護を考える～コロナ禍を終えての取り組み～」【シンポジウム】 | シンポジスト | 庄原赤十字病院 | 9/16 | 43 | 43 | | |
| | | テーマ「ストレスマネジメント」 | 日本赤十字広島看護大学 戸村道子 | 広島県立三次看護専門学校 | 12/9 | 44 | 43 | 1 | |
| 三次・庄原支部 | 2 | 看護研究サポート 1) 講義 2) 助言 庄原赤十字病院 三次地区医療センター 3) 看護研究発表会：サポート演題 2題 一般演題 4題 ・高齢心不全患者の内服自己管理の実態調査 庄原赤十字病院 鈴木翔太 ・回復期リハビリテーション病棟における申し送り時間短縮に向けた取り組みについて 三次地区医療センター 吉川陽子 ・AYA世代のがん患者が終焉までに揺れ動く心理過程の一考察 庄原赤十字病院 甲坂阿佑美 ・災害机上シミュレーションから明らかになった巨大地震に備える手術室の課題 市立三次中央病院 西陽子 ・ポジティブマネジメントによる係長会の一元化への取り組み ～全看護部署と外来の一元化体制を整えた軌跡～ 庄原赤十字病院 西野沙緒里 ・自然災害時の情報共有と速やかな支援開始を目指して～訪問看護、市内4ステーションのBCP連携～ 庄原赤十字訪問看護ステーション 安部弘美 | 県立広島大学 俵志江 県立広島大学 俵志江 講評： 県立広島大学 俵志江 座長： 広島県立三次看護専門学校 小河朋子 | 三次地区医療センター 市立三次中央病院 | 6/10 2/23 | 7 39 | 7 37 | | 2 |
| | 3 | テーマ「中山間地域におけるこれからの地域包括ケア」 地域の中でその人らしく生きる地域ケア会議 | 兵庫県立大学大学院 小山秀夫 埼玉県立大学大学院 川越雅弘 | 庄原グランドホテル みよしまちづくりセンター | 7/8 1/13 | 89 78 | 12 16 | | 77 62 |

V 資料

1. 令和5年度教育研修の企画、運営に係った委員会・事業部署（*印は受託研修）

| 研 修 会 | | 企画、運営に係った 委員会・事業部署 | | |
|-----------------------------|---|------------------------|----------------------------------|--|
| 新人研修 | 1) 新人看護職員の看護実践に関する基本的な知識、技術、態度に関する研修 *新人ナース集合研修 *新人助産師集合研修 | 看護生涯教育・研究センター継続教育部 | | |
| | 2) *卒後2~3年目を対象とした集合研修 | | | |
| ジェネラリスト研修 | 1) 臨床の課題解決を目的とした研修 *病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 | 事業局事業部 | | |
| | 2) 看護専門職としての専門能力の開発に関する研修 ・災害支援ナース養成研修 | | | |
| | 3) 本会の重点事項等関連研修 | | | |
| スペシャリスト研修 | 認定看護師研修会 | | | |
| 看護管理者研修 | 1) 看護管理能力の向上を意図した研修 日本看護協会主催 医療安全管理者養成研修（集合研修） | 看護生涯教育・研究センター継続教育部 | | |
| | | | | |
| 看護教育者研修 | 1) 施設内教育担当者に関する研修 *広島県専任教員継続研修 *広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 *広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会[特定分野] *看護職員認知症対応力向上研修 *シミュレーション研修のための指導者育成プログラム 訪問看護師指導者育成研修 | 事業局事業部 | | |
| | 2) 新人教育担当者に関する研修 | | *研修責任者研修 | |
| | | | *教育担当者研修 | |
| | | | *実地指導者研修 | |
| | 認定看護管理者教育課程 | | ファーストレベル（第1期、第2期） | 認定看護管理者教育課程 運営委員会 看護生涯教育・研究センター認定教育部 |
| | | | セカンドレベル | |
| | | | サードレベル | |
| ファーストレベルフォローアップ研修会（第1期、第2期） | | | | |
| セカンドレベルフォローアップ研修会 | | | | |
| 職能団体としての研修等 | 1) 職能研究会 | 地域保健・産業保健フォーラム | 保健師職能委員会 | |
| | | 保健師職能研究会 | 助産師職能委員会 | |
| | | 助産師職能研究会 | 看護師職能委員会 | |
| | | 看護師職能研究会 | 保健師職能委員会 助産師職能委員会 看護師職能委員会 | |
| | | 三職能合同研究会 | 事業局事業部 | |
| | 2) 組織強化研修 | リスクマネージャー意見交換会 | 看護生涯教育・研究センター認定教育部 | |
| | | 看護管理者研究会等 施設代表者等研修会 | 事業局事業部 | |
| | 3) 准看護師研修会 | | 看護師職能委員会 | |
| | 4) *看護職員復職支援研修他 | 看護職員復職支援研修 | ナースセンター | |
| | | プラチナナース支援研修会 | 事業局事業部 | |

2. 令和5年度生涯教育研修実施状況

(単位：人)

| 研修No. | 研修会名 | 研修方法 | 開催日・開催期間 | 定員 | 申込者数 | 選考者数 (受験決定) | 修了者数 (受講証明書) | 受講者数 | 受講者内訳 | | | | | | 定員充足率 (申込者数/定員) | 受講率 (受講者数/定員) |
|-------|------|------|----------|----|------|----------------|-----------------|------|-------|-----|-----|------|--------|-------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | | | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | その他・不明 | 非会員 (再掲) | | |

分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

<① 新人研修-1) 新人看護職員の看護実践に関する基本的な知識、技術、態度に関する研修>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-------|-----------------------|-----|-----|-----|---|-----|---|----|-----|-----|---|---|------|-----|
| 1 | ①看護専門職としてのキャリアアップ ②看護専門職として必要な基本姿勢と態度 ③患者の理解と患者・家族との人間関係づくり ④チーム医療の構成員としての役割・心構え | オンライン | 5/26 | 100 | 85 | 85 | - | 82 | 0 | 0 | 68 | 14 | 0 | - | 85% | 82% |
| 2 | 医療安全管理/情報管理 | オンライン | 6/2 | 100 | 68 | 68 | - | 68 | 0 | 0 | 56 | 12 | 0 | - | 68% | 68% |
| 3 | 新人ナース集合研修①看護における倫理的行動②観察と記録 准看護師対象 | 集合 | 6/4 | 70 | 31 | 31 | - | 24 | 0 | 0 | 0 | 24 | 0 | - | 44% | 34% |
| 4-1 | 新人ナース集合研修③看護実践に活かす フィジカルアセスメント(広島) | 集合 | 6/13 ~ 16、 11/9、10 | 120 | 101 | 101 | - | 92 | 0 | 0 | 71 | 21 | 0 | - | 84% | 77% |
| 4-2 | 新人ナース集合研修③看護実践に活かす フィジカルアセスメント(福山) | 集合 | 7/29、8/26、 10/28 | 60 | 56 | 56 | - | 49 | 0 | 0 | 39 | 10 | 0 | - | 93% | 82% |
| 4-3 | 新人ナース集合研修③看護実践に活かす フィジカルアセスメント(庄原) | 集合 | 6/3 | 20 | 18 | 18 | - | 18 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | - | 90% | 90% |
| 5 | 新人ナース集合研修④救急蘇生 | 集合 | 7/13、14 | 100 | 93 | 93 | - | 81 | 0 | 0 | 59 | 22 | 0 | - | 93% | 81% |
| 6 | 新人ナース集合研修⑤-1 自己の学習課題の発見と取組み 保健師・助産師・看護師対象 | 集合 | R6. 2/5 | 70 | 70 | 70 | - | 62 | 0 | 0 | 62 | 0 | 0 | - | 100% | 89% |
| 7 | 新人ナース集合研修⑤-2 自己の学習課題の発見と取組み 准看護師対象 | 集合 | R6. 2/9 | 40 | 18 | 18 | - | 16 | 0 | 0 | 0 | 16 | 0 | - | 45% | 40% |
| 8 | 新人助産師集合研修①助産師の役割と使命 ②新人助産師の交流 | 集合 | 9/10 | 20 | 10 | 10 | - | 9 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | - | 50% | 45% |
| 9 | 新人助産師集合研修③広島県の周産期医療の動向 ④分娩監視装置の装着と判読 | 集合 | 10/7 | 20 | 11 | 11 | - | 10 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | - | 55% | 50% |
| 10 | 新人助産師集合研修⑤分娩期のアセスメントとケア | 集合 | 10/28 | 20 | 16 | 16 | - | 14 | 0 | 14 | 0 | 0 | 0 | - | 80% | 70% |
| 11 | 新人助産師集合研修⑥新生児のフィジカルアセスメント ⑦新生児胎外適応の促進 | 集合 | 11/8 | 20 | 16 | 16 | - | 15 | 0 | 15 | 0 | 0 | 0 | - | 80% | 75% |
| 12 | 新人助産師集合研修⑧母乳育児支援 | 集合 | 11/22 | 20 | 16 | 16 | - | 10 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | - | 80% | 50% |
| 13 | 新人助産師集合研修⑨ハイリスク妊産婦の管理 | 集合 | 12/2 | 20 | 17 | 17 | - | 11 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | - | 85% | 55% |
| 計 | | | | 800 | 626 | 626 | - | 561 | 0 | 69 | 373 | 119 | 0 | - | 78% | 70% |

<② <①新人研修-2) 卒後2~3年を対象とした集合研修>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------------|----|---------|-----|-----|-----|---|-----|---|---|-----|----|---|---|------|------|
| 14-1 | イキイキと看護を続けるための仕事術 第1回(広島) | 集合 | 6/29 | 70 | 86 | 86 | - | 80 | 0 | 0 | 68 | 12 | 0 | - | 123% | 114% |
| 14-2 | イキイキと看護を続けるための仕事術 第1回(福山) | 集合 | 7/3 | 30 | 28 | 28 | - | 26 | 0 | 0 | 23 | 3 | 0 | - | 93% | 87% |
| 14-3 | イキイキと看護を続けるための仕事術 第2回(広島) | 集合 | 11/3 | 70 | 86 | 86 | - | 75 | 0 | 0 | 64 | 11 | 0 | - | 123% | 107% |
| 14-4 | イキイキと看護を続けるための仕事術 第2回(福山) | 集合 | 10/27 | 30 | 28 | 28 | - | 24 | 0 | 0 | 21 | 3 | 0 | - | 93% | 80% |
| 15 | 判断力・対応力アップを目指すフィジカルアセスメント | 集合 | R6. 2/2 | 20 | 54 | 30 | - | 29 | 0 | 0 | 27 | 2 | 0 | - | 270% | 145% |
| 計 | | | | 220 | 282 | 258 | - | 234 | 0 | 0 | 203 | 31 | 0 | 0 | 128% | 106% |

<②ジェネラリスト研修-1) 臨床の課題解決を目的とした研修- (1) 健やかに生まれ育つことへの支援>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------------|----|-------|-----|----|----|---|----|---|---|----|---|---|---|------|------|
| 16 | こどものフィジカルアセスメント | 集合 | 9/15 | 50 | 55 | 55 | - | 50 | 1 | 1 | 47 | 1 | 0 | 0 | 110% | 100% |
| 17 | 未来のこどもと家族のためのプレコンセプションケア | 集合 | 12/16 | 50 | 25 | 25 | - | 20 | 0 | 8 | 11 | 1 | 0 | 3 | 50% | 40% |
| 計 | | | | 100 | 80 | 80 | - | 70 | 1 | 9 | 58 | 0 | 0 | 3 | 80% | 70% |

(単位：人)

| 研修 No. | 研修会名 | 研修方法 | 開催日・開催期間 | 定員 | 申込 者数 | 選考 者数 (受講決定) | 修了 者数 (受講証明 書) | 受講 者数 | 受講者内訳 | | | | | | 定員 充足率 (申込者数 /定員) | 受講率 (受講者数 /定員) |
|-----------|------|------|----------|----|----------|--------------------|-------------------------|----------|-------|-----|-----|------|------------|-----------------|----------------------------|----------------------|
| | | | | | | | | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | その他 ・不明 | 非会員 (再 掲) | | |

<②ジェネラリスト研修-1) 臨床の課題解決を目的とした研修- (2) 健康に暮らすことへの支援>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------------------------------|-------|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|-----|----|----|---|------|------|
| 18 | 高齢者看護の基礎知識 | 集合 | 10/3 | 70 | 103 | 103 | - | 81 | 1 | 1 | 64 | 15 | | 4 | 147% | 116% |
| 19-1 | 病院勤務以外の看護師等認知症対応力 向上研修(前期) | オンライン | 7/30 | 80 | 157 | 156 | 132 | 134 | 4 | 0 | 102 | 13 | 15 | - | 196% | 168% |
| 19-2 | 病院勤務以外の看護師等認知症対応力 向上研修(後期) | オンライン | R6.1/21 | 80 | 69 | 69 | 65 | 65 | 0 | 0 | 55 | 5 | 5 | - | 86% | 81% |
| 20 | 禁煙支援ナース研修会 | 集合 | 7/5 | 50 | 35 | 35 | - | 33 | 1 | 0 | 29 | 3 | | 4 | 70% | 66% |
| 21 | 糖尿病重症化予防(フットケア)研修 会 | 集合 | 7/7、7/8、10/9 | 30 | 56 | 30 | 30 | 30 | 0 | 1 | 29 | 0 | 0 | 0 | 187% | 100% |
| 22 | こころとからだを癒しケアに生かすア ロマセラピー | 集合 | 11/23 | 70 | 41 | - | - | 36 | 1 | 2 | 31 | 2 | 0 | 0 | 59% | 51% |
| 計 | | | | 380 | 461 | 393 | 227 | 379 | 7 | 4 | 310 | 38 | 20 | 8 | 121% | 100% |

<②ジェネラリスト研修-1) 臨床の課題解決を目的とした研修- (3) 緊急・重症な状態から回復することへの支援>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------------------------|-------|-------|-----|-----|-----|---|-----|---|---|-----|----|---|----|------|------|
| 23 | 急変時のアセスメントと対応【基礎編】 | オンライン | 7/19 | 100 | 210 | 209 | - | 182 | 0 | 2 | 166 | 14 | 0 | 12 | 210% | 182% |
| 24 | 急変時のアセスメントと対応【ステッ プアップ編】 | 集合 | 10/31 | 70 | 66 | 66 | - | 61 | 0 | 0 | 56 | 5 | 0 | 4 | 94% | 87% |
| 25 | 初心者のための人工呼吸器ケア | 集合 | 8/31 | 70 | 150 | 122 | - | 114 | 0 | 1 | 104 | 9 | 0 | 4 | 214% | 163% |
| 計 | | | | 240 | 426 | 397 | - | 357 | 0 | 3 | 326 | 28 | 0 | 20 | 178% | 149% |

<②ジェネラリスト研修-1) 臨床の課題解決を目的とした研修- (4) 住み慣れた地域に戻ることに支援>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------------------|----|---------|-----|-----|-----|---|-----|---|---|-----|----|---|----|------|------|
| 26 | 在宅におけるスキンケア | 集合 | R6.1/25 | 50 | 75 | 75 | - | 62 | 0 | 0 | 59 | 3 | 0 | 10 | 150% | 124% |
| 27 | 口腔ケアのプロから学ぶオーラルプレ イル予防 | 集合 | 7/21 | 50 | 115 | 115 | - | 103 | 4 | | 89 | 10 | | 9 | 230% | 206% |
| 計 | | | | 100 | 190 | 190 | - | 165 | 4 | 0 | 148 | 13 | 0 | 19 | 190% | 165% |

<②ジェネラリスト研修-1) 臨床の課題解決を目的とした研修- (5) 疾病・障がいとともに暮らすことへの支援>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------------------------------|------------|----------|-----|------|------|-----|-----|---|---|-----|----|---|----|------|------|
| 28 | 脳卒中看護の理解と実践 | オンライン | 7/20 | 100 | 92 | 92 | - | 78 | 1 | 0 | 73 | 4 | 0 | 9 | 92% | 78% |
| 29 | 心不全患者の理解と看護ケア【基礎編】 | ハイブリッ ド | 9/22 | 100 | 149 | 149 | - | 131 | 1 | 0 | 127 | 3 | 0 | 12 | 149% | 131% |
| 30 | 慢性心不全患者の理解と看護ケア【ス テップアップ編】 | オンライン | 10/17 | 100 | 100 | 100 | - | 87 | 0 | 0 | 85 | 2 | 0 | 10 | 100% | 87% |
| 31 | セルフケア支援に活かす慢性腎臓病の 理解と看護 | オンライン | 10/14 | 100 | 80 | 80 | - | 62 | 1 | 1 | 57 | 3 | 0 | 6 | 80% | 62% |
| 32 | がん化学療法を受ける患者の看護ケア | 集合 | 6/22 | 100 | 84 | 84 | - | 72 | 1 | 2 | 69 | 0 | 0 | 4 | 84% | 72% |
| 33 | 栄養管理の基礎知識 | 集合 | 8/7 | 70 | 155 | 155 | - | 136 | 1 | 0 | 124 | 11 | 0 | 7 | 221% | 194% |
| 34-1 | 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 *DVD | 集合 | 7/10、11 | 70 | 86 | 86 | 76 | 76 | 0 | 0 | 75 | 1 | 0 | 7 | 123% | 109% |
| 34-2 | 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 *DVD | 集合 | 9/5、6 | 70 | 149 | 149 | 132 | 133 | 0 | 1 | 129 | 3 | 0 | 19 | 213% | 190% |
| 34-3 | 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (福山)*DVD | 集合 | 10/19、20 | 24 | 57 | 56 | 50 | 50 | 0 | 0 | 48 | 2 | 0 | 4 | 238% | 208% |
| 35 | 発達障害を持つ人の理解と対応 | 集合 | 10/4 | 70 | 80 | 80 | - | 68 | 0 | 0 | 63 | 5 | 0 | 1 | 114% | 97% |
| 計 | | | | 804 | 1032 | 1031 | 258 | 893 | 5 | 4 | 850 | 34 | 0 | 79 | 128% | 111% |

<②ジェネラリスト研修-1) 臨床の課題解決を目的とした研修- (6) 穏やかな死を迎えることへの支援>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------------------|-------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|----|------|------|
| 36 | ACP(アドバンス・ケア・プランニング) | オンライン | 7/28 | 100 | 147 | 147 | - | 129 | 0 | 0 | 126 | 3 | 0 | 5 | 147% | 129% |
| 37 | 緩和ケア看護師研修 | オンライン | 9/26、27 | 100 | 83 | 83 | 74 | 77 | 0 | 1 | 73 | 3 | 0 | 3 | 83% | 77% |
| 38 | 非がん患者の緩和ケア | 集合 | 9/14 | 70 | 108 | 108 | - | 89 | 1 | 0 | 87 | 1 | 0 | 2 | 154% | 127% |
| 39 | ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育 プログラム | 集合 | 8/26、27 | 40 | 60 | 60 | 54 | 54 | 1 | 0 | 53 | 0 | 0 | 0 | 150% | 135% |
| 計 | | | | 310 | 398 | 398 | 128 | 349 | 2 | 1 | 339 | 7 | 0 | 10 | 128% | 113% |

(単位:人)

| 研修 No. | 研修会名 | 研修方法 | 開催日・開催期間 | 定員 | 申込 者数 | 選考 者数 (受講決定) | 修了 者数 (受講証明 書) | 受講 者数 | 受講者内訳 | | | | | | 定員 充足率 (申込者数 /定員) | 受講率 (受講者数 /定員) |
|-----------|------|------|----------|----|----------|--------------------|-------------------------|----------|-------|-----|-----|------|------------|-------------|----------------------------|----------------------|
| | | | | | | | | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | その他 ・不明 | 非会員 (再掲) | | |

＜②ジェネラリスト研修-2) 看護専門職としての専門能力の開発に関する研修＞

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------------------------------------|------------|-----------------|------|------|------|-----|------|---|----|------|----|---|----|------|------|
| 40 | 看護研究における倫理と研究の進め方 | ハイブリッド | 5/28 | 60 | 49 | 49 | 38 | 38 | 0 | 1 | 35 | 2 | 0 | 2 | 82% | 63% |
| 41 | 看護研究入門Ⅰ・Ⅱ | 集合 | 11/13、14 | 70 | 148 | 148 | - | 129 | 0 | 0 | 126 | 3 | 0 | 6 | 211% | 184% |
| 42 | シリーズ看護研究 | 集合 | 6/17～R6.3/2 | 16 | 7 | 7 | 7 | 7 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 44% | 44% |
| 43 | 看護における臨床推論 ～直感から根拠に基づく実践へ～ | 集合 | 6/19 | 70 | 102 | 102 | - | 83 | 0 | 1 | 79 | 3 | 0 | 0 | 146% | 119% |
| 44-1 | 感染管理【基礎編】 | オンライン | 7/12、13 | 100 | 105 | 105 | - | 95 | 0 | 0 | 92 | 3 | 0 | 8 | 105% | 95% |
| 44-2 | 感染管理【基礎編】 | オンライン | 8/3、4 | 100 | 89 | 89 | - | 85 | 0 | 0 | 84 | 1 | 0 | 6 | 89% | 85% |
| 45 | 感染管理【実践編】 | オンライン・集合 | 11/27、28、12/4、5 | 70 | 103 | 84 | 75 | 79 | 0 | 0 | 75 | 4 | 0 | 0 | 147% | 113% |
| 46 | 心電図の基礎知識 | ハイブリッド | 10/26 | 100 | 186 | 186 | - | 163 | 0 | 1 | 150 | 12 | 0 | 13 | 186% | 163% |
| 47 | 褥瘡予防と管理 | 集合 | 8/8、9、10 | 30 | 107 | 40 | 39 | 39 | 0 | 0 | 37 | 2 | 0 | 0 | 357% | 130% |
| 48 | 基礎から学ぶリスクマネジメント | ハイブリッド | 8/5 | 100 | 122 | 122 | - | 112 | 1 | 1 | 104 | 6 | 0 | 8 | 122% | 112% |
| 49 | ひとと組織の成長を促す看護における リフレクション | 集合 | 10/28 | 30 | 85 | 33 | - | 32 | 0 | 2 | 30 | 0 | 0 | 1 | 283% | 107% |
| 50-1 | ファシリテーションスキル (広島) | 集合 | 6/25 | 60 | 66 | 66 | - | 60 | 0 | 1 | 59 | 0 | 0 | 1 | 110% | 100% |
| 50-2 | ファシリテーションスキル (福山) | 集合 | 7/30 | 24 | 28 | 28 | - | 24 | 3 | 0 | 21 | 0 | 0 | 2 | 117% | 100% |
| 51 | 看護記録の基礎とポイント | ハイブリッド | 8/11 | 100 | 138 | 138 | - | 122 | 0 | 2 | 111 | 9 | 0 | 10 | 138% | 122% |
| 52 | 訪問看護における記録の実際 ～法令遵守と質の高い看護のために～ | オンライン | 11/21 | 50 | 42 | 42 | - | 35 | 0 | 0 | 35 | 0 | 0 | 2 | 84% | 70% |
| 53 | 「訪問看護 e ラーニング」を活用した 訪問看護師養成研修 | e ラーニング+集合 | 5/19～12/9 | 20 | 42 | 23 | 17 | 22 | 0 | 1 | 21 | 0 | 0 | 1 | 210% | 110% |
| 54-1 | (日本看護協会主催) 災害支援ナース 養成研修<第1期> | オンデマンド+集合 | R6.1/22、1/23 | 70 | 63 | 63 | 58 | 59 | 0 | 2 | 57 | 0 | 0 | - | 90% | 84% |
| 54-2 | (日本看護協会主催) 災害支援ナース 養成研修<第2期> | オンデマンド+集合 | R6.2/6、2/7 | 70 | 76 | 76 | 71 | 71 | 0 | 1 | 70 | 0 | 0 | - | 109% | 101% |
| 計 | | | | 1140 | 1558 | 1401 | 305 | 1255 | 4 | 13 | 1193 | 45 | 0 | 60 | 137% | 110% |

(*:一部再履修者を含む)

＜②ジェネラリスト研修-3) 本会の重点事項等関連研修＞

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------|----------|------------|-----|-----|-----|----|-----|---|---|-----|---|---|----|------|------|
| 57 | 病棟ナースができる退院支援【基礎編】 | オンライン | 8/25 | 100 | 166 | 166 | - | 154 | 0 | 4 | 148 | 2 | 0 | 11 | 166% | 154% |
| 58 | 退院調整看護師養成研修 | 集合・オンライン | 8/25～11/11 | 24 | 35 | 24 | 24 | 24 | 0 | 0 | 24 | 0 | 0 | 0 | 146% | 100% |
| 計 | | | | 124 | 201 | 190 | 24 | 178 | 0 | 4 | 172 | 2 | 0 | 11 | 162% | 144% |

＜③スペシャリスト研修＞

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------|----|------|----|-----|-----|----|----|---|---|----|---|---|---|------|------|
| 59 | 認定看護師研修会 | 集合 | 12/3 | 70 | 111 | 111 | 97 | 97 | 0 | 2 | 95 | 0 | 0 | 2 | 159% | 139% |
| 計 | | | | 70 | 111 | 111 | 97 | 97 | 0 | 2 | 95 | 0 | 0 | 2 | 159% | 139% |

分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

＜看護管理者研修-1) 看護管理能力の向上を意図した研修＞

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---|------------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|----|------|------|
| 60 | ポジティブにキャリアデザインを描く | オンライン | 10/10 | 100 | 54 | 54 | - | 44 | 1 | 0 | 43 | 0 | 0 | 4 | 54% | 44% |
| 61-1 | 看護マネジメントの基礎 (広島) | 集合 | 12/15、20、21 | 50 | 44 | 44 | 40 | 41 | 0 | 0 | 41 | 0 | 0 | 1 | 88% | 82% |
| 61-2 | 看護マネジメントの基礎 (福山) | 集合 | 8/8、9、10 | 24 | 23 | 23 | 21 | 23 | 0 | 1 | 22 | 0 | 0 | 1 | 96% | 96% |
| 62 | 看護マネジメントリフレクション | 集合 | R6.2/17 | 40 | 42 | 41 | - | 29 | 0 | 2 | 27 | 0 | 0 | 0 | 105% | 73% |
| 63-1 | (JNA 提供 e ラーニング) 看護補助者の 活用推進のための看護管理者研修 (広島) | e ラーニング+集合 | 12/23 | 70 | 73 | 73 | 69 | 71 | 0 | 1 | 70 | 0 | 0 | 4 | 104% | 101% |
| 63-2 | (JNA 提供 e ラーニング) 看護補助者の 活用推進のための看護管理者研修 (福山) | e ラーニング+集合 | 12/16 | 30 | 30 | 29 | 29 | 29 | 0 | 1 | 28 | 0 | 0 | 1 | 100% | 97% |
| 計 | | | | 314 | 266 | 264 | 159 | 237 | 1 | 5 | 231 | 0 | 0 | 11 | 85% | 75% |

＜看護管理者研修-1) (日本看護協会主催) 医療安全管理者養成研修＞

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------------------|----|-------|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | 医療安全管理者養成研修の集合研修 | 演習 | 11/17 | 70 | 57 | 57 | 54 | 54 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | | | | 70 | 57 | 57 | 54 | 54 | - | - | - | - | - | - | - | - |

(単位:人)

| 研修 No. | 研修会名 | 研修方法 | 開催日・開催期間 | 定員 | 申込 者数 | 選考 者数 (受講決定) | 修了 者数 (受講証明 書) | 受講 者数 | 受講者内訳 | | | | | | 定員 充足率 (申込者数 /定員) | 受講率 (受講者数 /定員) |
|-----------|------|------|----------|----|----------|--------------------|-------------------------|----------|-------|-----|-----|------|------------|-------------|----------------------------|----------------------|
| | | | | | | | | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | その他 ・不明 | 非会員 (再掲) | | |

分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

<看護教育者研修-1) 施設内教育担当者に関する研修>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----------------------------|----|------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|---|------|------|
| 64 | 指導者のための救急蘇生 | 集合 | 6/27、28、 7/13or14 | 30 | 30 | 30 | 28 | 28 | 0 | 0 | 28 | 0 | 0 | 1 | 100% | 93% |
| 65 | 広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野) | 集合 | 8/16~8/25 | 40 | 32 | 32 | 30 | 30 | 4 | 0 | 26 | 0 | 0 | - | 80% | 75% |
| 66 | 広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 | 集合 | 9/11~11/2 | 40 | 29 | 29 | 29 | 29 | 0 | 0 | 29 | 0 | 0 | - | 73% | 73% |
| 67 | 広島県専任教員継続研修 ①新任教員研修 | 集合 | 11/18 | 20 | 19 | - | - | 16 | - | - | - | - | - | - | 95% | 80% |
| 67 | 広島県専任教員継続研修 ②新任教員研修 | 集合 | 12/16 | 20 | 20 | - | - | 15 | - | - | - | - | - | - | 100% | 75% |
| 67 | 広島県専任教員継続研修 ①中堅教員 | 集合 | R6.2/18 | 40 | 24 | - | - | 20 | - | - | - | - | - | - | 60% | 50% |
| 67 | 広島県専任教員継続研修 ②中堅教員 | 集合 | 8/2 | 40 | 19 | - | - | 17 | - | - | - | - | - | - | 48% | 43% |
| 67 | 広島県専任教員継続研修 ①トピックス研修 | 集合 | 9/3 | 70 | 100 | - | - | 88 | - | - | - | - | - | - | 143% | 126% |
| 67 | 広島県専任教員継続研修 ②トピックス研修 | 集合 | 9/30 | 70 | 84 | - | - | 71 | - | - | - | - | - | - | 120% | 101% |
| 67 | 広島県専任教員継続研修 実践力向上研修(第1回) | 集合 | R6.2/23 | 30 | 24 | - | - | 23 | - | - | - | - | - | - | 80% | 77% |
| 68-1 | 看護職員認知症対応力向上研修(広島) | 集合 | 9/9、10、11 | 50 | 85 | 56 | 56 | 56 | 0 | 0 | 56 | 0 | 0 | - | 170% | 112% |
| 68-2 | 看護職員認知症対応力向上研修(福山) | 集合 | 7/23、24、25 | 50 | 50 | 49 | 46 | 46 | 1 | 0 | 45 | 0 | 0 | - | 100% | 92% |
| 69 | シミュレーション研修のための指導者育成プログラム | 集合 | R6.2/3、4 | 20 | 9 | 9 | 9 | 9 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | - | 45% | 45% |
| - | 訪問看護師指導者育成研修 | 集合 | 12/16、R6.1/14、 2/10 | 30 | 32 | 30 | 24 | 26 | 0 | 0 | 26 | 0 | 0 | - | 140% | 73% |
| 計 | | | | 550 | 557 | 235 | 222 | 474 | 5 | 0 | 219 | 0 | 0 | 1 | 101% | 86% |

<看護教育者研修-2) 新人教育担当者に関する研修>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------------|----|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|---|------|------|
| 70-1 | 実地指導者研修(広島) | 集合 | R6.1/17、18、19 | 60 | 86 | 76 | 70 | 71 | 0 | 1 | 70 | 0 | 0 | - | 143% | 118% |
| 70-2 | 実地指導者研修(福山) | 集合 | 12/12、13、14 | 30 | 40 | 39 | 34 | 35 | 0 | 1 | 34 | 0 | 0 | - | 133% | 117% |
| 71-1 | 教育担当者研修(広島) | 集合 | R6.1/13、14、15 | 60 | 73 | 73 | 70 | 70 | 1 | 1 | 68 | 0 | 0 | - | 122% | 117% |
| 71-2 | 教育担当者研修(福山) | 集合 | 12/9、10、11 | 30 | 35 | 35 | 34 | 34 | 0 | 0 | 34 | 0 | 0 | - | 117% | 113% |
| 72 | 研修責任者研修 | 集合 | 10/13、14、15 | 50 | 60 | 26 | 23 | 23 | 0 | 1 | 22 | 0 | 0 | - | 120% | 46% |
| 計 | | | | 230 | 294 | 249 | 231 | 233 | 1 | 4 | 228 | 0 | 0 | - | 128% | 101% |

分類5 資格認定教育

<認定看護管理者教育課程他-1) 認定看護管理者教育課程>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|---|---|---|---|------|------|
| 73-1 | 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 第1期 | 集合 | 4/18~7/25 | 50 | 93 | 50 | 51 | *52 | - | - | - | - | - | 0 | 186% | 104 |
| 73-2 | 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 第2期 | 集合 | 11/2~R6.1/30 | 50 | 90 | 55 | 50 | 53 | - | - | - | - | - | 0 | 180% | 106% |
| 74-1 | 認定看護管理者教育課程ファーストレベル(第1期)修了者フォローアップ研修会 | 集合 | 10/19 | 67 | 52 | 52 | - | 50 | - | - | - | - | - | 0 | 78% | 75% |
| 74-2 | 認定看護管理者教育課程ファーストレベル(第2期)修了者フォローアップ研修会 | 集合 | R6.2/9 | 50 | 36 | 36 | - | 34 | - | - | - | - | - | 0 | 72% | 68% |
| 75 | 認定看護管理者教育課程セカンドレベル | 集合 | 8/1~12/12 | 50 | 54 | 54 | 50 | 51 | - | - | - | - | - | 0 | 108% | 102% |
| 76 | 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者フォローアップ研修会 | 集合 | R6.1/11 | 54 | 48 | 48 | - | 43 | - | - | - | - | - | 0 | 89% | 80% |
| 77 | 認定看護管理者教育課程サードレベル | 集合 | 6/16~12/8 | 25 | 38 | 27 | 27 | 27 | - | - | - | - | - | 0 | 152% | 108% |
| 計 | | | | 346 | 408 | 319 | 163 | 310 | 0 | - | - | - | - | 0 | 124% | 92% |

(*:一部再履修者を含む)

(単位:人)

| 研修 No. | 研修会名 | 研修方法 | 開催日・開催期間 | 定員 | 申込 者数 | 選考 者数 (受講決定) | 修了 者数 (受講証明 書) | 受講 者数 | 受講者内訳 | | | | | | 定員 充足率 (申込者数 /定員) | 受講率 (受講者数 /定員) |
|-----------|------|------|----------|----|----------|--------------------|-------------------------|----------|-------|-----|-----|------|------------|-----------------|----------------------------|----------------------|
| | | | | | | | | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | その他 ・不明 | 非会員 (再 掲) | | |

分類6 看護職能団体としての研修等

<職能団体としての研修-1) 職能研究会>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------|-------|--------|-----|-----|---|---|-----|----|----|-----|---|---|---|------|------|
| 78 | 地域保健・産業保健フォーラム | 集合 | 11/26 | 70 | 62 | - | - | 51 | 40 | 1 | 9 | 1 | 0 | - | 89% | 73% |
| 79 | 保健師職能研究会～健康危機管理に関する研修会～ | 集合 | 7/22 | 50 | 20 | - | - | 17 | 16 | 0 | 1 | 0 | 0 | - | 38% | 34% |
| 80 | 保健師職能研究会 | 集合 | 9/23 | 50 | 20 | - | - | 20 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 40% | 40% |
| 81 | 第1回助産師職能研究会 | 集合 | 7/1 | 40 | 14 | - | - | 11 | 0 | 10 | 1 | 0 | 0 | - | 35% | 28% |
| 82 | 第2回助産師職能研究会 | 集合 | 11/26 | 40 | 32 | - | - | 28 | 0 | 28 | 0 | 0 | 0 | - | 80% | 70% |
| 83 | 第1回看護師職能研究会 | オンライン | 9/23 | 70 | 16 | - | - | 15 | 1 | 2 | 11 | 1 | 0 | - | 23% | 21% |
| 84 | 第2回看護師職能研究会 | 集合 | 11/25 | 70 | 80 | - | - | 73 | 0 | 4 | 68 | 1 | 0 | - | 114% | 104% |
| 85 | 三職能合同研究会 | 集合 | R6.2/4 | 100 | 63 | - | - | 51 | 8 | 3 | 38 | 2 | 0 | - | 63% | 51% |
| 86 | 第1回リスクマネージャー意見交換会 | 集合 | 7/12 | 60 | 59 | - | - | 55 | 0 | 2 | 53 | 0 | 0 | - | 98% | 92% |
| 87 | 第2回リスクマネージャー意見交換会 | オンライン | 1/24 | 60 | 54 | - | - | 48 | 0 | 0 | 48 | 0 | 0 | - | 90% | 80% |
| 計 | | | | 610 | 420 | 0 | 0 | 369 | 85 | 50 | 229 | 5 | 0 | 0 | 67% | 59% |

<職能団体としての研修-2) 組織強化研修>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------|----------|---------------|------|-----|-----|---|------|---|---|---|---|---|---|------|-----|
| 88 | 中間看護管理者研究会Ⅰ | オンライン | 6/7、6/29、7/13 | 100 | 80 | 80 | - | 80 | - | - | - | - | - | - | 80% | 80% |
| 89 | 中間看護管理者研究会Ⅱ | オンライン | 11/2、12/21 | 100 | 103 | 103 | - | 93 | - | - | - | - | - | - | 103% | 97% |
| 90 | 看護管理者研究会Ⅰ | 集合+オンライン | 5/24、7/4 | 30 | 13 | 13 | - | 13 | - | - | - | - | - | - | 43% | 40% |
| 91 | 看護管理者研究会Ⅱ | オンライン | 8/20、11/21 | 70 | 70 | 70 | - | 70 | - | - | - | - | - | - | 100% | 96% |
| 92 | 看護管理者研究会【災害編】 | オンライン | 7/13 | 500 | 338 | - | - | *119 | - | - | - | - | - | - | 68% | - |
| 93 | 施設代表者等研修会(協会・連盟共催) | 集合 | 2/11 | 200 | 173 | - | - | 159 | - | - | - | - | - | - | 87% | 80% |
| 計 | | | | 1000 | 771 | - | - | 534 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80% | 83% |

(*:入室した施設数)

<職能団体としての研修-3) 准看護師研修会>

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------|-------|-----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|-----|
| 94 | 准看護師研修会 | オンライン | 7/8 | 40 | 9 | - | - | 9 | 0 | 0 | 1 | 6 | 2 | - | 23% | 23% |
| 計 | | | | 40 | 9 | - | - | 9 | 0 | 0 | 1 | 6 | 2 | - | 23% | 23% |

3. 令和5年度 県協会会長名で修了証を交付した研修会、講習会一覧

| 研修会・講習会名 | 過去の管理状況 | | R5年度 交付者数 | 計 |
|--|---------|----------|--------------|-------|
| | 年度 | 交付者 数 | | |
| 認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程 ⇒認定看護管理者ファーストレベル教育課程 (H24～R4) ⇒認定看護管理者教育課程ファーストレベル | H4～R4 | 3,344 | 101 | 3,445 |
| 認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程 ⇒認定看護管理者セカンドレベル教育課程 (H24～R4) ⇒認定看護管理者教育課程セカンドレベル | H11～R4 | 1,043 | 50 | 1,093 |
| 認定看護管理者制度サードレベル教育課程 ⇒認定看護管理者サードレベル教育課程 (H24～R4) ⇒認定看護管理者教育課程サードレベル | H21～R3 | 170 | 27 | 197 |
| シリーズ「感染管理」⇒感染管理【実践編】(H28～) | H16～R4 | 1,494 | 75 | 1,569 |
| シリーズ「看護マネジメントの基礎」⇒看護マネジメントの基礎 (H20～) | H19～R4 | 1,049 | 61 | 1,110 |
| シリーズ「褥瘡予防と管理」⇒褥瘡予防と管理 (H20～) ※不定期開催 | H19～R4 | 644 | 39 | 683 |
| 退院支援担当看護師研修会⇒退院調整看護師養成研修 (H26～) | H21～R4 | 363 | 24 | 387 |
| 研修責任者研修 | H22～R4 | 660 | 23 | 683 |
| 教育担当者研修 | H22～R4 | 1,215 | 104 | 1,319 |
| 実地指導者研修⇒実地指導者研修1 (H26～27) ⇒実地指導者研修 (H28～) | H23～R4 | 1,277 | 104 | 1,381 |
| 災害支援ナース育成研修 ⇒ R5 からプログラム変更 | H22～R4 | 676 | 0 | 676 |
| (日本看護協会主催) 災害支援ナース養成研修 (R5～) | — | — | 129 | 129 |
| 指導者のための救急蘇生 (H21年度から管理) | H21～R4 | 441 | 28 | 469 |
| 緩和ケア(エンド・オブ・ライフ・ケア)を学ぶ～ELNEC-J コアカリキュラム 看護師プログラム～⇒ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム (H28～) | H24～R4 | 424 | 54 | 478 |
| 看護補助者の活用推進研修会⇒看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会 (R2～) | H30～ R4 | 507 | 98 | 605 |
| 「訪問看護 e ラーニング」を活用した訪問看護師養成研修 | R1～R4 | 58 | 17 | 75 |
| 緩和ケア看護師研修 | R3～R4 | 118 | 74 | 192 |
| シミュレーション研修のための指導者育成研修 (R3) ⇒シミュレーション研修のための指導者育成プログラム (R4～) | R3～R4 | 30 | 9 | 39 |
| シリーズ看護研究 | H21～R3 | 395 | 7 | 402 |
| 糖尿病重症化予防(フットケア)研修会 | H24～R1 | 285 | 30 | 315 |
| 新卒等訪問看護指導者育成研修⇒訪問看護師指導者育成研修 (R5～) | H29～R1 | 64 | 24 | 88 |

4. 研修実施要領・研修内容（県委託研修、研修修了証等を交付した研修会）

No.3～7 新人ナース集合研修実施要領

- 1 目的：厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン【改訂版】」に示された到達目標の修得に向けて新人看護職員が看護基礎教育で学んだことを土台に臨床実践能力を高め、生涯にわたって自己研鑽することを目指すことができる。
- 2 目標：
 - 1) 臨床実践能力の中核となる『看護職員として必要な基本姿勢と態度』について理解し、職業人としての自覚を持ち行動できる。
 - 2) 看護実践の基礎となる『看護技術』について修得し、安全に看護を提供する。
 - 3) 看護実践における『管理的側面』を理解し、看護実践を統合する力を修得する。
 - 4) 主体的に自己研鑽を積むために自己学習能力を高める。
- 3 研修テーマ等

| 研修テーマ | 日数 (時間数) | 開催地 | 定員 |
|--|-------------|-----|-----|
| ① 看護における倫理的行動（准看護師対象） | 1日 | 広島 | 70 |
| ② 観察と記録（准看護師対象） | (5) | | |
| ③ 看護実践に活かすフィジカルアセスメント | 1日 (5) | 広島 | 120 |
| | | 福山 | 60 |
| | | 庄原 | 20 |
| ④ 救急蘇生 | 半日 (3) | 広島 | 100 |
| ⑤-1 自己の学習課題の発見と取り組み (保健師・助産師・看護師対象) | 1日 (5) | 広島 | 70 |
| ⑤-2 自己の学習課題の発見と取り組み (准看護師対象) | 1日 (5) | 広島 | 40 |

No.8～13 新人助産師集合研修実施要領

- 1 目的：厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン」に示された到達目標の修得に向けて、新人助産師が助産師教育課程で学んだことを土台に臨床実践能力を高め、安心・安全な助産ケアの提供、キャリアアップを目指すことができる。
- 2 目標：
 - 1) 助産に関連した看護実践の基礎となる『助産技術』について修得し、安全な助産ケアを提供する。
 - 2) 自己学習能力を高め、キャリアアップを図ることができる。
- 3 研修テーマ等

| 研修テーマ | 日数 (時間数) | 定員 | 開催場所 |
|-------------------|-------------|----|-----------|
| 1 助産師の役割と使命 | 1日 | 20 | 広島県看護協会会館 |
| 2 新人助産師の交流 | (5) | | |
| 3 広島県の周産期医療の動向 | 1日 | 20 | |
| 4 分娩監視装置の装着と判読 | (5) | | |
| 5 分娩期のアセスメントとケア | 1日 (5) | 20 | |
| 6 新生児のフィジカルアセスメント | 1日 | 20 | |
| 7 新生児胎外適応の促進 | (5) | | |
| 8 母乳育児支援 | 1日 (5) | 20 | |
| 9 ハイリスク妊産婦の管理 | 1日 (5) | 20 | |

No.14, 15 卒後2～3年目を対象とした集合研修実施要領

<イキイキと看護を続けるための仕事術>

1 目的

- 1) 卒後2～3年目の看護職員が、日常業務で忘れがちな看護の本質を再認識し、あるべき姿を明確にして看護実践ができる。
- 2) 看護場面を振り返ることで、自己の課題を明確にし、専門職としての自覚をもって看護実践できる。

2 研修テーマ等

| 研修テーマ | 研修内容 | 日数 (時間数) | 開催地 | 定員 |
|-------------------|---|-------------|-----|----|
| イキイキと看護を続けるための仕事術 | 【第1回】 卒後2～3年目の振り返り／「看護の面白さ」を実感し、日常業務への活用 | 1日 (5) | 広島 | 70 |
| | | | 福山 | 30 |
| | 【第2回】 コミュニケーションスキル／看護倫理等に関する課題解決 | 1日 (5) | 広島 | 70 |
| | | | 福山 | 30 |

<判断力・対応力アップを目指すフィジカルアセスメント>

1 目的

フィジカルアセスメントの基本を再学習し、シミュレータの事例をもとに、より実践的なスキルを学ぶ。

2 研修テーマ等

| 研修テーマ | 研修内容 | 日数 (時間数) | 開催地 | 定員 |
|---------------------------|------------------------------|-------------|-----|----|
| 判断力・対応力アップを目指すフィジカルアセスメント | フィジカルアセスメントに必要な知識（呼吸・循環等）／演習 | 1日 (5) | 広島 | 20 |

No.19 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 研修内容

| 時間 | 区分 | 研修内容 | 時間(分) | 講師名 |
|-----------------|-------------|--|----------|----------------|
| 9:30～ 10:10 | I 基本的知識 | <ul style="list-style-type: none"> 研修の目的・意義（認知症施策大綱の概要等） 認知症とは（症状や原因疾患、認知症の経過等） 認知症の危険因子・予防 | 40 講義 | 安田女子大学 小野一恵 |
| 10:10～ 11:40 | II 地域における実践 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの基本（本人視点の重視等） 認知症の人の意思決定の支援について 認知症の人とのコミュニケーションの基本 アセスメントのポイント BPSDへの対応の基本 家族・介護職員への支援 多職種連携の意義と実際 | 90 講義 | 安田女子大学 小野一恵 |
| 11:40～ 12:00 | III 社会資源等 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症施策の全体像 認知症の人への支援の仕組み 認知症の人への支援に関する主な制度等 | 20 講義 | 広島県健康福祉局担当者 |

No.68 看護職員認知症対応力向上研修 研修内容

| 開催日時 | テーマ | 時間数(分) | 研修方法 | 講師名 |
|-----------------------|----------------------------------|--------|----------|--|
| 1日目 9:30～ 16:40 | 基礎知識編 | 180 | 講義 | 【広島】ふたば病院 【福山】三原病院 高見 浩 小山田孝裕 |
| | 対応力向上編①（認知症） | 90 | | 【広島】市立三次中央病院 【福山】福山医療センター 富士原則子 久木田智之 |
| | 対応力向上編②（認知症） | 90 | | |
| 2日目 9:30～ 17:00 | 対応力向上編③（せん妄） | 60 | 講義 | 【広島・福山】JA 広島総合病院 大峯珠己 |
| | 対応力向上編④（地域連携） | 90 | | 【広島・福山】 落久保外科循環器内科クリニック 落久保裕子 |
| | 対応力向上編⑤ （事例検討、ロールプレイ、グループワーク） | 150 | | 【広島・福山】 太田川病院 <ファシリテーター> 7人 山本圭子 |
| | マネジメント編①（マネジメント） | 80 | | 【広島・福山】 広島市立リハビリテーション病院 伊東有美子 |
| 3日目 9:30～ 16:50 | マネジメント編②（自施設現状分析） | 30 | 講義 演習 | 【広島・福山】 広島市立リハビリテーション病院 <ファシリテーター> 7人 伊東有美子 |
| | マネジメント編③（GW SWOT 分析） | 110 | | |
| | マネジメント編④（人材育成） | 40 | | |
| | マネジメント編⑤（GW 指導案作成） | 80 | | |
| | マネジメント編⑥（GW 研修企画） | 80 | | |
| 合計 | | 1,080 | | |

No.65 広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）

授業科目、時間数、講師等

| 区分 (時間数) | 授業科目 | 時間 | 目標・内容 | 講師名 | |
|-------------------|------------------|----------|--|------------------|-------|
| 教育の基盤 (6時間) | 教育原理 | 3 | 教育の意義や基礎的な概念について学ぶ。 1. 教育の意義と目的 2. 教育活動の特性 | 広島大学大学院 | 岩永 誠 |
| | 教育心理 | | 人間の発達と学習過程における青年期の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解する。 1. 青年心理学 2. 学習過程における心理 | 広島大学大学院 | 岩永 誠 |
| | 教育方法 | 3 | 教育方法の基本的な方法や技術、評価方法について理解する。 1. 教育方法（授業の形態、方法など） 2. 教育方法と教材の活用 3. 評価の目的、評価方法 | 広島大学大学院 | 丸山恭司 |
| 実習指導の基盤 (36時間) | 実習指導の実際Ⅰ 【講義】 | 3 | 1. 看護基礎教育の概要と実習に求められている課題を理解する。 1) 看護教育課程 2) 教育計画とその内容 3) 実習に求められている課題 | 広島県立三次看護専門学校 | 佐藤真紀 |
| | | 3 | 2. 実習指導の基礎と実習指導者のあり方を理解する 1) 実習の意義と位置づけ 2) 実習の目的・目標 3) 実習指導者の役割 | 広島県立三次看護専門学校 | 佐藤真紀 |
| | 実習指導の実際Ⅱ 【演習】 | 6 講義 | 実習指導の展開について理解を深め、かつ、臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について演習を通して学ぶ。 1. 指導計画の立案と指導方法 2. 評価時期と方法 | (前) 広島県立三次看護専門学校 | 高東ひとみ |
| | | 24 演習 | 3. 実習指導案の作成 4. 実習指導計画の展開と評価 | 広島市立看護専門学校 | 上田実苗 |
| | | | | 広島県立三次看護専門学校 | 小河朋子 |
| 呉医療センター附属呉看護学校 | 村川陽子 | | | | |
| 呉共済病院看護専門学校 | 前田裕果 | | | | |
| | | 安田女子大学 | 陰山淑江 | | |
| 合計 (42時間) | | | | | |

No.66 広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 授業科目、時間数、講師等

| 区分 | 内容 | 科目 (単位数・時間数) | 目標・内容 | 講師名 | |
|-----------------|---------------------|------------------------|---|---|-------------------|
| 基礎分野 | 教育の基盤 | 教育原理 (1単位・15時間) | 教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性 | 広島大学大学院 丸山恭司 | |
| | | 教育方法 (1単位・15時間) | 教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・教授－学習過程の理解 等 | 広島大学大学院 丸山恭司 | |
| | | 教育心理 (1単位・15時間) | 人間の発達と学習課程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等 | 県立広島大学 坪田雄二 | |
| | | 教育評価 (1単位・15時間) | 教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法 等 | 広島大学大学院 丸山恭司 | |
| 専門分野 | 看護論 | 看護論 (1単位・15時間) | 人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 ・看護の役割と機能 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対応方法 等 | 広島文化学園大学 石川孝則 | |
| | | 看護教育課程 (1単位・15時間) | 看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる。 ・教育課程の基礎知識 等 | 広島都市学園大学 三島真由美 | |
| | 実習指導の基盤 | 実習指導方法論 (2単位・30時間) | 実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ。 ・実習指導の方法 ・実習評価の意義と方法 | 看護基礎教育における看護学実習と実習指導者の役割 看護職の資質と能力および倫理観 | 県立広島大学 岡田淳子 |
| | | | | 看護学実習の学習の特徴と実習教育の有効性 実習指導方法と実習評価方法 | 関西医科大学 吉田和美 |
| | | | | 実習指導計画と実習指導案の意義と構成要素 実習指導計画と実習指導案の作成方法 | 県立広島大学 沖西紀代子 |
| | | 実習指導方法演習 (2単位・60時間) | 実習指導の展開の実際を学ぶ。 ・実習指導案の作成および評価 ・実習の評価 等 | 基礎看護学実習 | 県立広島大学 沖西紀代子 |
| | | | | 厚生連尾道看護専門学校 | 濱川英子 |
| | | | | 成人看護学実習 | 広島県立三次看護専門学校 山本美子 |
| | | | | 老年看護学実習 | 日本赤十字広島看護大学 百田武司 |
| | | | | 精神看護学実習 | 広島文化学園大学 佐藤敦子 |
| 小児看護学実習 | | | | 広島文化学園大学 出田聡子 | |
| 母性看護学実習 | | | | 広島文化学園大学 山内京子 | |
| 在宅看護論実習演習 | 在宅看護論実習演習 | 徳山恵美 | 広島県立三次看護専門学校 | | |
| | | 三輪晃子 | 日本赤十字広島看護大学 | | |
| | | 世良美奈 | 広島県立三次看護専門学校 | | |
| | | 川元美津子 | (元) 安田女子大学 | | |
| | | 橋本笑子 | 福山医療専門学校 | | |
| | | 佐藤敦子 | 広島文化学園大学 | | |
| 特別講義 | レポートの書き方 (8時間) | レポート作成に必要な基本的知識を学ぶ。 | 日本赤十字広島看護大学 矢野博史 | | |
| | 地域医療と福祉の連携 (4時間) | 地域・医療・福祉の連携と課題について学ぶ。 | 広島県健康福祉局 半田 文 東久保ちあき | | |
| | 看護の動向 (3時間) | 看護をとりまく社会の現状と課題を学ぶ。 | 広島県看護協会 山本恭子 | | |
| 合計 (10単位・195時間) | | | | | |

No.67 専任教員継続研修 実施要領

目的：教員等が自らのキャリアアップを継続的に行い、看護基礎教育の充実・質向上を図るためには、教育的な支援を行うことが重要である。このため「専任教員の経験段階に応じた成長の指針」に基づき、成長段階に応じた研修を開催し、看護教員の能力の維持・向上を図る。

| 研修/対象者 | 研修項目 | 研修テーマ | ねらい | 時間 | 方法 | 講師名 |
|---------------------------------|---|-------------------------------------|--|----|----------|--------------------------------------|
| 新任教員研修 専任教員経験年数 (1～2年) | <ul style="list-style-type: none"> 教育課程の考え方 授業方法 実習指導方法 学生への関わり方 | 実習指導におけるリフレクション | <ul style="list-style-type: none"> 自己の実習指導を省察し、課題を明確にすることにより、今後の教育活動に活用する。 リフレクションの基本的考え方と方法を学ぶ。 | 5 | 講義 演習 | (元) 藤沢市教育文化センター 目黒 悟 |
| | | 新任教員としての方向性と仲間づくり～ラベルワークを用いて～ | ラベルワークを用いて新任教員同士の交流を深め、支え合える関係づくりを行うと共に、自己の課題と今後の方向性を見出していく。 | 5 | 講義 演習 | (一社) 参画文化研究会 大屋八重子 |
| 中堅教員研修 専任教員経験年数 (5～10年) | <ul style="list-style-type: none"> 教育課程の編成と運営 リーダーシップ論、マネジメント論 アサーティブコミュニケーション | 中堅教員に求められるコミュニケーション能力の向上について | 学校経営や教育活動において、自分も相手も大切にアサーティブコミュニケーションを身に付けることで、円滑な学校運営及び自身のメンタルヘルス向上につなげる。 | 5 | 講義 演習 | (株) えなヒューマン・サポート 森川早苗 |
| | | やる気をおこさせる看護教育現場の改革～中堅教員としてのリーダーシップ～ | 他者に効果的に影響を及ぼし変革を成功に導くためにコッターの企業変革8段階を理解し、教育現場に応用する。 | 5 | 講義 演習 | 日本赤十字九州国際看護大学 倉岡有美子 |
| トピックス研修 専任教員及び実習施設の実習に関わる指導者 | | カリキュラム改正で期待される看護実践能力の育成 | 新カリキュラムに改定され、教育内容や方法の充実を図る中、学生にどのような変化がみられたか、更に工夫が求められることは何かを考える機会とする。 | 5 | 講義 演習 | Office Kyo-shien 池西静江 |
| | | 特別な支援を要する看護学生の特性と合理的配慮の実践 | 近年増加しつつある、発達障害やその他の精神障害をもった看護学生の特性を理解する。また、こうした学生に対する具体的な合理的配慮の決定手順と授業、演習、実習の中でどのような配慮をすれば良いかについて学ぶ。 | 5 | 講義 演習 | 順天堂大学 北川 明 |
| 実践力向上研修 | 専任教員養成講習会未受講者の教育・指導支援 | 臨地実習指導の“イロハ”を学ぶ | 第1回：臨地実習の基本を学ぶ | 6 | 講義 演習 | 県立三次看護専門学校 ファシリテーター 佐藤真紀 3人 |

No.69 シミュレーション研修のため指導者育成プログラム 研修内容

| 研修日 | 研修内容 | 時間数 | 方法 | 講師名 |
|-------------------------|--|-----|------------|--|
| 1 日目 10:00～ 16:00 | オリエンテーション シミュレーション教育の基礎知識・基本となる学習理論等 シミュレーション教育における指導法の基本 研修企画案作成に役立つ基礎知識 ・研修設計（インストラクショナル・デザイン） | 1.5 | 講義 | 呉医療センター医療技術研修センター <助言者> 2人 |
| | ハイブリッドシミュレータ（SCENARIO）について ・機能と操作方法 ・研修への活用のしかた 等 | 0.5 | 講義 GW | |
| | フィジカルアセスメント研修の企画案作成 ～SCENARIO 内蔵の事例を用いて～ | 1 | GW | |
| | シミュレーション教育における指導法の実際 ・コーチングスキル ・リフレクション支援 ・ファシリテーションスキル ・ディブリーフィング | 1 | ロール プレイ | |
| | 企画案をもとに設計した研修の概要のまとめ | 1 | | |
| 2 日目 10:00～ 16:00 | グループで企画した SCENARIO を用いたフィジカルアセスメント研修の発表・ディスカッション （お互いのグループで研修実施者と受講者になって発表する。） <発表内容> ①研修概要の説明 ②研修の実際 ③質疑応答 | 2.5 | GW 演習 | 呉医療センター医療技術研修センター <助言者> 2人 |
| | ファシリテーションの実践と振り返り →研修企画の修正 | 1.5 | GW | |
| | アクションプランの作成・まとめ | 1 | 演習 | |

No.70 「実地指導者研修」研修内容

| 研修日 | 研修テーマ | 時間数 | 研修内容 | 方法 | 講師名 |
|------------------------|------------------|------|--|----------|-----------------------------|
| 1 日目 9:30～ 16:00 | 1 新人看護職員の 現状 | 5.5 | 1) 看護基礎教育の現状 2) 新人看護師の技術習得状況 3) 新人看護職員研修制度 | 講義 演習 | 福山市民病院 <助言者> 2人 |
| | 2 学習に関する 基礎知識 | | 1) 学習理論（概念、動機付け、成人学習等） 2) 教育方法（チームの力を活用した学習支援） 3) 教育評価の意義・方法 4) フィードバックについて | | |
| | 3 組織の教育システム | | 1) 新人看護職員の現状と課題 2) 組織の理念 3) 人材育成の考え方 4) 所属施設の教育体制 5) 実地指導者の役割 6) 実地指導者に求められる能力 7) 新人教育指導のプロセス (1) 個別の指導計画の立案 (2) 実践能力に応じた指導方法 (3) 実地指導者が行う評価のプロセス (4) 評価結果のフィードバックにおける要点 | | |
| 2 日目 9:30～ 16:00 | 4 看護技術の指導 方法 | 5.5 | 1) 新人教育指導案の作成演習 (1) 技術指導について 《看護技術を支える要素》を満たす視点の明確化 (2) 看護技術の評価方法 評価時期・評価項目 評価方法 評価時の留意点 (3) 評価結果のフィードバック方法 | 演習 発表 | 福山市民病院 <助言者> 2人 |
| 3 日目 9:30～ 16:00 | 5 メンタル サポート支援 | 5.5 | 1) コミュニケーション 2) コーチング 3) カウンセリングスキル | 講義 演習 | (有) AE メディカル 野津浩嗣 |
| 計 | | 16.5 | | | |

No.71 「教育担当者研修」研修内容

| 研修日 | テーマ | 時間数 | 研修内容 | 方法 | 講師名 |
|------------------------|----------------------|------|---|----------------|---|
| 1 日目 9:30～ 16:00 | 1 新人看護職員研修と教育担当者の役割 | 5.5 | 1) 新人看護職員を支える組織体制 2) 新人看護職員をめぐる現状と課題 3) 新人看護職員研修ガイドラインについて 4) 新人看護職員研修における教育担当者の役割（実地指導者の育成・支援も含む） | 講義 | 広島大学病院 佐藤陽子 |
| | 2 教育に関する知識 | | 1) 成人学習者の特徴と教育方法 2) 教育評価とフィードバック | | |
| | 3 到達目標の理解と設定 | | 1) 新人看護職員研修と臨床実践能力の構造 2) 組織の理念と人材育成の考え方 3) 新人看護職員研修の到達目標の設定 4) 研修評価と評価の活用 | | |
| 2 日目 9:30～ 16:00 | 4 新人看護職員教育の課題と解決策の検討 | 5.5 | 1) 実践報告：実地指導者、新人看護職員への教育、精神的支援の取り組みと結果 2) レポート：自己の所属する部署内の新人教育計画と課題 3) 演習：新人看護職員教育の課題の明確化と解決策の検討 | 講義 演習 発表 | 広島大学病院 佐藤陽子 <実践報告者> 広島 2 人 福山 2 人 |
| | 5 新人看護職員研修計画の立案と評価 | | 1) 各期における到達目標の設定 2) 学習内容・方法の設定 3) 評価方法 4) 集合教育と OJT 等の活用 5) 実地指導者の育成・支援・連携のあり方 | | |
| 3 日目 9:30～ 16:00 | 6 新人看護職員研修計画立案の実際 | 5.5 | 1) 部署の特殊性を考慮した指導体制 2) 部署の特殊性を考慮した研修計画 3) 評価計画とフィードバックのあり方 | 演習 発表 | 広島大学病院 佐藤陽子 <助言者> 広島 4 人 福山 1 人 |
| 計 | | 16.5 | | | |

No.72 「研修責任者研修」研修内容

| 研修日 | 研修テーマ | 時間数 | 研修内容 | 方法 | 講師名 | |
|-------------------------|----------------------------------|------------------|---|--|---------------------------|--------------------|
| 1 日目 9:30～ 16:30 | 1 新人看護職員研修ガイドラインの考え方 | 4.0 | 1) 新人看護職員研修の考え方や政策的動向 2) 生涯学習、専門職業人としての継続教育、キャリア形成の考え方 3) 新人看護職員研修ガイドラインの考え方と概略 4) 新人看護職員研修における研修責任者の役割 | 講義 | NPO 法人 日本看護キャリア開発センター | |
| | 2 新人看護職員研修体制の構築と運営 | | 1) 新人を育てる組織風土づくり 2) 新人看護職員研修の指導体制における研修責任者、教育担当者、実地指導者の役割 3) 新人看護職員研修の運営に関わる体制づくりや整備 (1) 各部署管理者や教育担当者との関係調整も含めた新人看護職員研修の指導体制づくり (2) 新人看護職員研修に関わる委員会などの組織づくり (3) 新人看護職員研修の活動内容に関する企画書作成 4) 現場への周知徹底の実際 | 講義 | | |
| | 2 日目 9:30～ 13:00 | 3 新人看護職員研修の企画と評価 | 5.5 | 1) 基礎教育における臨床実践能力の習得状況 2) 成人学習者の特徴と教育方法 3) 看護部理念と施設における新人看護職員に求める能力の明確化 (1) 看護職員として必要な基本姿勢と態度に関する到達目標 (2) 看護実践における技術的側面に関する到達目標 (3) 看護実践における管理的側面に関する到達目標 4) 新人看護職員研修の年間教育計画の立案 (OJT、Off-JT の役割分担も含む) 5) 評価方法と評価結果のフィードバック (1) 新人看護職員の到達目標の評価 (2) 新人看護職員研修体制の評価 | | 講義 演習 発表 |
| 2 日目 14:00～ 16:30 | 4 新人看護職員研修に関わる看護職員の職場適応やメンタルサポート | 2.5 | 1) 看護職員のストレスとメンタルヘルス (1) 看護職員が受けるストレス (2) パーンアウトとストレス (3) ストレスと事故 (4) ストレスへの対応 2) 新人看護職員研修に関わる看護職員の職場適応や精神的支援 | 講義 | 大阪医科薬科大学 | 新田和子 |
| 3 日目 9:30～ 16:30 | 5 教育担当者の育成・支援 | 6.0 | 1) 教育担当者の育成に関する教育、育成プログラムの企画・実施・評価について 2) 教育担当者が感じる新人看護職員指導上の問題と解決方法 | 講義 演習 発表 | 川崎医療福祉大学看護実践・キャリアサポートセンター | 山田佐登美 |
| | 6 実地指導者の育成・支援 | | 1) 実地指導者の育成に関する事前教育、育成プログラムについて 2) 実地指導者の支援体制について 3) 実地指導者が感じる新人看護職員指導上の問題と解決方法 | 講義 演習 発表 | | |
| 計 | | 18.0 | | | | |

No.37 緩和ケア看護師研修 研修内容

| 開催日時 | テーマ | 内 容 | 方法 | 時間 | 講師 | |
|------------------------|---|--|----|-----|--------------------|-------|
| 1 日目 9:30～ 16:00 | 1. 診断時からの緩和ケア | 1) 緩和ケアとは 2) QOL 3) 国や県の緩和ケアの動向 4) 緩和ケアの提供体制 5) 看護師に必要な実践能力 | 講義 | 1 | 広島大学病院 | 槇埜良江 |
| | 2. 全人的苦痛とがん疼痛のケア | 1) がん患者の全人的苦痛の考え方 2) 苦痛の特徴と内容 3) 全人的苦痛の緩和とチームアプローチ 4) がん疼痛のメカニズム 5) がん疼痛の治療 6) がん疼痛のアセスメントとケア | 講義 | 2.5 | | |
| | 3. がん患者の身体的苦痛に伴うケア | 1) 食欲不振に伴う治療とケア 2) 倦怠感に対する治療とケア 3) 呼吸困難に対する治療とケア | 講義 | 2 | 県立広島病院 | 岩見加奈子 |
| 2 日目 9:30～ 16:00 | 4. がん患者の精神的苦痛に伴うケア | 1) 不眠に対する治療とケア 2) 不安に対する治療とケア 3) 抑うつに対する治療とケア 4) せん妄に対する治療とケア | 講義 | 1.5 | 訪問看護ステーション相扶 | 山西友規 |
| | 5. 緩和ケアにおける退院支援・退院調整 | 1) がん患者が利用できる社会資源・社会保障制度 2) 退院支援のプロセス 3) 退院調整の実際 | 講義 | 1.5 | | |
| | 6. 在宅緩和ケアの現状と実際 | 1) 在宅緩和ケアの現状 2) 在宅緩和ケアチーム | | | | |
| | 7. コミュニケーションと意思決定支援・ACP (アドバンス・ケア・プランニング) | 1) コミュニケーションについて 2) コミュニケーションとは 3) コミュニケーションスキル 4) ロールプレイ 5) 意志決定とは 6) 意思決定における看護師の役割 7) ACP | 講義 | 2.5 | 呉医療センター 付属呉看護学校 | 奥田真由美 |
| | | | 計 | 11 | | |

No.45 感染管理【実践編】研修内容

| 開催日時 | テーマ | 内 容 | 方法 (時間) | 講師名 |
|-----------------------|--|---|------------------------|--|
| 1日目 9:00～ 16:00 | 1. 感染管理活動の 実践における必 要な知識・技術 及び感染管理教 育活動 | 1) エビデンスに基づいた医療関連感染の予防と管理に 必要な情報収集と分析 2) 感染防止対策・感染管理の有効性に関する科学的 根拠の検索方法とエビデンスレベルに関する判 断 3) 医療関連感染の予防と管理に関する科学的根拠の 評価 4) 主体的な改善活動を行うために必要なコミュニケー ションスキル 5) 成人学習者の特性と組織における教育・指導 | 講義 (1.5) | 山口県立大学 家入裕子 |
| | 2. 職業感染対策 | 1) 流行性ウイルス感染症の予防と曝露後対応 2) 結核の予防と曝露後対応 | 講義 (1.5) | メリィホスピタル 山本聡美 |
| | 3. 微生物検査の見 方Ⅱ | 1) 感染症の検査 鏡検、培養、PCR、免疫・血清学的、感受性試験等 の目的・原理、結果の解釈、活用 2) 検査の感度と特異度 (1) ICTにおける微生物検査技師の役割 (2) 微生物サーベイランス | 講義 (1.5) | 広島大学病院 樫山誠也 |
| | 4. 抗菌薬の使用方 法Ⅱ | 1) 抗菌薬の適正使用（各感染症の標準的治療法、使 用制限） 2) ICTにおける薬剤師の役割 3) 抗菌薬サーベイランスについて | 講義 (1.5) | 広島市立北部医 療センター安佐 市民病院 植竹宣江 |
| 2日目 9:00～ 16:00 | 5. サーベイラン スの実際と情 報の活用 | 1) サーベイランス概論 (1) サーベイランスの定義・目的 (2) サーベイランスの種類 (3) サーベイランス実施に向けた施設のアセスメン ト (4) 実施方法 2) 医療関連感染サーベイランス各論 侵襲的器具・処置に関連するサーベイランス | 講義 演習 (6) | 広島国際大学 佐和章弘 |
| 3日目 9:00～ 16:00 | 6. 看護ケアと感染 防止Ⅱ | 1) 感染防止対策・感染管理とアドヒアランス向上のた めの取り組み (1) 侵襲的処置別感染防止対策 (2) 手術部位感染防止対策 (3) 肺炎防止対策 2) サーベイランスの活用 (1) 医療関連感染サーベイランスデータの分析・活 用・評価・方法 (2) プロセスサーベイランス (3) 症候群サーベイランス | 講義 (3) | マツダ病院 村田織江 |
| | 7. アウトブレイ クの判断と対 応 | 1) アウトブレイク調査・介入に関する基本的な考え 方と手順 (1) 空気感染 (2) 飛沫・接触感染 (3) 接触感染 | 講義 (3) | 興生総合病院 鈴木沙織 |
| 4日目 9:00～ 16:00 | 8. グループワーク | 1) 講義での学びを基に各施設における感染防止対 策、感染管理上の課題を把握、考察する。 2) 各施設に応じた課題に優先順位をつけ、最優先課 題の対策を明文化する。 | 講義 (3) 演習 (3) | 広島市立北部医 療センター安佐 市民病院 ファシリテーター 6人 森合真治 |

No.47 褥瘡予防と管理 研修内容

| 開催日時 | テーマ | 内 容 | 方法 | 時間 | 講師 |
|-------------------------|----------------------|---|----------|----|---|
| 1 日目 10:00～ 16:00 | 1. 褥瘡の理解と予 防的ケア | 1) 褥瘡の定義 2) 褥瘡の発生要因とリスクアセスメント 3) 体圧分散マットレスの適切な選択と使用方法 4) 予防的スキンケア（皮膚の構造と機能） 5) 失禁ケア用品の選択と使用方法 6) 褥瘡と栄養管理 7) 褥瘡対策に関連した診療報酬 | 講義 演習 | 5 | メリィホスピタル 松本典子 |
| 2 日目 10:00～ 16:00 | 2. 動きの支援から みた褥瘡対策 | 1) 姿勢が身体機能に及ぼす影響 2) 身体の動きと体圧 3) 体位変換が身体に及ぼす影響 4) ポジショニングの考え方 5) ベッドから離れる環境整備 6) 適切な福祉用具の利用 | 講義 演習 | 5 | ET ナース フェルデンク ライス広島 澤井尚子 藤田千穂 |
| 3 日目 10:00～ 16:00 | 3. 褥瘡の創傷管理 | 1) 創傷治癒のメカニズム 2) 創傷治癒に影響を及ぼす局所環境因子 3) ドレッシングの意義と目的 4) 褥瘡の診断と評価 5) 褥瘡の状態に応じた局所治療及びケア／症例検討 | 講義 演習 | 5 | 県立広島病院 西村智美 |

No.53 「訪問看護 e ラーニング」を活用した 訪問看護師養成研修 研修内容

研修内容

- 1) 訪問看護 e ラーニング：自己学習
- 2) 短期集合研修：講義・演習 30.5 時間
- 3) 実習：実習前演習・実習・報告会 26.5 時間 *実習には「e ラーニング修了証書」が必要

| 区分/場所 | テーマ | 方法 | 時間 | 講師名 |
|---------------------------------------|---|-------------------|-----------------|--|
| 訪問看護 e ラーニング/ 自宅・職場 | *日本訪問看護財団『訪問看護 e ラーニング～訪問看護の基礎知識～』 訪問看護概論/在宅ケアシステム論/リスクマネジメント論/訪問看護対象論/訪問看護展開論/訪問看護技術論 | 講義/ 個人ワーク | 配信日から実習前演習までに修了 | |
| 短期集合研修/ 広島県看護協会会館 | 訪問看護の役割・機能・特性 | 講義 演習 | 2.5 | 安芸地区医師会訪問看護ステーション 坂本しげみ |
| | 保健・医療・福祉の動向と広島県の現状 | 講義 演習 | 1.5 | 広島県地域共生社会推進課 出原由貴 |
| | 訪問看護過程の展開 | 講義 演習 | 6 | 賀茂台地訪問看護ステーション 川本雪江 |
| | 在宅におけるポジショニング・排泄ケア | 講義 演習 | 5.5 | 広島赤十字・原爆病院 訪問看護ステーション 岡田美幸 |
| | フィジカルアセスメント | 講義 演習 | 3 | 広島県立三次看護専門学校 村上毅 |
| | 急変時の対応 | 講義 演習 | 3 | 県立広島病院 小川恵美子 |
| | 難病の人の看護 | 講義 | 3 | 西広島医療センター 渡邊千種 |
| | 難病の人の看護 | 講義 演習 | 3 | YMCA 訪問看護ステーション・ピース 濱本千春 |
| | 感染管理 | 講義 | 3 | 訪問看護ステーションレジハピ 篠原久恵 |
| 実習/訪問看護ステーション 演習・報告会/ 広島県看護協会会館 | 実習前演習 | 演習 | 3 | 広島県看護協会訪問看護事業局 松井善子 |
| | 訪問看護ステーション実習 | 実習 | 3 日 | 県内訪問看護ステーション |
| | 実習報告会 | 発表 グループ ワーク | 2.5 | 広島県看護協会訪問看護ステーションひろしま 遠藤泰子 安芸地区医師会熊野町訪問看護ステーション 坂本しげみ |

No.54 (日本看護協会主催) 災害支援ナース養成研修

感染症法及び医療法が改正され、都道府県知事の求めに応じて派遣される医療チームの仕組みが法制化された。厚生労働省から「新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業」が日本看護協会に業務委託され、新型コロナウイルス感染症等の新興感染症及び自然災害の発生時に、他の医療機関等への応援派遣等に的確に対応できる看護職員を養成するための研修として、(日本看護協会主催)「災害支援ナース養成研修」を都道府県看護協会で開催することになった。災害と新たに加わった感染症についてオンデマンド研修4日間、集合研修2日間で企画されている。

<研修方法および研修内容等>

オンデマンド研修 (e-ラーニング配信) : 総論、災害各論、感染症各論の講義を 20 時間 (4 日間)

集合研修 (都道府県看護協会) : 講義、災害と感染症の演習を 10 時間 (2 日間)

集合研修内容

| 開催日時 (時間) | テーマ | 内容 | 方法 | 講師 | |
|---|-------------------------------------|---|---|-----------------|--|
| 【災害編】 9:20～ 16:10 (6.5) | 1. 広島県における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動 | 広島県の災害感染症に係る応援派遣・医療提供体制の状況や対策(派遣の仕組み、登録含む) | 講義 | 広島県健康福祉局医療介護基盤課 | 半田 文 |
| | 2. 広島県看護協会における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動 | 1) 広島県看護協会における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動 2) 災害支援ナースとしての心構え | 講義 | (公社)広島県看護協会 | 江村陽子 |
| | 3. 災害時の看護職の活動の実際 | 1) 派遣決定から出発までの準備 (状況付与1 災害発生) ・派遣決定までの調整と準備 ・派遣決定から出発までの準備 ・携行品 (状況付与2 派遣決定) | マツダ病院 広島大学病院 尾道市立市民病院 安田病院 市立三次中央病院 広島市立広島市民病院 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 講義 | 百田美織 木村亜紀子 麻生恵美 熊本幸子 土居晃之助 板原容子 |
| | | 2) 支援者としての心構え ・被災者の尊厳 ・基本的な心構え ・被災者の心理的な反応の時間経過 ・支援する側の心理 | | | |
| | | 3) 活動場所の違いによる活動の特徴(医療機関・所) ・医療機関での活動の特徴 ・避難所での活動の実際 | | | |
| | | 4) CSCA (TTT) ・活動の原則: 指揮命令システムを確認する ・安全管理: 二次災害の回避 (状況付与3 活動場所へ到着) | | | |
| 5) 方針に沿った活動 ・現状把握と支援ニーズの再確認 ・アセスメントに含めること ・自立への支援とは (状況付与4 避難所での活動) ・救急搬送や発熱者等の対応 ・新たな活動を依頼されたら (状況付与5 活動報告書の作成) ・記録と報告 ・活動終了に向けて ・帰還後に行うこと | | | | | |
| 6) まとめ | | 演習 | 長見由美 | | |

| 開催日時 (時間) | テーマ | 内容 | 方法 | 講師 | |
|-----------------------------------|---------------------|--|----------|--|--|
| 【感染症編】 9:50～ 15:30 (5.5) | 1. 感染症拡大時の看護職の活動の実際 | 1) 感染拡大・重症化の予防 ・PPEの脱着・区域ごとのポイントを理解し狭い空間や単独での自宅を訪問する事等想定し体験する ・ゾーニングの基本を体験する | 講義 演習 | 広島市立広島市民病院 広島赤十字・原爆病院 訪問看護ステーションレジハピ 県立広島病院 広島大学病院 広島市立北部医療センター安佐市民病院 | 多田裕貴 山本浩之 篠原久恵 北尾剛明 林 容子 長見由美 |
| | | 2) 安楽な呼吸を保つための看護 感染予防（PPEを装着）を実施したうえで、安楽な呼吸へのケアや日常生活援助を体験的に学ぶ | | | |
| | | 3) 集中治療室内での管理 ・医療機器及びモニターの基本的な知識を習得する ・トラブルシューティングへの対応を学ぶ 事例検討 | | | |
| | | 4) 他職種連携による医療提供 派遣先の医療機関等において、他職種と連携し医療を提供するために必要なことについて学ぶ ・派遣先における指揮命令系統の確認 ・報告・連絡・相談の重要性の理解及びそのルートやその方法 ・コミュニケーションの重要性 | | | |
| | | 5) 患者・家族のケア 医療機関、療養施設、高齢者施設、避難所、自宅など、施設ごとの違いを踏まえ事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、見取りケア、死亡時の対応を理解する | | | |
| | | 6) まとめ | | | |

No.58 退院調整看護師養成研修 研修内容

| 開催日時 | テーマ | 内 容 | 方法 (時間) | 講師名 | |
|----------------------------------|---|--|-----------------|------------------------------|-------|
| 1 日目 10:00～ 16:00 | 1. 病棟ナースができる退 院支援 | 1) 退院支援を行う看護職の必要性 2) 院内における退院支援プロセス 3) 退院調整の実際 | 講義 (5) | 吉島病院 | 御厨加代子 |
| 2 日目 10:00～ 16:00 | 2. 広島県地域包括ケアシ ステム | 1) 地域包括ケアシステムとは 2) 広島県における地域包括ケアシ ステム | 講義 (2) | 広島市幟町地域 包 括 支 援 セ ン ター | 宮田真弓 |
| | 3. 地域包括支援センター 事業 | 1) 地域包括支援センターの役割 2) 介護予防支援及び包括的支援事業 3) ケアマネージャーの役割（病院看 護師との連携） | | | |
| | 4. 訪問看護事業 | 1) 訪問看護とは 2) 病院看護師と訪問看護師の連携 | 講義 (3) | にじのはな在宅 看護センター | 森山薫 |
| 3 日目 10:00～ 15:00 | 5. 退院調整看護師の役割 と機能 ～事例紹介（社会資源 の活用も含んで）～ | | 講義 演習 (4) | 県立広島病院 | 信組加奈子 |
| | 情報交換 (13:00～14:40) | 1) 所属施設における退院支援の現状 と課題 2) 実習課題の設定（課題達成につな がるように） | | | |
| | 実習オリエンテーション | | | | |
| 4 日目 (1 日) 10:00～ 15:00 | 6. 地域医療連携室実習 (地域医療連携室の見 学) | 1) 実習施設の地域の中での役割、退 院調整システムの概要等を学び、 これまで学んだ知識との統合を図 る。 2) 連携の実際を学ぶ。 3) 退院調整に必要な看護情報の提供 の方法や種類 ①医療看護相談 ②在宅医療資源 ③退院調整に関わる職種と調整の プロセス 4) 緊急時の対応体制 | 実習 (4) | 県内医療施設の地域連携室 | |
| 5 日目 (1 日) 9:00～ 15:00 | 7. 訪問看護ステーション 実習 (訪問看護師に同行訪 問) | 1) 在宅療養中の患者の療養環境の実際 2) 在宅療養中の患者の1日の生活リ ズム、ケアプランの中での訪問看 護の位置づけを学ぶ。 3) 退院支援に必要な看護情報の種類 と内容を学ぶ。 ①退院までの経過 ②退院前カンファレンス ③在宅での経過等 4) 緊急時の対応体制 | 実習 (5) | 県内訪問看護ステーション | |
| 6 日目 13:00～ 16:00 | 8. グループワーク 発表・まとめ | 目的：研修での学びを共有し、今後の 退院調整、退院支援の具体的進め方 を考える テーマ：退院調整や支援を実践するた めに | 演習 (3) | 助言者6人 | |

No.61 看護マネジメントの基礎 研修内容

| 開催日時 | テーマ | 内 容 | 方法 | 時間 | 講師名 | |
|------------------------|---------------------------|---|----------|----|------------|------|
| 1日目 10:00～ 16:00 | 1. 看護マネジメントの基礎 | 1) 看護マネジメントとは 2) 主任・師長の役割 3) 看護マネジメント過程 4) 看護マネジメントの実際 | 講義 演習 | 5 | 日比野病院 | 品川恵己 |
| 2日目 10:00～ 16:00 | 2. チームにおけるリーダーシップとメンバーシップ | 1) 組織の理解 2) リーダーシップとは 3) メンバーシップとは 4) チーム機能とリーダー、メンバーの役割/リーダーシップを伸ばすには | 講義 | 5 | 広島大学大学院 | 坂田桐子 |
| 3日目 10:00～ 16:00 | 3. 部下育成のためのコーチング | 1) コーチングとは 2) コーチングスキル 3) コーチングの実際 | 講義 演習 | 5 | (有)AEメディカル | 野津浩嗣 |

No.63 (JNA 提供 eラーニング) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 研修内容

研修内容

- 1) eラーニング： 自己学習 (3時間)
- 2) 演習： 2時間

| 区分/場所 | テーマ | 方法 | 時間 | 講師名 |
|---|--|----------------|----|-----------|
| eラーニング/自宅 | *『JNA 提供 eラーニング』 看護補助者の活用推進の背景/看護補助者の位置づけ/看護補助者との共同に関する基本的な考え方/業務実施体制の整備/看護職への教育体制の整備/看護補助者の労働環境の整備及び確保等/看護補助者の育成・研修・評価 | 講義/ 個人ワーク | 3 | 日本看護協会役職員 |
| 演習/ 広島会場 (広島県看護協会会館)・ 福山会場 (県民文化センターふくやま) | 看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の検討 | 演習/ グループワーク | 2 | 広島県看護協会職員 |

No.64 指導者のための救急蘇生 研修内容

| 開催日時 | テーマ | 内 容 | 方 法 | 時間 |
|---|----------------------------|--|---------------------------------------|----|
| 1 日目 10:00～15:00 | 1. 成人 BLS/AED 実技 | 1) 成人 BLS 2) AED を用いた心肺蘇生 (受講者が実技を実施) | 講義 デモンストレーション 実技演習 | 4 |
| | 2. 成人学習とは、インストラクションとは | 1) 成人学習とは | | |
| | 3. 成人 BLS/AED | 1) 成人 BLS 2) AED を用いた心肺蘇生 (受講者が指導者役で実施) | | |
| | 4. インストラクショナルデザイン の基礎知識 | 1) インストラクションデザインを踏まえた研修企画書の作成 | | |
| 2 日目 10:00～15:00 | 5. 成人 BLS 指導案作成 | 1) 指導者役の決定 2) 受講者役の決定 3) 評価者の決定 4) 時間配分の設定 5) 振り返り時間の設定 上記を踏まえて指導案を各グループで作成 | 講義 デモンストレーション 実技演習 | 4 |
| | 6. 模擬授業の実施 | 1) 指導案に基づき、模擬授業を実施 2) 評価、意見交換 | | |
| | 終了後 3 日目の説明、打合わせ | 1) アシスタント役割のオリエンテーション、打合わせ | | |
| 3 日目 (新人ナース集合研修日) 【午前】 9:00～12:00 【午後】 13:30～16:30 | オリエンテーション・講義・演習 | ・新人ナース研修へ BLS・AED 指導 (2 グループへ実施) ・インストラクターと振り返り | 講義 実技指導 (デモンストレーション、 インストラクション) | 3 |

インストラクター：

広島市立広島市民病院 板原容子／広島大学病院 井上隆治／広島大学病院 内山直子／

尾道市立市民病院 江木美峰／県立広島病院 小川恵美子／興生総合病院 奥美映子／

広島市立広島市民病院 笠井有希／呉共済病院 川上礼子／中国労災病院 具志陽宏／

広島県立三次看護専門学校 越道香織／呉医療センター医療技術研修センター 瀬川久江／

広島市立北部医療センター安佐市民病院 長見由美／福山市民病院 中村道明／三原赤十字病院 平木亮子／

呉医療センター・中国がんセンター 松尾直樹／広島県立三次看護専門学校 村上毅／福山市民病院 渡辺賢一

訪問看護師指導者育成研修

| 開催日時 (時間) | テーマ | 内容 | 方法 | 講師 |
|--------------------------------|------------------------------|--|-------|---|
| 1日目 9:00～ 16:00 (6.0) | 1. 新卒者の発達段階と心理的特徴 | 1) 新卒者の成長発達段階 2) 学習過程における心理 | 講義 | 広島大学大学院 岩永誠 |
| | 2. 基本的な学習理論と教育評価 | 1) 学習理論 2) 教育評価 | 講義 | 広島大学病院総合診療科 宮森大輔 |
| | 3. 看護実践をする者の基盤となる概念 | 1) 職業的アイデンティティ 2) クリティカルシンキング 3) リフレクション | 講義 | 日本赤十字広島看護大学 松原みゆき |
| | 4. 同行訪問に焦点を当てたOJTの実際 | 1) 育成計画書の意味や作成、職場の指導育成体制の整備 2) ワークエンゲージメントを高める育成や職場環境 | 講義・演習 | 日本赤十字広島看護大学 広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」 松原みゆき 道法和恵 |
| 2日目 9:30～ 16:30 (6.0) | 指導者としての基本姿勢・コミュニケーション | 1) コーチング 2) カウンセリング 3) コミュニケーションスキル (プリセプターマインドを含む) | 講義・演習 | K-COACH 原田景子 |
| 3日目 9:00～ 16:00 (6.0) | ロールプレイを通して新卒者等への指導方法について理解する | 1) ロールプレイの基礎知識 2) 指導において困難を生じる場面と条件を設定してロールプレイ 3) 課題と指導方法を発表 | 講義・演習 | 日本赤十字広島看護大学 広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」 松原みゆき 道法和恵 |
| | 参加者同士の交流で学びを得る | 日頃の在宅看護実践上の課題や思い等を自由に語り、今後の訪問看護師の人材育成やネットワーク構築等につなげる | 意見交換 | 広島赤十字・原爆病院 訪問看護ステーション 岡田美幸 |

5. 年度別受講者数

| 年度 | 項目 | 会員数 (人) | 研修定員数 (人) | 受講者数(人) | 備考 |
|--------------|----|------------|-------------------------|---------------|---|
| 平成 18 (2006) | | 15,512 | 8,665 | 7,524 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯教育体系 専門性を高め資質向上を図る教育 ①看護実践能力を高めるための教育 ②資格認定を伴う教育 ③専門職能職としての教育 |
| 平成 19 (2007) | | 16,031 | 10,530 | 8,620 | |
| 平成 20 (2008) | | 16,432 | 7,615 | 6,890 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯教育体系改訂 教育枠組み ①専門職業人として看護者に必要な能力の全体像 ②研修領域 (16 領域) ③研修段階 (I～IV 段階) 認定看護師教育課程「新生児集中ケア」終了 (平成 20 年度) |
| 平成 21 (2009) | | 16,838 | 9,180 + α | 8,311 + 延 319 | <ul style="list-style-type: none"> 認定看護管理者サードレベル教育課程開講 平成 20～24 年の研修定員数と受講者数は、 看護職能団体研修とその他を除く数を示す |
| 平成 22 (2010) | | 17,185 | 7,570 | 8,806 | |
| 平成 23 (2011) | | 17,548 | 7,715 | 9,173 | |
| 平成 24 (2012) | | 17,945 | 8,482 | 8,737 | |
| 平成 25 (2013) | | 18,302 | 9,857 | 10,046 | |
| 平成 26 (2014) | | 18,461 | 10,911 | 11,118 | |
| 平成 27 (2015) | | 18,935 | 11,077 | 11,898 | |
| 平成 28 (2016) | | 19,202 | 13,038 | 11,266 | |
| 平成 29 (2017) | | 19,278 | 11,143 | 10,390 | |
| 平成 30 (2018) | | 19,598 | 10,652 | 10,377 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯教育体系改訂 教育枠組み ①専門職業人として看護者に必要な能力の全体像 ②研修領域 (6 領域) ③研修段階 (I～V 段階) 訪問看護ステップ 1 終了 (平成 30 年度) |
| 令和元 (2019) | | 19,949 | 10,009 | 10,838 | 「訪問看護 e ラーニング」を活用した訪問看護師養成研修開講 |
| 令和 2 (2020) | | 20,127 | 10,282 (実績) 4,550 | 3,794 | 新生涯教育体系に改訂(※令和 3 年度より活用) <ul style="list-style-type: none"> 教育計画の枠組み 1. 専門職業人として看護者に必要な能力の全体像 2. 研修分類－継続教育における教育研修の位置づけ－ 3. 看護職に必要な基本的能力と段階 (レベル) <ul style="list-style-type: none"> 看護実践能力「看護師のクリニカルラダー」(JNA ラダー) 組織的役割遂行能力 自己教育・研究能力 4. 「助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー)」 CLoMiP® 5. 「病院看護管理者のマネジメントラダー」 |
| 令和 3 (2021) | | 20,470 | 7,497 (実績) 7,227 | 6,027 | 上記生涯教育体系活用 |
| 令和 4 (2022) | | 20,202 | 7,024 | 6,434 | |
| 令和 5 (2023) | | 19,843 | 7,408 | 6,754 | |

6. 令和5年度看護研究サポート事業－協力大学－

| 支部 | サポート題数 | 受講者数（人） | 協力大学 | 指導教員 |
|--------|--------|---------|-------------|--------|
| 広島中 | 1 | 5 | 広島文化学園大学 | 佐藤 敦子 |
| 広島東 | 3 | 10 | 広島国際大学 | 飯田 加寿子 |
| 広島西 | 6 | 15 | 日本赤十字広島看護大学 | 高田 洋介 |
| 広島南 | 4 | 15 | 広島大学大学院 | 恒松 美輪子 |
| 広島北 | 1 | 2 | 安田女子大学 | 小園 由味恵 |
| 廿日市 | 0 | 0 | 日本赤十字広島看護大学 | 服部 智子 |
| 東広島・竹原 | 1 | 3 | 広島国際大学 | 白木 智子 |
| 呉 | 2 | 4 | 広島文化学園大学 | 前信 由美 |
| 三原・尾道 | 0 | 0 | 県立広島大学 | 川野 綾 |
| 福山・府中 | 1 | 2 | 福山平成大学 | 後藤 満津子 |
| 三次・庄原 | 2 | 7 | 県立広島大学 | 俵 志江 |
| 計 | 21 | 63 | | |

7. 令和5年度図書室サービス実施状況

| 資料の収集状況 | | 図書室の利用状況 | |
|----------------------------|----------|---------------|---------|
| 蔵書数 | 14,586 冊 | 開室日 | 228 日 |
| 単行書 (R5年度受入) | 12,640 冊 | 図書等貸出新規登録者数 | 110 人 |
| | (396 冊) | 図書室利用者数 | 900 人 |
| 製本雑誌 (R5年度受入) | 1,946 冊 | 図書資料等貸出件数 | 1,237 件 |
| | (98 冊) | 図書資料等貸出者数 | 332 人 |
| 受入雑誌数 | 78 タイトル | 図書室内での文献複写利用 | |
| 視聴覚資料（ビデオ、DVD） (R5年度受入) | 518 本 | 申込件数 | 384 件 |
| | (7 本) | 文献複写サービスの利用状況 | |
| | | 申込者数 | 15 人 |
| | | 申込件数 | 49 件 |
| | | 他館からの依頼件数 | 88 件 |

編集担当者（五十音順）

- 江 村 陽 子 （事業局長）
北 平 久 子 （看護生涯教育・研究センター継続教育部）
河 野 砂百合 （ナースセンター部長）
下垣内 千恵美 （看護生涯教育・研究センター認定教育部部長）
澤 井 郁 衣 （看護生涯教育・研究センター図書・情報管理室）
高 橋 寿美代 （看護生涯教育・研究センター継続教育部）
友 廣 淑 子 （事業局事業部）
西 川 直 美 （ナースセンター）
原 田 仁 美 （看護生涯教育・研究センター長）
比江島 文 江 （看護生涯教育・研究センター認定教育部）
平 松 將 子 （看護生涯教育・研究センター認定教育部）
堀 佳代子 （看護生涯教育・研究センター継続教育部主任）
三 村 由紀子 （事業局事業部）
森 本 麻 子 （事業局事業部部長）
森 本 麻 水 （看護生涯教育・研究センター継続教育部）
柳 井 佐 月 （看護生涯教育・研究センター継続教育部部長）
山 岡 由加里 （看護生涯教育・研究センター継続教育部）
横 道 万里子 （ナースセンター長）

令和5年度広島県看護協会生涯教育研修事業報告

発行日 令和6年5月1日
編集 公益社団法人広島県看護協会 看護生涯教育・研究センター
発行 公益社団法人広島県看護協会
〒730-0803 広島市中区広瀬北町9番2号

TEL (082)293-3362
